

**Canon**

# POWER PROJECTOR LV-7590

## 使用説明書



**PJLink™**

ご使用の前に、必ずこの使用説明書をお読みください。  
特に「安全にお使いいただくために」の項は必ずお読みになり、正しくご使用ください。  
またお読みになった後、この使用説明書をいつでも見られる場所に保管してください。

本製品は日本国内用に設計されております。  
電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。

# LV-7590 の特長

## 高精細

### 新光学エンジンを搭載し、色彩表現力が向上。

- 従来の 3LCD 方式に、黄成分を独立して制御する「カラーコントロールデバイス」を組み込んだ「新光学エンジン」の搭載により、色彩表現力が向上。

### 1024 x 768 ドットの高解像度液晶パネル。

- XGA 画像をリアル表示。SXGA、WXGA、UXGA、WUXGA を圧縮表示。

### DVI-D (デジタル ビジュアル インターフェイス) 搭載。

- DVI-D (デジタル ビジュアル インターフェイス) 入力端子により、コンピュータの画像をより鮮明に再現。
- HDCP 技術を用いてコピープロテクトされたデジタル映像の再生、投写が可能。

### 海外の映像システムにも対応する 6 カラーシステム。

- NTSC、NTSC4.43、PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N の 6 カラーシステムに対応。

### 5-BNC 映像入力端子を装備。

- アナログ RGB 信号およびコンポーネント信号に対応し、DVD や HDTV などを高画質で再生。

## 高信頼性

### 暗証番号を登録してセキュリティを強化。

- 第三者による不正・誤使用を防ぐ「暗証番号ロック」機能。
- 第三者によるロゴの変更を防ぐ「ロゴ暗証番号ロック」機能。

### 電力の節約を助ける各種機能。

- ランプの明るさを調節できる「ランプモード」。
- 電力の節約を助ける「パワーマネージメントモード」。

### 自動エアフィルター交換機能

- センサーがエアフィルターの目詰まりを検知したとき、プロジェクターがエアフィルターを自動で交換。エアフィルターカートリッジは、10 回分のフィルターを内蔵。

### 機器の高寿命化を助ける機能。

- ランプの交換時期を画面とインジケータでお知らせ。
- 交換用のエアフィルターがなくなったときには画面とインジケータの表示でエアフィルターカートリッジの交換をお知らせ。

## 高設置性

### さまざまな設置環境に対応。

- 設置しやすいセンターレイアウトデザイン。
- 垂直方向 360 度フリー設置可能。(12 ページ参照)
- 据置のほか、天吊り、リア投写が可能。
- テストパターン内蔵。

## 高機能

### 快適なプレゼンテーションを支える豊富な機能。

- コンピュータの信号の判別と最適設定を自動で行う「マルチスキャンシステム」と「自動 PC 調整」機能。
- 投写画面の台形歪みをスクエアな画面に補正する、「デジタルキーストーン (台形補正)」機能。
- 見たい部分を瞬時に拡大または縮小して投写できる「デジタルズーム」機能。(コンピュータ入力時)
- 画面を一時的に静止させる「FREEZE」機能。
- プレゼンテーション時に便利な「P-TIMER (プレゼンテーションタイマー)」機能。
- 好きな画像を取り込んでオリジナルの起動画面を作成できる「キャプチャー」機能。
- メカシャッター搭載。

### レンズ交換機構

- 別売オプションレンズの交換により、使用場所に合わせた投写が可能。

### 上下左右電動レンズシフト機能搭載。

- 上下に 0 ~ 50%、左右に ±10% 可変。

### ネットワークオプションに対応。

- 別売の Network Imager (ネットワークイメジャー) を装着することで、ネットワーク経由での操作・管理および画像の転送が可能。




### 高機能ワイヤレスリモコン

- コンピュータとプロジェクターの両方を操作可能。
- プレゼンテーション時に便利なポインタ機能。
- 別売のリモコンケーブルでワイヤードリモコンとして使用可能。
- 一部の機能に制限できる「シンプルモード」に対応。

### 音声出力端子 (可変) を装備。

- 投写中の画像の音声を出力。

### ～本説明書中の記号について～

	操作上の注意事項や制限事項を記載しています。
	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
[ボタン] 名	リモコンまたはプロジェクターの操作パネルのボタンや入出力端子の名称を示しています。 例：[OK] ボタン、[INPUT 1 DIGITAL] 端子
「メニュー」名	メニューの項目を示しています。 例：「インプット」、「セッティング」

※ 本説明書に記載されているイラストや図形の形状は実際のものとは異なります。

# もくじ

LV-7590 の特長	2
安全にお使いいただくために	4
正しくお使いいただくために	9
<b>準備</b>	<b>14</b>
付属品を確認してください	14
各部の名称	15
機器をつなぐ端子	16
操作パネルとインジケータ	17
リモコンのボタン	18
リモコンの準備	19
<b>設置・接続</b>	<b>21</b>
レンズの取り付けと交換のしかた	21
設置のしかた	24
接続の例～コンピュータ	26
接続の例～ビデオ機器	27
接続の例～音声入出力	28
電源コードを接続する	29
<b>基本の操作</b>	<b>30</b>
プロジェクターの基本操作	30
電源を入れる・切る	31
入力信号を選択する	33
投写画面を調整する	34
その他の機能	36
音声に関する操作・設定	39
オンスクリーンメニューの操作方法	40
<b>入力の選択・設定・調整</b>	<b>42</b>
入力を切り換える	42
コンピュータシステムの選択	44
ビデオシステムの選択	45
コンピュータシステムの調整	46
イメージの選択	49
イメージの調整	49
画面サイズを調整する	53
<b>各種機能の設定</b>	<b>57</b>
「セッティング」メニューで 各種機能を設定する	57
<b>その他の機能</b>	<b>72</b>
リモコンでコンピュータを操作する	72
<b>お手入れと保守</b>	<b>73</b>
お手入れについて	73
ランプの交換	73
エアフィルターカートリッジの交換	75
内部温度の上昇について	77
インジケータ表示と プロジェクターの状態	78
故障かなと思ったら	81
<b>付録</b>	<b>84</b>
コンピュータシステムモード一覧	84
メニュー内容一覧	86
仕様	88
寸法図	90
端子の仕様	91
シリアルコマンド一覧	92
暗証番号について	94
PJ Link について	95
<b>保証とアフターサービス</b>	<b>96</b>

はじめに

準備

設置・  
接続

基本の  
操作

入力  
の  
選  
択  
・  
設  
定  
・  
調  
整

各  
種  
機  
能  
の  
設  
定

そ  
の  
他  
の  
機  
能

お  
手  
入  
れ  
と  
保  
守

付  
録

# 安全にお使いいただくために

## 安全上の注意を表す記号

この使用説明書で使用しているマークについて説明します。本書では製品を安全にお使いいただくため、大切な記載事項には次のようなマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

 <b>警告</b>	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、死亡または傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。	
 <b>注意</b>	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。	
 感電注意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、感電の可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。	
 分解禁止	 接触禁止	これらの記号は、行ってはいけない行為（禁止事項）を示しています。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。
 水ぬれ禁止	 ぬれ手禁止	
 禁止	この記号は、その他の行ってはいけない行為（禁止事項）を示しています。	
 アース線を 接続する	 電源プラグを コンセントから 抜く	これらの記号は、行わなければならない行為を示しています。図の中に具体的な指示内容が描かれています。
 注意	この記号は、必ず守っていただきたい行為や内容を示しています。	

### 電波障害自主規制について

この装置はクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

## 警告

以下のような場合はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店へご連絡ください。放置すると火災や感電の原因になります。



電源プラグをコンセントから抜け



感電注意

- ・煙が出ている
- ・変なおいや音がある
- ・大きな音がしてランプが消えた
- ・水など液体が本機に入った
- ・金属類や異物が本機に入った
- ・本機を倒したり、落としたりしキャビネットを破損した

## 警告

電源コードの取り扱いについて以下の点に注意してください。火災や感電、けがの原因になります。



禁止



感電注意

- ・電源コードの上に重い物を載せたり、本機の下敷きにならないようにしてください。コードが破損します。
- ・電源コードを敷物で覆うと、それに気づかず重い物を載せてしまうことがあります。
- ・電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
- ・電源コードを熱器具に近づけたり加熱しないでください。
- ・電源コードを細かく曲げたり、巻いたり、束ねたりしたまま使用しないでください。
- ・破損した電源コードを使用しないでください。電源コードが破損した場合は新たに電源コードを販売店から購入してください。
- ・付属している電源コード以外は使わないでください。



アース線を接続する



感電注意

- ・電源コードのアース線を必ずアースに接続してください。アース線を接続しないと感電の原因となります。

## 警告

電源および電源プラグ、コネクタの取り扱いについて以下の点に注意してください。火災や感電、けがの原因になります。



禁止



感電注意

- ・表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。



注意



感電注意

- ・電源プラグやコネクタは、根元まで確実に差し込んでください。また、痛んだプラグや、ゆるんだコンセントは使用しないでください。



注意



感電注意

- ・コンセント付き延長コードを使う場合は、つなぐ機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えない範囲でお使いください。

## 警告

電源および電源プラグ、コネクタの取り扱いについて以下の点に注意してください。火災や感電、けがの原因になります。



禁止



感電注意

- ・電源プラグやコネクタを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグやコネクタを持って抜いてください。コードが傷つきます。



電源プラグをコンセントから抜け



感電注意

- ・お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いてください。



ぬれ手禁止



感電注意

- ・ぬれた手で電源プラグやコネクタを抜き差ししないでください。



禁止



感電注意

- ・電源プラグやコネクタの接点部に金属類を差し込まないでください。



注意

- ・電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ・ごみ・汚れなどを取り除いてください。

## 警告

本機の設置および取り扱いに際しては、以下の点にご注意ください。火災や感電、けがの原因になります。



水ぬれ禁止



感電注意

- ・風呂、シャワー室では使用しないでください。
- ・雨天、降雪中、海岸、水辺で使用しないでください。
- ・本機の上に液体の入った容器を置かないでください
- ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。



接触禁止



感電注意

- ・雷が鳴り出したら、本機、電源コード、ケーブルに触れないでください。



電源プラグをコンセントから抜け



感電注意

- ・本機を移動させる場合は、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間のケーブル類を外してから行ってください。



禁止

- ・吸気口や排気口の穴から物などを差し込まないでください。

## 警告

本機の設置および取り扱いに際しては、以下の点にご注意ください。火災や感電、けがの原因になります。



禁止

- ・排気口の前にはスプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。



禁止



分解禁止

- ・キャビネットを外したり本機を分解しないでください。内部には電圧の高い部分および温度の高い部分があり、感電ややけどの原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- ・本機（消耗品を含む）、リモコンの改造や分解をしないでください。



禁止

- ・使用中は強い光が出ていますので、レンズをのぞかないでください。目を傷める恐れがあります。特に小さなお子様にはご注意ください。

## 警告

ランプ交換およびランプが破損したときは、以下の点に注意してください。感電やけがの原因になります。



電源プラグをコンセントから抜け



感電注意

- ・ランプの交換を行う前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



注意

- ・ランプが破損した場合は本機内部にガラス片が散乱している可能性があります。販売店へ本機内部の清掃と点検、ランプの交換を依頼してください。

## 警告

電池の取り扱いについて以下の点に注意してください。火災やけがの原因になります。



禁止

- ・電池を火の中に入れてたり、加熱、ショート、分解したりしないでください。
- ・電池は充電しないでください。



注意

- ・電池を使いきったときや、長時間使用しないときは電池を取り外してください。
- ・電池を交換するときは2本いっしょに交換してください。また、種類の違う電池をいっしょに使用しないでください。
- ・+と-の向きを正しく入れてください。
- ・万一、液漏れなどで電池内部の液体が体についたときは、水でよく洗い流してください。

## ⚠ 注意

設置および取り扱いに際しては、以下の点にご注意ください。



禁止

- ・本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。



電源プラグをコンセントから抜け

- ・長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



接触禁止



禁止

- ・動作中は排気口周辺や排気口上部のキャビネットが高温になります。やけどの原因になりますので手で触れたりしないでください。特に小さいお子様にはご注意ください。また、金属を置かないでください。高温になり、事故やけがの原因となることがあります。



禁止

- ・ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

- ・動作中にレンズカバーを着けたり、レンズの前に物を置かないでください。火災の原因になることがあります。



禁止

- ・本機のレンズ・フィルターなどに付着したゴミ・ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。本機内部ではランプが高温になっているため、引火による火災の原因になることがあります。



禁止

- ・レンズが動いているとき（レンズシフト動作中）は、レンズに触れないでください。けがの原因になることがあります。



注意

- ・長年のご使用で内部にホコリがたまると火災や故障の原因となることがあります。掃除は梅雨の前が効果的です。費用などは販売店にご相談ください。



注意

- ・天井取り付け（天吊り）などの設置工事は、専門の技術者または販売店に依頼してください。工事の不備があると、事故の原因となることがあります。



注意

- ・キャスター付き台に設置するときはキャスター止めをしてください。キャスター止めをしないと、動いたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



## ⚠ 注意

ランプの取り扱いに際しては、以下の点にご注意ください。



禁止

- ・使用直後は、絶対にランプを取り出さないでください。必ず電源を切って1時間以上が経過して、ランプが十分冷えるまでお待ちください。熱で、やけど・けがの原因となることがあります。



注意

- ・ランプ交換の指示が出た（「LAMP REPLACE」インジケータが点灯した）場合、交換時期を越えて使用し続けるとランプが破裂する可能性が高くなります。すみやかに新しいランプと交換してください。



注意

- ・ランプが破損した場合、ランプ内部のガス（水銀を含有）や粉じんが排気口から出たりすることがあります。すみやかに窓や扉を開け、部屋の換気を行ってください。万一、ランプから生じるガスを吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。



注意

- ・使用済み水銀ランプを捨てるときは、蛍光灯と同じ取り扱いで各自治体の条例に従って廃棄してください。

## 正しくお使いいただくために

### 持ち運び・輸送上のご注意

- ・液晶プロジェクターは精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因になることがあります。持ち運ぶときは必ずレンズを取り外し、レンズを取り外した後のレンズ取り付け開口部へカバープレートを取り付け、調整脚を戻してから専用のケースに納めて運んでください。
- ・車両・航空機などを利用し持ち運んだり、運送したりする場合は、輸送用の専用ケースをご使用ください。運送用の専用ケースについては販売店にご相談ください。

### 液晶パネルについて

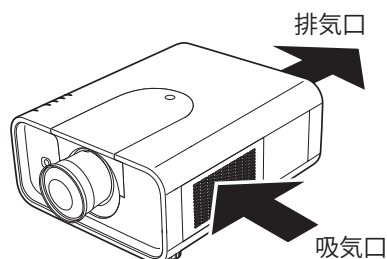
液晶パネルの特性上、長時間同じ画面を表示していると、画面を変えたときに残像（焼き付きのような症状）が発生する場合があります。投写する映像を変えたり、電源を切っておくと回復します。

## 設置するときは次のことに注意してください

### ● 排気口の温風にご注意ください

排気口からは温風が吹き出します。温風の当たる所に次のものを置かないでください。

- ・スプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。
- ・金属を置かないでください。高温になり、事故やけがの原因となります。
- ・観葉植物やペットを置かないでください。
- ・熱で変形したり、悪影響を受けるものを置かないでください。
- ・排気口付近には視聴席を設けないでください。



接触禁止



禁止

動作中は排気口周辺ならびに排気口上部のキャビネットが高温になります。やけどの原因になりますので、手で触れたりしないでください。特に小さいお子さまにはご注意ください。また、熱で変形や変色の恐れのあるものを上に置かないでください。

### ● こんな場所には設置しないでください

- ・湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因になります。
- ・高圧電線や電力源の近くに設置しないでください。
- ・カーペットやスポンジマットなどの柔らかい面の上で本機を使用しないでください。内部に熱がこもり、故障の原因になることがあります。
- ・高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因になります。なお、使用温度と保管温度の範囲は以下のとおりです。

使用温度範囲

5°C～40°C

保管温度範囲

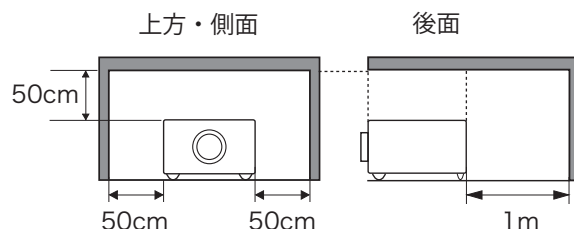
－10°C～60°C

### ● レンズを素手で触らないでください

- ・レンズを素手で触らないでください。画質を損なう原因になることがあります。

### ● 壁などからじゅうぶんな距離をあけて設置してください

吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因や、プロジェクターの寿命を縮めたり、故障の原因となる場合があります。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込んだりしないで、風通しのよい場所に設置してください。(上方・側面 50cm、後面 1m 以上離して設置してください。)



### ● 結露にご注意

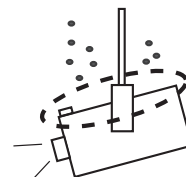
低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して、画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。

## 天井から吊り下げてご使用になる場合



## 注意

天井から吊り下げたり、高いところへ設置してご使用になるときは、吸気口や排気口、エアフィルター周辺の掃除を定期的に行ってください。吸気口や排気口にホコリがたまると、冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障や火災の原因となります。吸気口や排気口についてのホコリは掃除機などで取りのぞいてください。



## エアフィルターのお手入れ



## 注意


吸気口のエアフィルターは、プロジェクター内部の光学部品（レンズやミラー）をホコリや汚れから守っています。エアフィルターにホコリがたまるとプロジェクターを冷却する空気の流れが悪くなり、内部の温度が上がり故障の原因となります。本機のエアフィルターは目詰まりを感知すると自動的にフィルター部分を巻き取り（交換）、その状況をインジケータでお知らせします。エアフィルターの掃除は必要ありませんが、エアフィルターの周辺は定期的に掃除することをおすすめします。



### エアフィルターの状態をお知らせする表示について

本機には、エアフィルターの状態をお知らせする「フィルター警告」機能があります。詳細については、75～76ページをご覧ください。



「セッティング」メニューの「フィルターカウンター」（P. 69ページ）で設定した時間に達すると表示されます。エアフィルターの巻き取り回数の残りが「0」のときは、が表示されます。



エアフィルターの巻き取り回数の残りが「0」になったことをお知らせします。



エアフィルターの交換推奨時間になった、またはエアフィルターの巻き取り回数の残りが「0」のときにフィルターが目詰まりが発生したことをお知らせします。この表示が出たらカートリッジを交換してください。



しばらくお待ち下さい

リモコンまたはメニューから強制巻き取りを行なったときに表示されます。

また、プロジェクター天面の [WARNING FILTER] インジケータでも同様にお知らせします。[WARNING FILTER] インジケータ（橙色）は、上記の画面表示と同時期に点灯または、点滅してお知らせします。詳細については75ページをご覧ください。

WARNING FILTER  

※ が表示されたときは、インジケータの点灯・点滅はありません。

## 正しい方向に設置してください

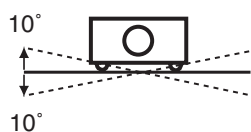
プロジェクターを安全にご使用いただくため、プロジェクターは必ず指定の方向でご使用ください。指定以外の方向でご使用になると、プロジェクターの寿命を縮めるだけでなく、故障や火災、事故の原因となります。

本機は、上・下・斜めの方向で投写可能です。ただし、水平方向に180度を越えて設置\*するときは、プロジェクターの底面が上向きになるように設置してください。

\*レンズを水平方向から下に向けて設置した場合。

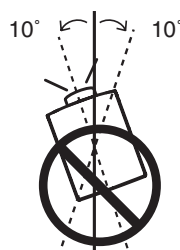
向きによっては投写画面の設定を「天吊り」にしてください。「天吊り」の設定方法は56ページを参照してください。

## 以下の方向では使用しないでください



傾きは10°以内に

プロジェクターの左右方向の傾きは、10度以内としてください。

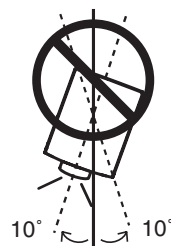


プロジェクターの水平軸を10度を越えて傾けて上方向に投写しないでください。



横置き禁止

プロジェクターを横に立てて使用しないでください。



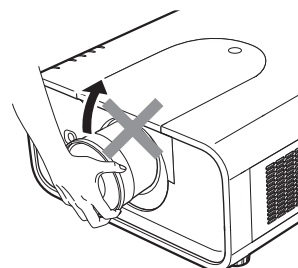
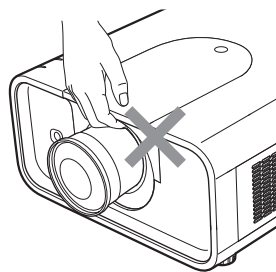
プロジェクターの水平軸を10度を越えて傾けて下方向に投写しないでください。

## プロジェクターを持ち抱える際のご注意



注意

レンズ取り付け後にプロジェクターを運んだり持ち上げたりするとき、レンズ部を絶対に持たないでください。プロジェクターが破損する原因になります。



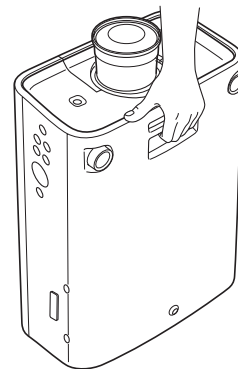
## プロジェクター取扱上のご注意

プロジェクターを以下の状態にしてから持ち運んでください。



**注意**

- プロジェクターの接続ケーブルを外します。ケーブルを取り付けたまま運ぶと、事故の原因になります。
- 調整脚をおさめます。

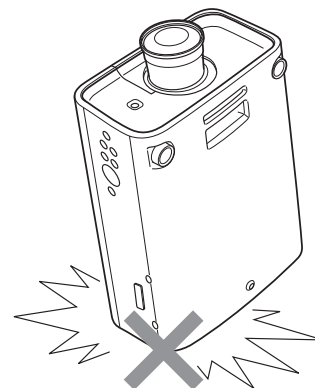


底面のグリップを持って運びます。



**注意**

- プロジェクターをたたいたり、衝撃を与えたりしないでください。破損の原因になります。
- プロジェクターを立てて置くときは、置く場所が水平か、また異物が無いか確認してください。異物があったり、置く場所に突起があると、破損の原因となります。



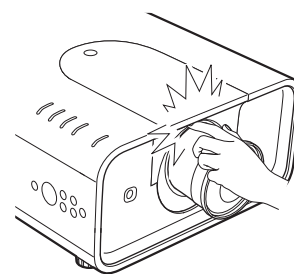
**注意**

本機は、レンズシフト機能により、モーターでレンズが上下左右に動きます。



指挟み注意

- レンズが動いているときは、レンズに触れないでください。指のはさみ込みによるけがの原因となります。
- お子様がレンズに触れないように注意してください。



# 準備

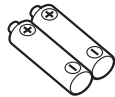
## 付属品を確認してください

プロジェクター本体のほかに、以下の付属品がそろっているかお確かめください。

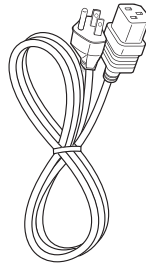
**1** リモコン (MXBY)



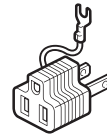
**2** リモコン用アルカリ乾電池 (単四形 2本)



**3** 電源コード



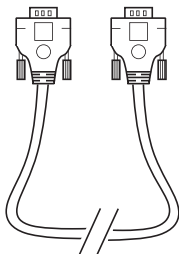
**4** 電源プラグアダプタ



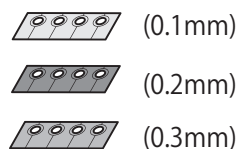
**5** USB ケーブル



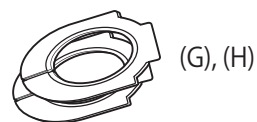
**6** コンピューター接続ケーブル (D-Sub 用)



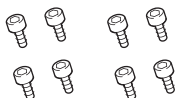
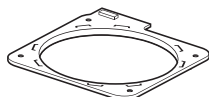
**7** スペーサー (3種類、各4枚)



**8** 遮光プレート (2枚)



**9** レンズ取付金具とネジ (8本) \*



(W3 x 4 本、W4 x 4 本)

**10** PIN コードラベル \*\*



**11** 使用説明書 (本書)



**12** 保証書

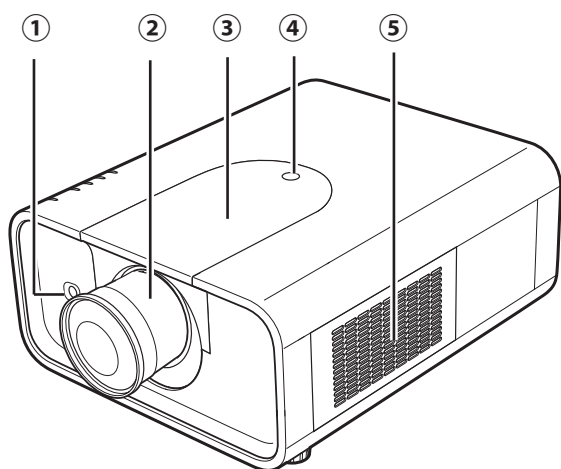


\* 付属している 8 本のネジのうち、レンズの取り付けには 4 本のネジを使用します。残りの 4 本は他のレンズに使用する場合がありますので、なくさないように保管しておいてください。P 22 ページ

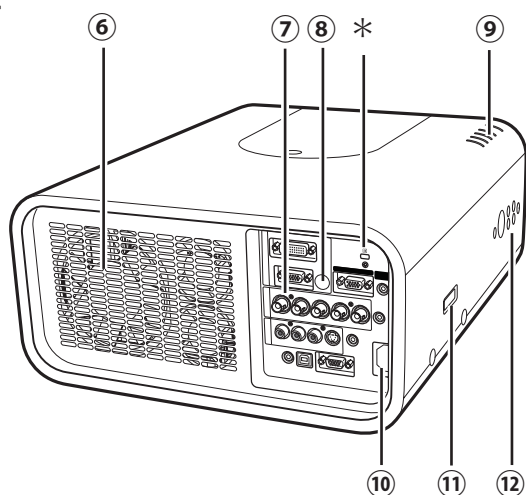
\*\* 暗証番号を登録してプロジェクターをロックしたとき、プロジェクター本体の目立ちやすい箇所に貼り付け、プロジェクターがロックされていることを表示するのにご使用ください。P 94 ページ

## 各部の名称

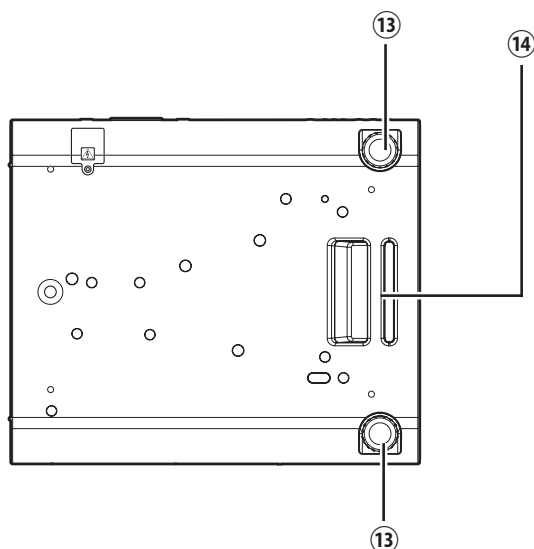
## 前面



## 後面



## 底面


**注意**

ご使用中、天面は熱くなります。上にものを置いたりしないでください。変形や火災の原因となります。

- ① リモコン受光部（前）
- ② 投写レンズ（別売）
- ③ フロントパネル
- ④ フロントパネル取り外しボタン
- ⑤ 吸気口（エアフィルターカバー）※1
- ⑥ 排気口 ※2
- ⑦ 後面端子
- ⑧ リモコン受光部（後）
- ⑨ インジケータ
- ⑩ 電源コード接続ソケット
- ⑪ Network Imager 接続コネクタ
- ⑫ 操作パネル
- ⑬ 調整脚
- ⑭ グリップ

\* 盗難防止用ロック穴  
盗難防止用のチェーンなどを取り付けるときに使用します。

※1

**注意**

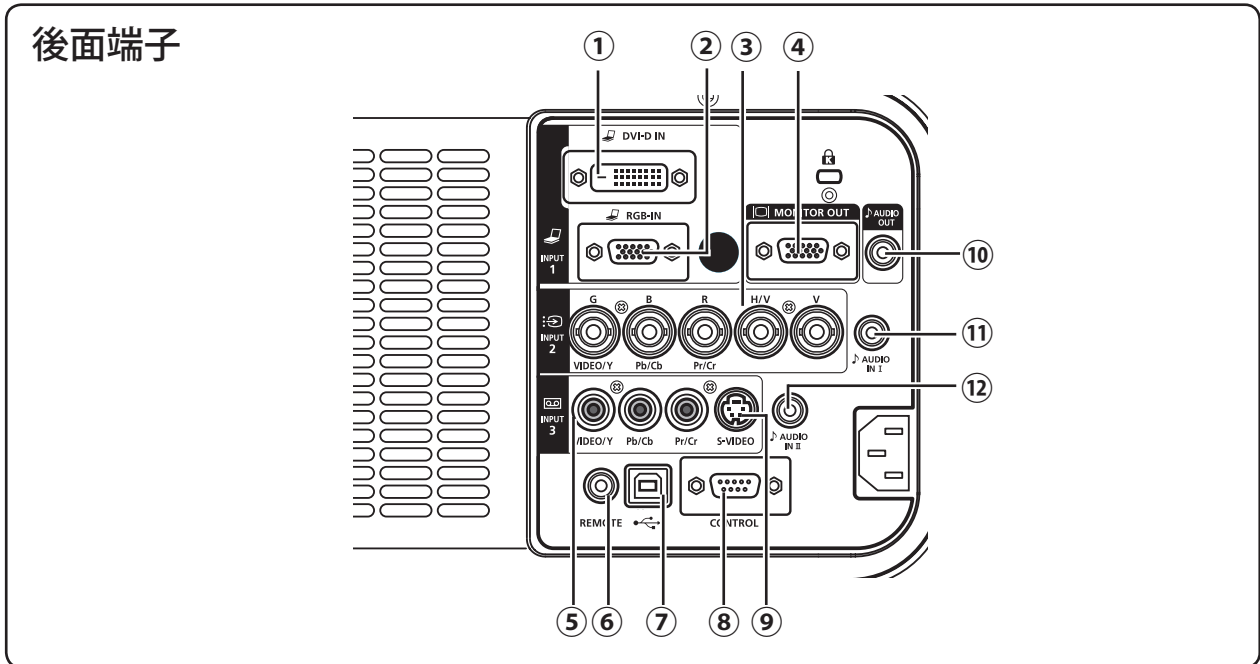
内部に冷却ファンがあります。ここをふさがないでください。

※2

**警告**

スプレーといった引火性のもの、燃えやすいもの、熱で変形しやすいものを近くに置かないでください。火災や火事の原因となります。

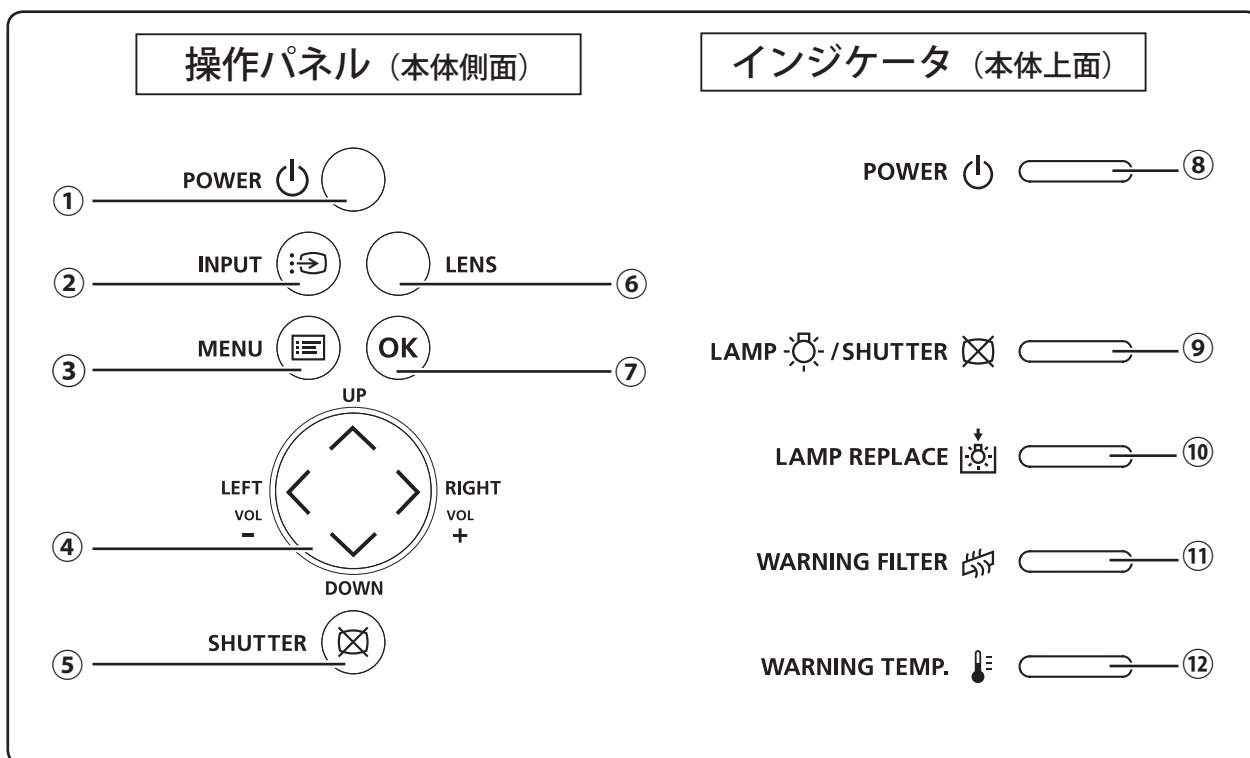
# 機器をつなぐ端子



- ①** インプット **INPUT 1 DVI-D IN** (コンピュータ DVI-D 入力端子) イン  
26 ページ  
 DVI 規格対応の端子を持つコンピュータからのデジタル信号を接続する DVI-D 端子です。接続には市販のコンピュータ接続ケーブル (DVI-D 用) を使います。  
 ※ 後面端子の幅にあったケーブルをご使用ください。
- ②** インプット **INPUT 1 RGB-IN** (コンピュータ D-sub 入力端子) イン  
26 ページ  
 コンピュータからの出力 (D-sub15 ピン / アナログ) を接続します。接続には付属のコンピュータ接続ケーブル (D-sub 用) を使います。
- ③** インプット **INPUT 2** (コンピュータ / ビデオ / コンポーネント入力端子) イン  
26、27 ページ  
 コンピュータからのアナログ信号 (G,B,R,H/V,V) またはビデオ機器からの映像信号 (VIDEO) またはコンポーネント信号 (Y,Pb/Cb,Pr/Cr) を入力します。接続には市販の BNC ケーブルを使います。
- ④** モニターアウト **MONITOR OUT** (モニター出力端子)  
26 ~ 27 ページ  
 INPUT1 ~ 3 に接続された、投写中のアナログ信号を外部映像機器へ出力する端子です。
- ⑤** インプット **INPUT 3** (ビデオ / コンポーネント入力端子) イン  
27 ページ  
 ビデオ機器からの映像信号 (VIDEO) またはコンポーネント信号 (Y,Pb/Cb,Pr/Cr) を入力します。接続には市販のビデオケーブルを使います。
- ⑥** リモート **REMOTE** (リモートコントロール端子)  
20 ページ  
 この端子とリモコンのワイヤードリモコン端子を別売のワイヤードリモコンケーブルでつなぐと、ワイヤードリモコンとなり、リモコンの向きに関係なくプロジェクターを操作できます。
- ⑦** **USB (USB 端子：シリーズ B)** 26、72 ページ  
 コンピュータのマウス操作を、プロジェクターのリモコンで行うときに、この端子とコンピュータの USB 端子を付属の USB ケーブルで接続します。
- ⑧** コントロール **CONTROL** (コントロールポート端子)  
26 ページ  
 コンピュータからシリアルデータで、プロジェクターを操作するときに使用します。また、サービスマンがサービス時に使用します。
- ⑨** インプット **INPUT 3 S-VIDEO** (S 映像入力端子) イン 27 ページ  
エスビデオ  
 ビデオ機器からの S 映像出力をこの端子に接続します。
- ⑩** オーディオアウト **AUDIO OUT** (音声出力端子) (可変) 28 ページ  
オーディオアウト  
 ⑪または⑫に接続された音声入力を出力します。
- ⑪** オーディオイン **AUDIO IN I** (音声入力端子) 28 ページ  
オーディオイン  
 ビデオ機器やコンピュータからの音声出力を接続します。
- ⑫** オーディオイン **AUDIO IN II** (音声入力端子) 28 ページ  
オーディオイン  
 ビデオ機器やコンピュータからの音声出力を接続します。



# 操作パネルとインジケータ



## ① POWER ボタン

電源を入・切します。

## ② INPUT ボタン

入力 (入力) を切り換えます。

## ③ MENU ボタン

メニューバーを表示します。

## ④ ポイントボタン

オンスクリーンメニューのポインタの移動や各種メニューの調整、レンズ関連機能の調整に使用します。また、左右ボタンで音量を調整することができます。

## ⑤ SHUTTER ボタン

シャッターを開閉します。

## ⑥ LENS ボタン

このボタンを押すごとに、ズーム調整、フォーカス調整、レンズシフト調整の各調整モードに入ります。

## ⑦ OK ボタン

ポインタの指す項目を選択します。また、デジタルズームモードで画像を拡大または縮小するのに使用します。

## ⑧ POWER インジケータ

プロジェクターの状態を示します。

## ⑨ LAMP / SHUTTER インジケータ

ランプが正常に点灯しているときに赤く点灯します。また、シャッターが閉じているときには青く点灯します。赤点灯：動作中、またはスタンバイ状態です。青点灯：シャッターが閉じています。

## ⑩ LAMP REPLACE インジケータ

橙色に点灯して、ランプの交換時期に達していることを知らせます。

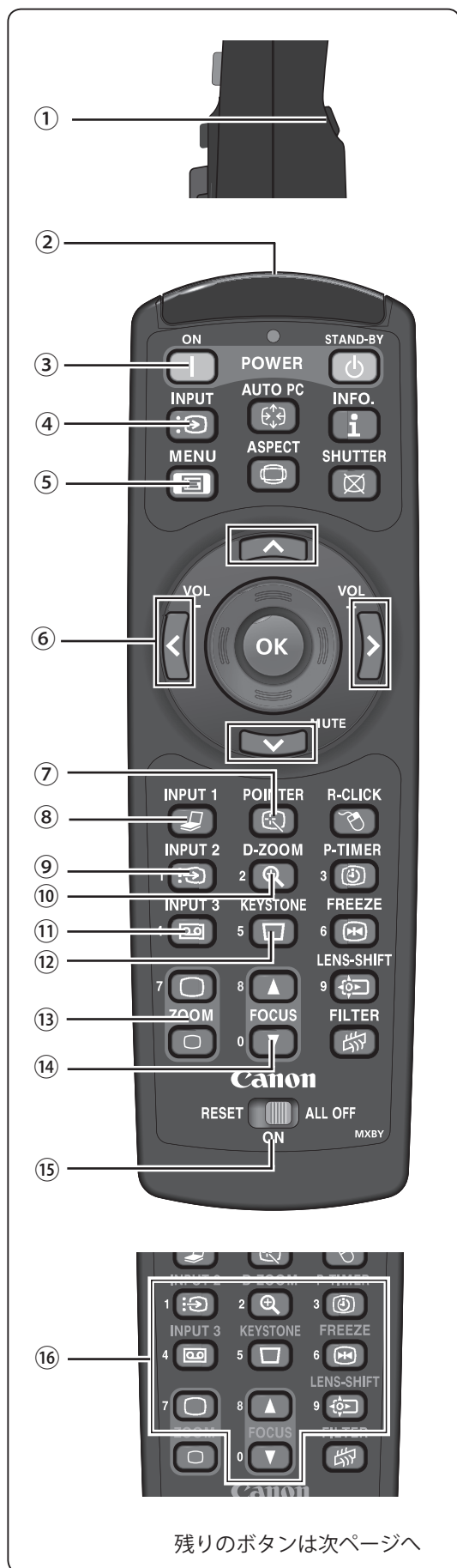
## ⑪ WARNING FILTER インジケータ

橙色に点灯して、エアフィルターの交換時期を知らせます。

## ⑫ WARNING TEMP. インジケータ

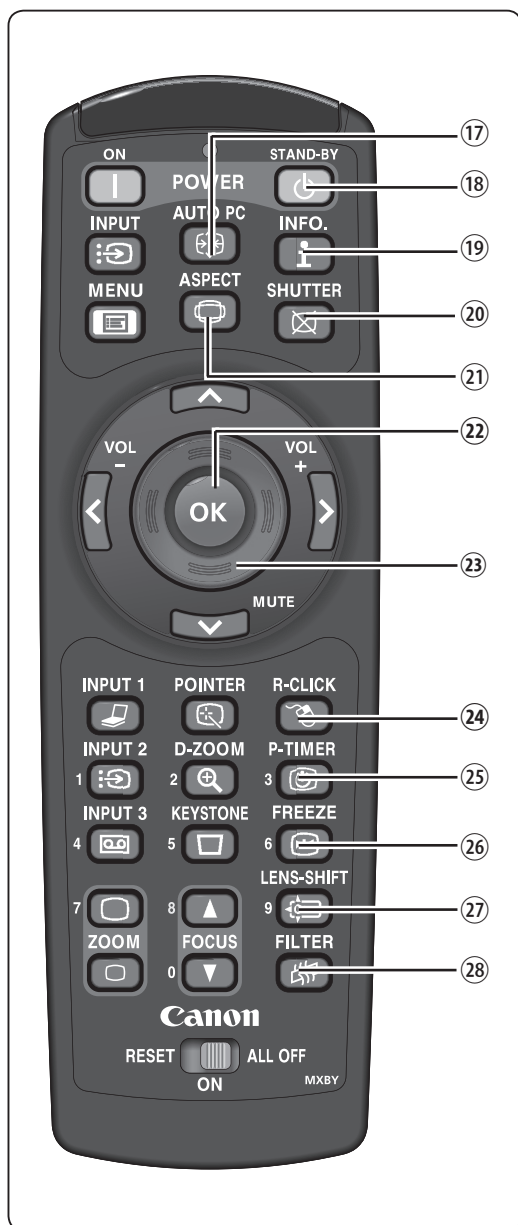
赤く点滅して、内部の温度が異常に高くなっていることを知らせます。

# リモコンのボタン



残りのボタンは次ページへ

- ① **左クリックボタン** (F 72 ページ)  
コンピュータマウスの左クリックの働きをします。
- ② **ワイヤードリモコン端子** (F 20 ページ)  
ワイヤードリモコンとして使用するときは、別売のワイヤードリモコンケーブルでこの端子とプロジェクターのリモコン端子 (R/C JACK) を接続します。  
※ リモコンに電池が必要です。  
※ リモコンをワイヤレスでご使用になるときは、リモコンケーブルをプロジェクターおよびリモコンから外してください。リモコンケーブルがプロジェクターまたはリモコンの一方または両方に接続されていると、リモコンはワイヤレスとして動作しません。
- ③ **ON ボタン** (F 31 ページ)  
電源を入れます。
- ④ **INPUT ボタン** (F 33、42 ページ)  
INPUT (入力) を切り換えます。  
※ ⑧⑨⑩と異なり、入力信号は選択できません。
- ⑤ **MENU ボタン** (F 40 ページ)  
メニューバーを出します。
- ⑥ **ポイント ボタン** (F 39、40 ページ)  
オンスクリーンメニューのポインタの移動や、各種メニューの調整に使用します。また、左右ボタンで音量の調整、下ボタンで消音することができます。
- ⑦ **POINTER ボタン** (F 36 ページ)  
ポインタ機能を入・切します。
- ⑧ **INPUT 1 ボタン** (F 33、42 ページ)  
入力を INPUT 1 に切り換え、入力信号を選択できます。
- ⑨ **INPUT 2 ボタン** (F 33、42 ページ)  
入力を INPUT 2 に切り換え、入力信号を選択できます。
- ⑩ **D-ZOOM ボタン** (F 38 ページ)  
デジタルズームモードに入ります。
- ⑪ **INPUT 3 ボタン** (F 33、42 ページ)  
入力を INPUT 3 に切り換え、入力信号を選択できます。
- ⑫ **KEYSTONE ボタン** (F 35 ページ)  
画面の台形ひずみ (あおり) を補正します。
- ⑬ **ZOOM ボタン** (F 34 ページ)  
レンズのズームを調整します。
- ⑭ **FOCUS ボタン** (F 34 ページ)  
フォーカスを調整します。
- ⑮ **リセット オン オール オフ**  
**RESET/ON/ALL OFF スイッチ** (F 20 ページ)  
リモコンを使用するときは「ON」にセットします。長時間使用しないときは、「ALL OFF」にセットします。リモコンコードを初期設定に戻すときは「RESET」にセットします。
- ⑯ **数字ボタン** (F 20、60～61、66～67 ページ)  
暗証番号またはリモコンコード設定のため、数字を入力するときに使用します。



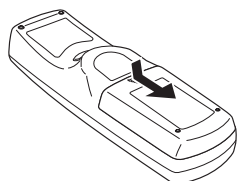
- ①⑦ **AUTO PC ボタン** オート PC 37 ページ  
コンピュータ入力時に、トラッキング・総ドット数・ポジション H・ポジション V を自動調整します。
- ①⑧ **STAND-BY ボタン** スタンバイ 32 ページ  
電源を切り、待機状態にします。
- ①⑨ **INFO. ボタン** インフォメーション 37 ページ  
投写中の信号状況やセッティングの状況を表示します。
- ②⑩ **SHUTTER ボタン** シャッター 38 ページ  
シャッターを開閉します。
- ②⑪ **ASPECT ボタン** アスペクト 35 ページ  
画面のアスペクトモードを選択します。ボタンを 5 秒間以上長押しすると「アスペクト」メニュー内の設定が工場出荷時に戻ります。
- ②⑫ **OK ボタン** オーケー 38、40、53、54 ページ  
ポインタが指す項目を決定します。また、デジタルズームモードでは、画像の拡大・縮小に使用します。
- ②⑬ **プレゼンテーションポインタボタン / マウスポインタボタン** 36、72 ページ  
ポインタ機能あるいはコンピュータのマウスとして使用します。
- ②⑭ **R-CLICK (右クリック) ボタン** アールクリック 72 ページ  
コンピュータマウスの右クリックの働きをします。
- ②⑮ **P-TIMER ボタン** ピータイマー 36 ページ  
プレゼンテーション (ボタンを押してから) の経過時間を表示します。
- ②⑯ **FREEZE ボタン** フリーズ 36 ページ  
画面を静止させます。
- ②⑰ **LENS SHIFT ボタン** レンズシフト 34 ページ  
レンズを上下左右にスライドさせて、画面の位置を上下左右に移動させます。
- ②⑱ **FILTER ボタン** フィルター 38 ページ  
エアフィルターの巻き取りに使用します。ボタンを 5 秒間以上長押しするとエアフィルターを 1 回巻き取ります。

※ リモコンを、一部のボタンだけを有効にする「シンプルモード」に設定することができます。 63 ページ

## リモコンの準備

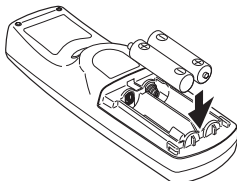
### 電池の入れかた

1 電池カバーを開けます。



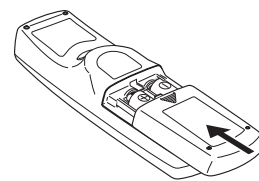
押しながら下にスライドさせます。

2 電池を入れます。



+(プラス)、-(マイナス) に注意して付属の乾電池 (単 4 形アルカリ乾電池 2 本) を入れます。

3 電池カバーを閉めます。



上にスライドさせます。



## 電池を使用するときのご注意

電池の破裂や液もれを防ぐために、次のことにじゅうぶんに注意ください。

- ・種類の違う電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使わない。
- ・乾電池は充電しない。分解しない。
- ・+極と-極の向きを正しく入れる。+極と-極をショートさせない。
- ・可燃ごみに混ぜたり、燃やしたりしない。
- ・電池を廃棄するときは、各自治体の指示および電池製造者の指示に従って廃棄する。



また、正しくお使いいただくために次のことをお守りください。

- ・長い間使わないときは乾電池をとりだす。
- ・液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふきとってから新しい乾電池を入れる。

## リモコンで操作できる範囲

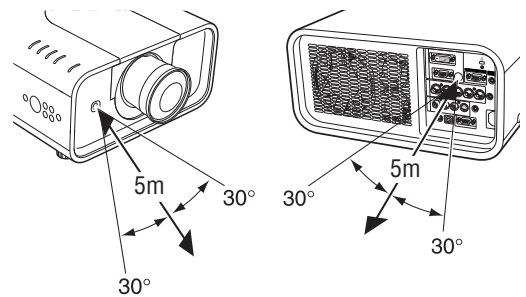
リモコンで離れて操作できる範囲は、本体前面と後面のリモコン受光部から約5m以内、上下左右30度以内です。

※天吊りなどで蛍光灯の近くに設置したときは、「セッティング」メニューの「リモコン受光部」で蛍光灯から離れている方にあるリモコン受光部を選択することをおすすめします。☞ 64 ページ



## リモコンを使用するときのご注意

- ・液状のものをかけない。
- ・落としたり衝撃を与えない。
- ・熱や湿気をさける。
- ・本体のリモコン受光部に、直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにする。



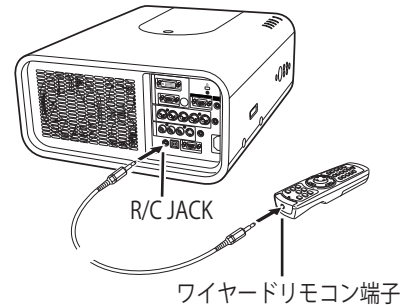
上下左右各 30° 以内の操作範囲

※間に障害物があると操作の妨げになります。

## ワイヤードリモコンで操作

別売のワイヤードリモコンケーブル (☞ 89 ページ) で、後面の [R/C JACK] 端子と、リモコンの [ワイヤードリモコン] 端子を接続します。

- ※リモコンに電池が必要です。
- ※リモコンをワイヤレスでご使用になるときは、リモコンケーブルをプロジェクターおよびリモコンから外してください。リモコンケーブルがプロジェクターに接続されていると、リモコンはワイヤレスとして動作しません。



ワイヤードリモコン端子

## リモコンコードの設定

本機は 8 種類のリモコンコード (「コード 1」～「コード 8」) の設定が可能です。複数のプロジェクターを使用するときリモコンコードを使い分けて使用できます。リモコンコードを変更する場合には、プロジェクター本体とリモコンの両方を合わせて切り換える必要があります。プロジェクターのリモコンコードの切り換えはセッティングメニューで行います。☞ 63 ページ

<手順>

[MENU] ボタンと合わせたいリモコンコードに相当する数字ボタンを同時に 5 秒間以上長押しします。ボタンを離すとコードが切り換わります。

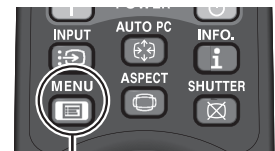
リモコンコード	数字ボタン
コード 1	1
コード 2	2
コード 3	3
コード 4	4
コード 5	5
コード 6	6
コード 7	7
コード 8	8

※ 設定したリモコンコードを初期化したい場合には、リモコン下方にあるスイッチを [RESET] にセットし、その後 [ON] に戻します。

※ 工場出荷時は「コード 1」に設定されています。

※ 電池を交換するとリモコンコードが工場出荷時に戻ります。電池交換後はリモコンコードを再設定してください。

## リモコン



[MENU] ボタン

数字ボタン 1～8



[RESET/ON/ALL OFF] スイッチ

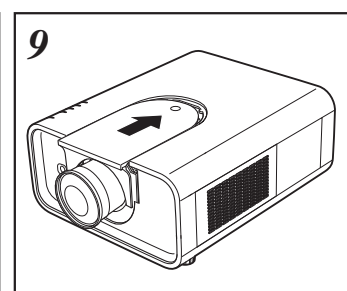
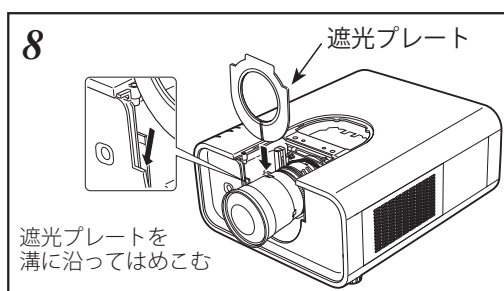
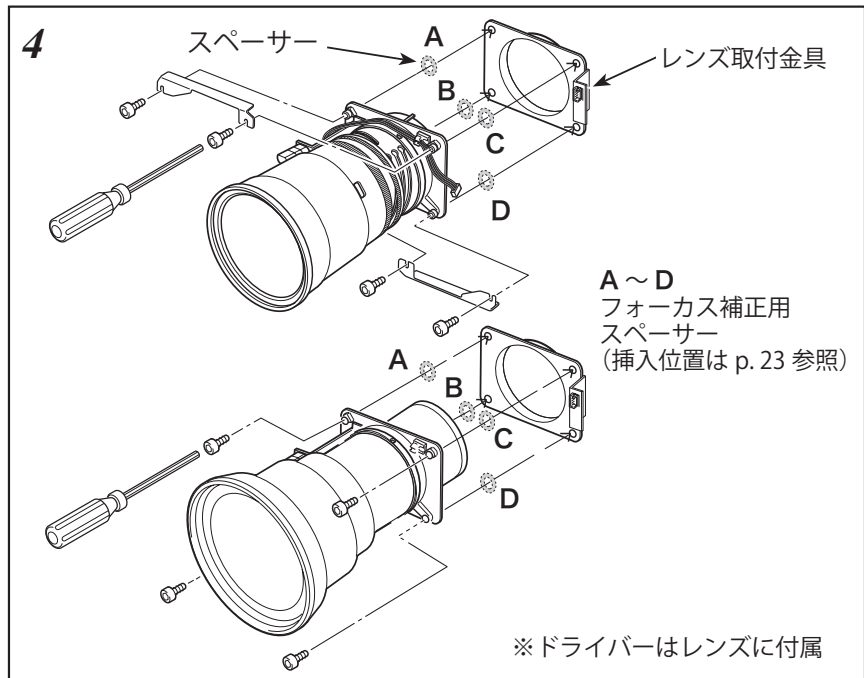
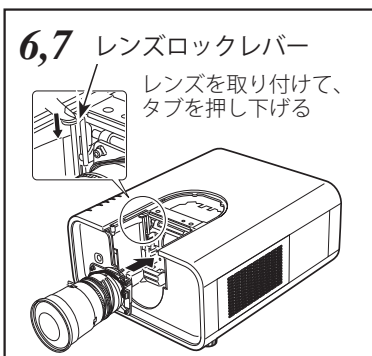
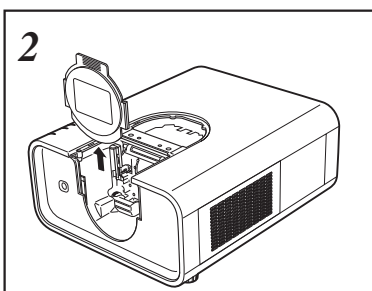
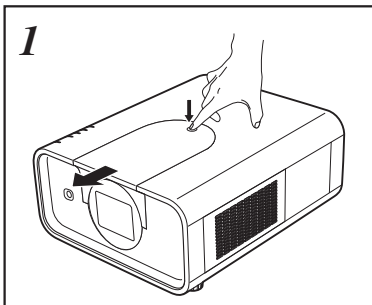
# 設置・接続

## レンズの取り付けと交換のしかた

プロジェクターを据え付ける前に、プロジェクター本体にレンズを取り付けます。はじめに、プロジェクターを使用する環境に合ったレンズを決めます。本機に適合するレンズ品番およびレンズの仕様は、取扱販売店にご相談ください。

### レンズの取り付けかた

- 1 キャビネット天面のフロントパネル取り外しボタンを押しながら、フロントパネルを手前に引き、取り外します。
- 2 前面カバーを取り外します。
- 3 レンズに付いているレンズ保護キャップ（前後2箇所）を外します。
- 4 レンズを4本のネジでレンズ取付金具に取り付けます。  
※ ガラス面を手で触れないようにしてください。
- 5 レンズモーターリードのコネクターをレンズ取付金具のソケットに接続します。  
(電動モーター付レンズの場合のみ)
- 6 プロジェクターのレンズロックレバーが解除されているのを確認した後、レンズ取付金具に取り付けたレンズをプロジェクター本体にはめ込みます。
- 7 プロジェクターのレンズロックレバーをつまみ、レンズロックレバーを下側一杯に（レバーがカチッとロックするまで）下げます。（電動モーター付レンズは、ソケットが右側にくるように取り付けます。）  
取り付け後、レンズが正しく取り付けられているか確認してください。
- 8 遮光プレートをレンズに通し、プロジェクター本体の溝に沿ってはめ込みます。  
※ 遮光プレートには取り付け方向が表示されています。「THIS SIDE BACK」を後側に、「TOP」を上側にして取り付けます。  
レンズによって使用する遮光プレートが異なります。適合レンズ表で確認してください。☞ 23 ページ  
※ レンズ「LV-IL01」は、遮光プレートを使用しません。手順8を飛ばして手順9に進んでください。
- 9 フロントパネルをキャビネット天面の溝に合わせながらスライドさせて本体にはめ込みます。

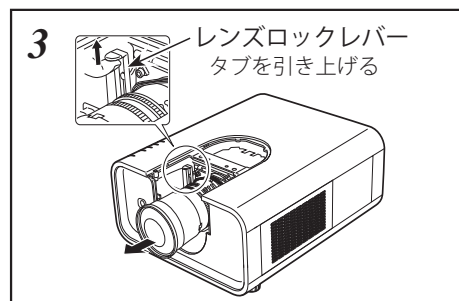
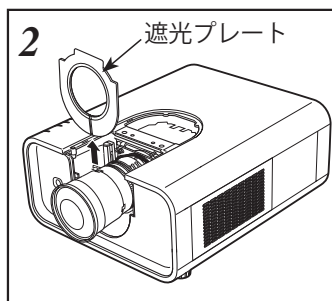
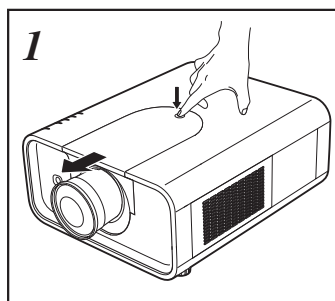


## レンズの取り外しかた

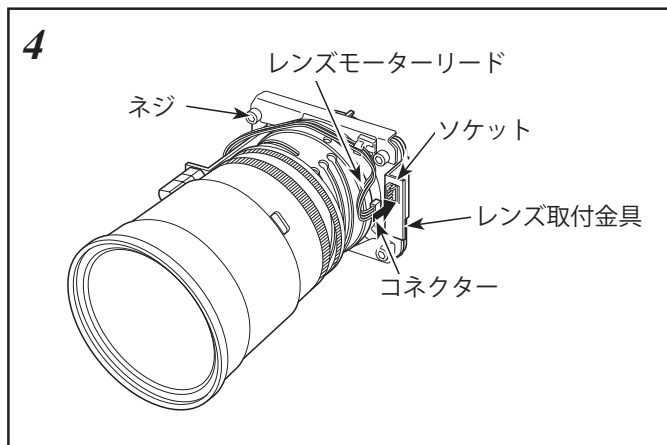
### <レンズ交換の前に>

- レンズシフトでレンズの位置を中央に戻しておきます。
- 電源を切り、電源コードを AC コンセントから抜いておきます。

- 1 キャビネット天面のフロントパネル取り外しボタンを押しながら、フロントパネルを手前に引き、取り外します。
- 2 遮光プレートを上方に引き上げ、取り外します。
- 3 レンズを支えながら、プロジェクターのレンズロックレバーを上方に引き上げて解除し、プロジェクター本体からレンズを取り外します。  
※ ガラス面を手でふれないようにしてください。
- 4 レンズモーターリードのコネクターをレンズ取付金具のソケットから取り外します。レンズを固定しているネジ(4本)をゆるめて、レンズをレンズ取付金具から取り外します。



※ レンズが落下しないように注意して取り外してください。



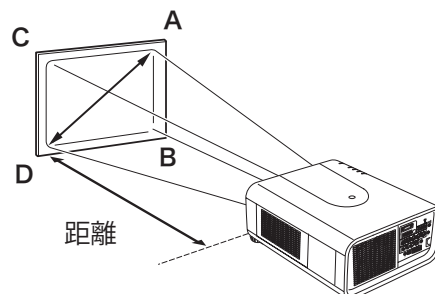
### レンズを交換するときのご注意

- レンズおよびレンズモーターに配線された線などの部品に無理な力を加えないでください。
- ほこりの多い場所でのレンズ交換は避けてください。本体内にゴミやほこりが入ると画質を損なう原因になります。

## 周辺フォーカスの補正

プロジェクターにレンズを取り付けてスクリーンに投写した時、周辺フォーカスが局部的にずれている場合があります。このような場合、レンズ取付金具とレンズの間に付属のスペーサーを挿入し、フォーカスを補正してください。スペーサーを挿入することにより、ベストフォーカスの距離がスクリーン側に補正されます。挿入するスペーサーの厚さにより補正距離が決定します。補正距離の目安はスペーサーの厚さ 0.1 mm につき 約 30 mm です。スペーサーは 3 種類各 4 枚同梱されています。補正距離に応じてスペーサーを挿入してください。




スクリーン (40 インチ投写)



フォーカス補正点

スクリーン A～D に相当する前ページ A～D の位置にフォーカス補正用スペーサーを挿入します。

具体的な補正方法は、各交換レンズの交換作業手順書をご覧ください。

	スペーサー "1" 色 (クリア)、 厚み 0.1 mm	補正距離 30 mm/40 インチ投写時
	スペーサー "2" 色 (黒)、 厚み 0.2 mm	補正距離 55 mm/40 インチ投写時
	スペーサー "3" 色 (クリーム)、 厚み 0.3 mm	補正距離 80 mm/40 インチ投写時

## 適合レンズ一覧

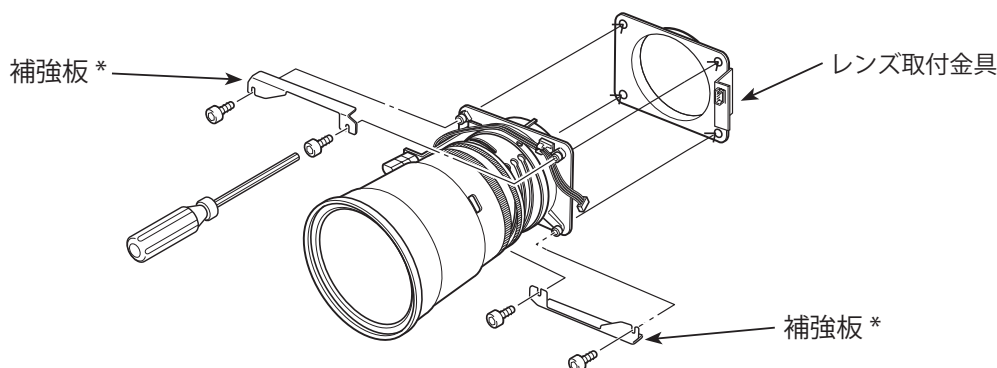
レンズ品番	レンズ品名	ズーム	フォーカス	遮光プレート
LV-IL05	標準ズームレンズ	電動	電動	TYPE PG1
LV-IL04	超長焦点ズームレンズ	電動	電動	TYPE PH1
LV-IL03	長焦点ズームレンズ	電動	電動	TYPE PH1
LV-IL02	短焦点ズームレンズ	電動	電動	TYPE PH1
LV-IL01	固定・短焦点レンズ	固定	手動	使用しない



### 標準ズームレンズ (LV-IL05) の交換についてのご注意

別売の標準レンズから他の交換レンズへ交換するときには、以下についてご注意ください。

- ・別売の標準レンズ (LV-IL05) には補強板\* が付属していますが、この補強板は標準レンズ以外には使用しません。(レンズ取付金具は使用します) レンズを交換するときには、取り外した補強板をなくさないよう保管してください。
- ・再び標準レンズに交換するときには、必ず補強板を使用してください。



# 設置のしかた

## テストパターンを投写する

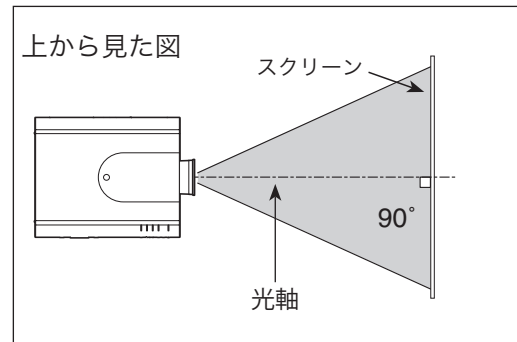
プロジェクターを設置するとき、外部の信号源を使わず内蔵のテストパターンを投写することができます。  
「セッティング」メニューで「テストパターン」の中から選択して投写します。☞71ページ

## スクリーンに対して直角に投写する

投写したとき光軸がスクリーンに対して直角になるように設置してください。

<ご注意>

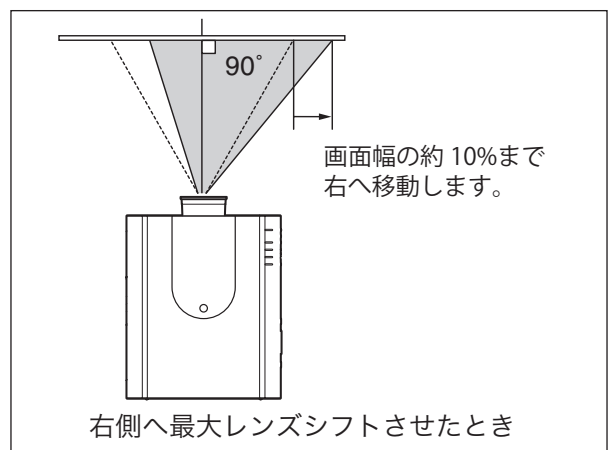
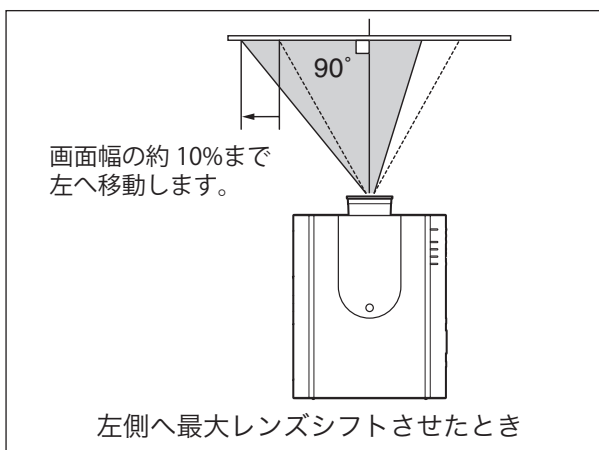
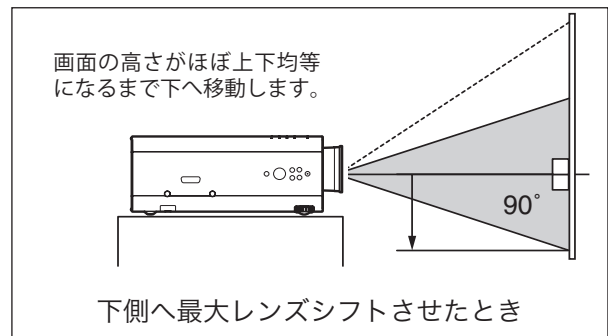
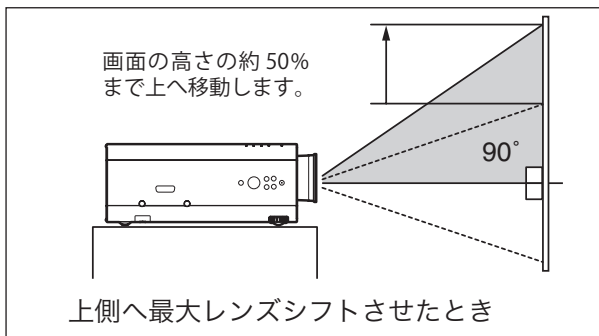
※ スクリーンに対して過度に斜めに投写すると、部分的にフォーカスが合わなくなることがあります。



## レンズシフト機能で画面の位置を合わせる (例)

本機にはレンズシフト機能が付いており、ボタン操作でレンズを上下左右にスライドさせ、画面位置を上下左右に移動させることができます。操作のしかたについては、34ページをご覧ください。

※ 下図は本機の標準レンズを装着したときの例です。



### お使いになる部屋の明るさについて


スクリーンは、太陽光線や照明が直接当たらないように設置してください。スクリーンに光が当たると、白っぽく見にくい画面になります。明るい部屋では、部屋の明るさをやや落としてください。

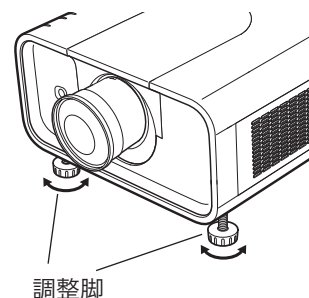


## 投写画面の高さと傾きを調整する

本体前方を持ち上げてから、本体前方の2つの調整脚をまわして投写画面の高さと傾きを微調整します。最大約6.5度まで上がります。

※ 画面の上下左右の位置は、主にレンズシフト機能で調整します。


 34 ページ

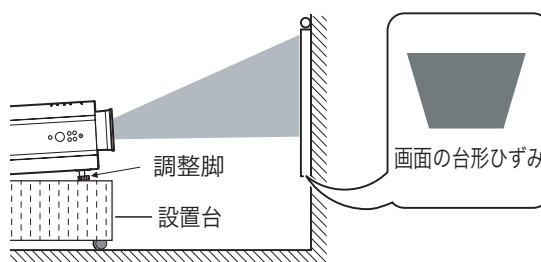


### 画面の台形ひずみ（あおり）

調整脚を上げすぎると、投写角度がスクリーンに対して斜めになり、画面が台形にひずみます。ひずみが大きい場合は、本体の設置台の高さなどを調整してください。

※ 画面の台形ひずみは、キーストーン調整でも補正できます。

 35、56 ページ



※ 画面のひずみが大きいときは、設置台を高くして調整してください。



### ご注意・著作権について

この液晶プロジェクターを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ切り換え機能等を利用して画面の圧縮、引き伸ばし等を行いますと、著作権法で保護されている作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

# 接続の例～コンピュータ

## 接続に使用するケーブル

- コンピューター接続ケーブル (D-sub 用、DVI-D 用)
  - BNC ケーブル
  - USB ケーブル
  - シリアルコントロールケーブル (RS232C 用・クロス)
- (注) コンピューター接続ケーブル (D-sub 用) と USB ケーブル以外のケーブルは付属していません。そのほかは市販のケーブルをお使いください。またその際には、各端子の形状および後面端子の幅に合ったケーブルをご使用ください。

コンピュータの映像を外部出力にする設定は、ケーブルをつないだ後に行ってください。設定方法はコンピュータの使用説明書をご覧ください。

※ ノートブック型は、「キーボードの [Fn] キーを押しながらファンクションキーを押す」といった操作が必要な場合があります。

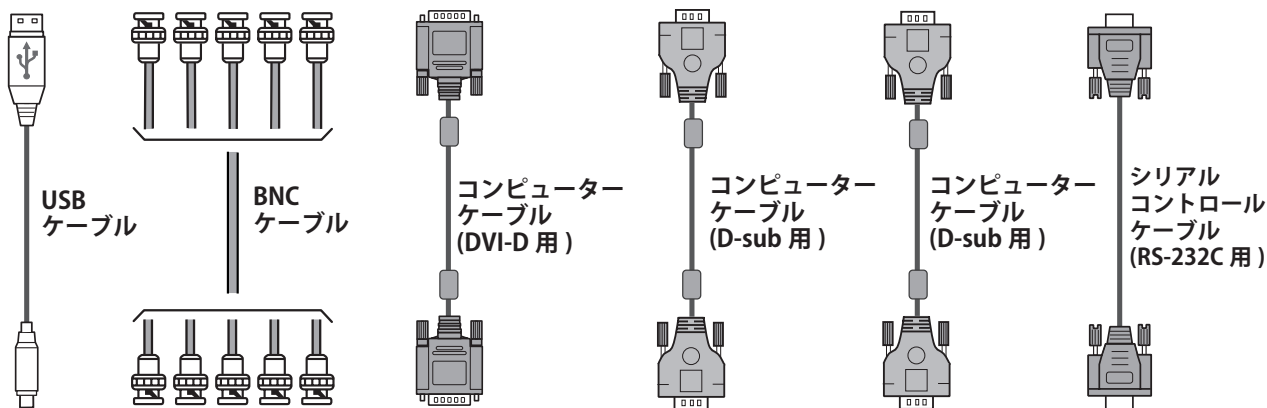
※  
ノートブック型



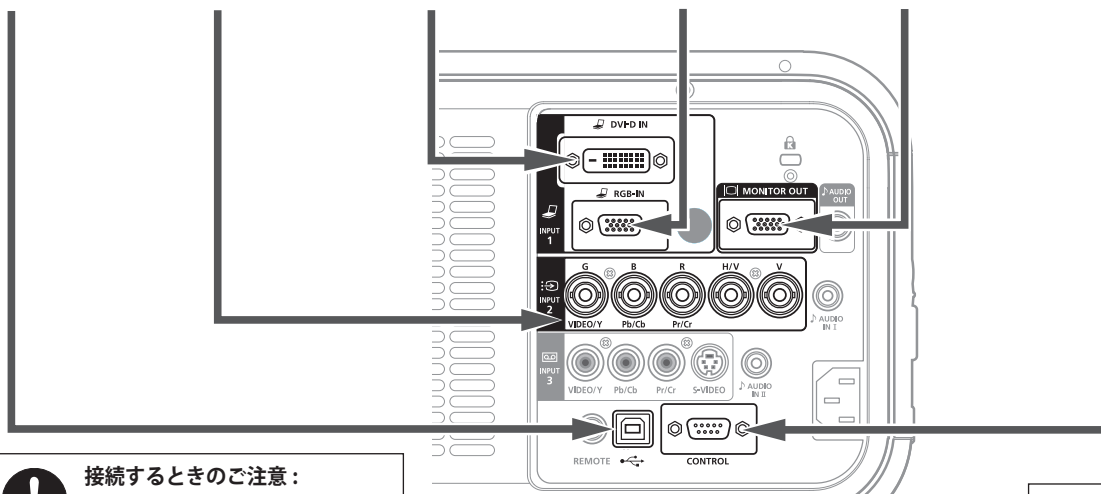
デスクトップ型



USB ポートへ    モニター出力へ    モニター出力へ    モニター出力へ    モニター入力へ\*    シリアル出力へ



→ へ    G B R H/V V へ    DVI-D IN へ    RGB-IN へ    MONITOR OUT へ    CONTROL へ



**接続するときの注意：**

接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行ってください。

注意

後面端子

\* MONITOR OUT 端子の仕様については、28 ページを参照してください。

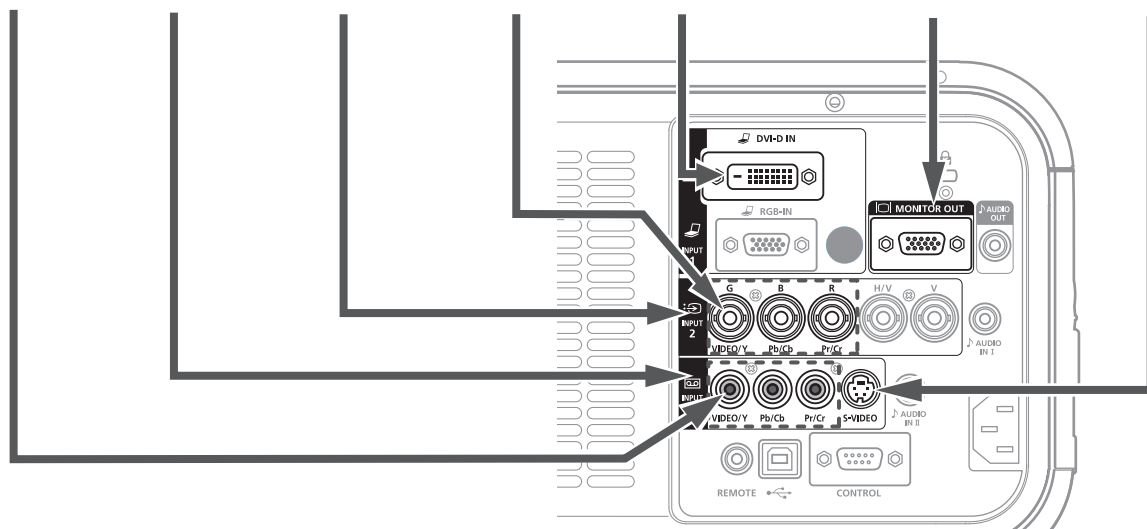
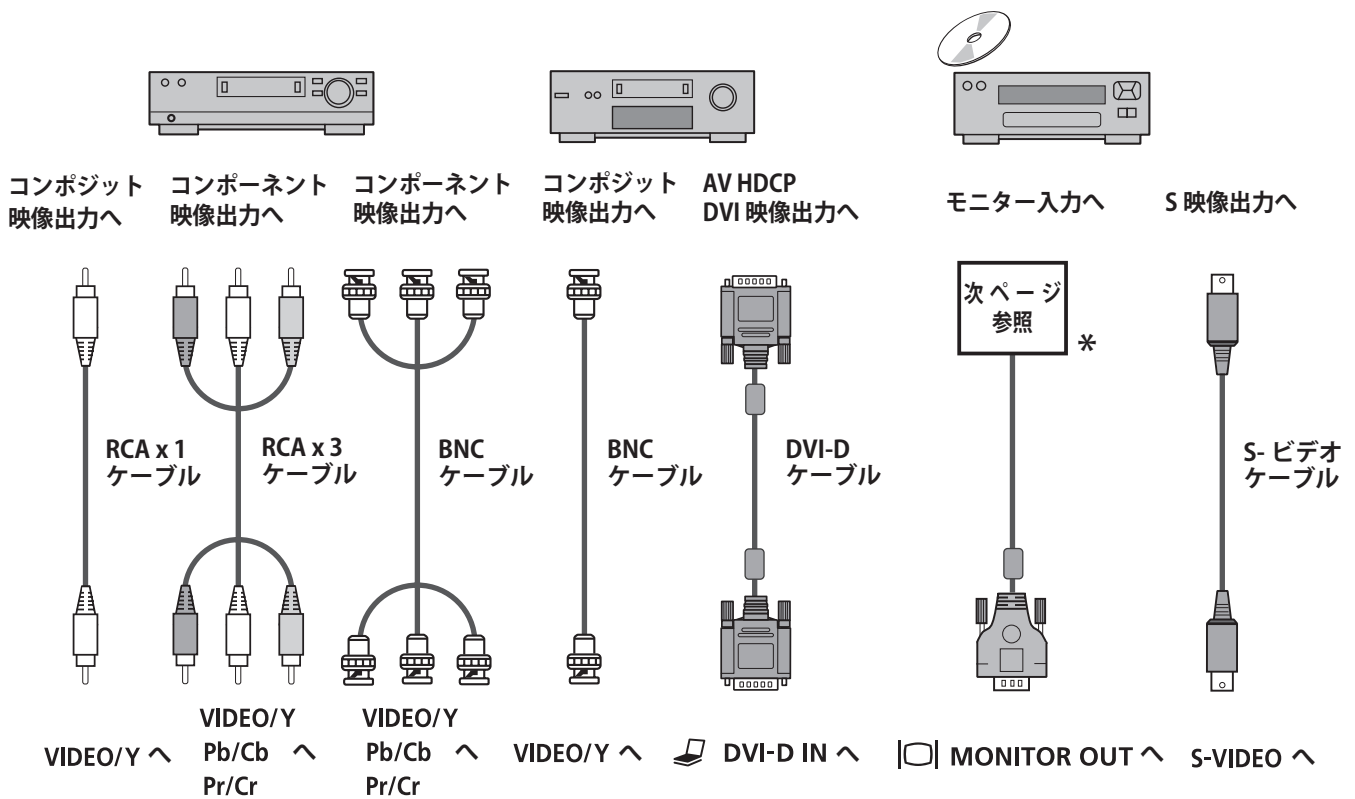
# 接続の例～ビデオ機器

## 接続に使用するケーブル

- ・ビデオケーブル (RCA x 3、RCAx1)
- ・S-ビデオケーブル (ミニ DIN4 ピン)
- ・BNC ケーブル
- ・DVI-D ケーブル

(注) 本機にはビデオ機器と接続するケーブルは付属していません。市販のケーブルをお使いください。またその際には、後面端子の幅に合ったケーブルをご使用ください。

## ビデオ、S-ビデオ、ビデオディスクプレーヤなど



**注意** 接続するときの注意：  
接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行ってください。

後面端子

\* MONITOR OUT 端子の仕様については、28 ページを参照してください。

設置・接続

# 接続の例～音声入出力

## 接続に使用するケーブル

- オーディオケーブル (ステレオミニプラグ - RCA x 2、ステレオミニプラグ)
- (注) オーディオケーブルは付属していません。市販のケーブルをお使いください。また、抵抗無しのケーブルを使用してください。AUDIO OUT から音声を外部機器に出力する場合には、出力先の外部機器にアンプ機能が内蔵されている必要があります。

ノートブック型



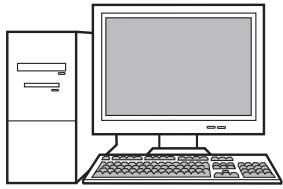
音声出力へ



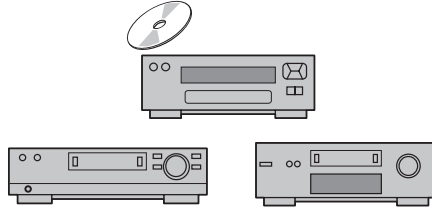
オーディオケーブル  
(ステレオミニプラグ)

♪ AUDIO IN I または ♪ AUDIO IN II へ ※

デスクトップ型



ビデオ、S-ビデオ、ビデオディスクプレーヤなど



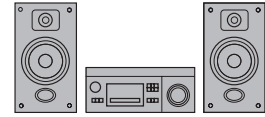
音声出力へ



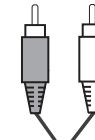
オーディオケーブル  
(ステレオミニプラグ  
-RCA x 2)

♪ AUDIO IN I または ♪ AUDIO IN II へ ※

オーディオアンプ / ステレオスピーカ

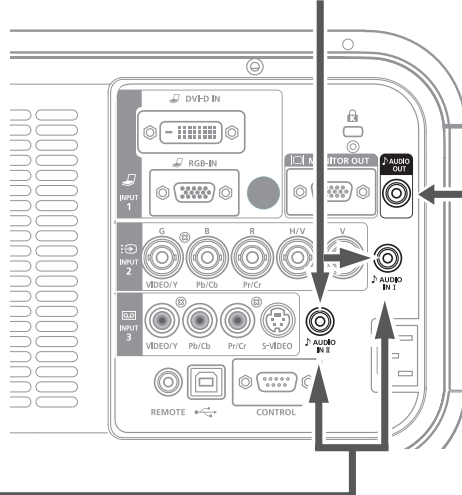


音声入力へ



オーディオケーブル  
(ステレオミニプラグ  
-RCA x 2)

※ 「AUDIO IN I」「AUDIO IN II」のインプットパターンの設定は、「サウンド」メニューで行います。  
☞ 39 ページ



後面端子

## \* MONITOR OUT の仕様

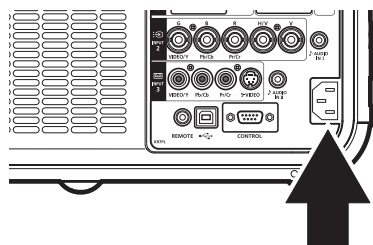
入力端子		出力の可否	接続ケーブル
インプット 1	D-sub15	RGB (PC アナログ)	○
		RGB (Scart)	×
	DVI-D	RGB (PC デジタル)	×
		RGB (AV HDCP)	×
インプット 2	5BNC	RGB	○
		Video	○ ◆
		Y, Cb/Cr	○ ◆
インプット 3	RCA	Y, Cb/Cr	○ ◆
	S-video	S-video	×
	Video	Video	○ ◆
ネットワーク			×

◆ 端子の一方の形状が D-sub であるケーブルが必要です。

# 電源コードを接続する

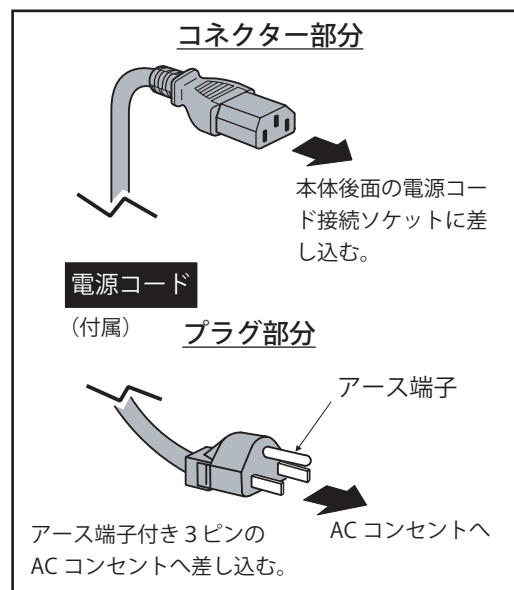
電源コードをつなぐ前に 16、26～28 ページを参照して、コンピュータやビデオ機器を接続してください。

- 1 電源コードのコネクター部分を本体後面の電源コード接続ソケットに差し込みます。



電源コードのコネクター部分を差し込む

- 2 電源コードのプラグ部分をアース端子付き 3 ピンの AC コンセントに差し込みます。



## 警告

### 電源コード取扱上の注意

電源コードは、かならず本機に付属のものをご使用ください。他の機器に使われているものは絶対に使用しないでください。事故や火災の原因となります。また、本機に付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。

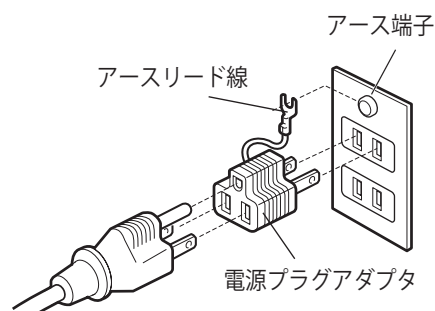
### ご使用にならないときは電源コードを抜いてください。

本機は、リモコンの [STAND-BY] ボタンや操作パネルの [POWER] ボタンで電源を切っても、約 24.5W の電力が供給されています。安全と節約のため、長期間ご使用にならないときは電源プラグを AC コンセントから抜いてください。

### 安全のため電源プラグアダプタのアースリード線を接地してください。

電源コードのプラグはアース端子付き 3 ピンプラグです。アースは確実に接地してご使用ください。コンセントが 2 ピン専用（アース端子が無い）の場合はアース工事を行い、付属の電源プラグアダプタを使用して接続してください。アースはコンピュータ使用時の電波障害の防止にもなっています。接地しないとラジオやテレビに受信障害をおよぼす原因になることがあります。

- ・感電の原因になりますので、アース工事は必ず専門業者に依頼してください。
- ・アースリード線をコンセントに差し込まないでください。感電の原因になります。
- ・電源プラグアダプタを使うときは安全のため、電源プラグアダプタをコンセントに差し込む前にアースリード線をアース端子に接続してください。また、外すときは電源プラグアダプタをコンセントから抜いてからアースリード線をアース端子から外してください。





# 基本の操作

## プロジェクターの基本操作

プロジェクターは、本体の操作ボタンまたはリモコンで操作できます。また、リモコンは、ワイヤレス式のほか、リモコンコードを接続してワイヤード式でも操作することができます。

### 基本操作と操作ボタン

ここで示されている以外の詳しい操作項目は、それぞれのメニュー操作の中の説明をご参照ください。

操作項目	操作ボタン名	本体操作パネル 	リモコン 	参照ページ
電源入・切	POWER	○	-	31、32
電源入	ON	-	○	31
電源切	STAND-BY	-	○	32
入力切換	INPUT	○ INPUT1 → 2 → 3	○ INPUT1 → 2 → 3	33
入力切換	INPUT1/2/3	-	INPUT1/2/3	33
レンズ	LENS	○ ズーム→フォーカス →レンズシフト	-	34
ズーム	ZOOM ▲▼	-	○	34
フォーカス	FOCUS ▲▼	-	○	34
レンズシフト	LENS SHIFT	-	○	34
アスペクト	ASPECT	-	○	35
キーストーン	KEYSTONE	-	○	35
デジタルズーム	D-ZOOM	-	○	38
自動 PC 調整	AUTO PC	-	○	37
フリーズ	FREEZE	-	○	36
プレゼンテーション タイマー	P-TIMER	-	○	36
フィルター	FILTER	-	○	38
右クリック	R-CLICK	-	○	72
シャッター	SHUTTER	○	○	38
ポインタ	POINTER	-	○	36
インフォメーション	INFO.	-	○	37
メニュー	MENU	○	○	40
OK	OK	○	○	40
ポイント 上下左右	ポイント ▲▼◀▶	○	○	40
音量 - / +	VOL - / +	○ (ポイント◀ / ▶)	○ (ポイント◀ / ▶)	39
消音	MUTE	-	○ (ポイント▼)	39

# 電源を入れる・切る

## 電源を入れる

電源コードをつなぐ前に 16、26～28 ページを参照して、コンピュータやビデオ機器を接続してください。

1 電源コードを AC コンセントに接続します。☞ 29 ページ  
[LAMP] インジケータ (赤) と、[POWER] インジケータ (緑) が点灯します。

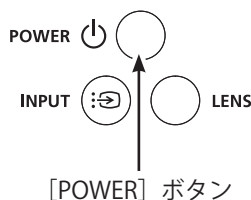
2 リモコンの [ON] ボタンまたは操作パネルの [POWER] ボタンを押して電源を入れます。(注1)  
正常に起動すると [LAMP] インジケータ (赤) が少し暗めの点灯に変わります。  
約 30 秒間のオープニング画面とそのカウントダウン (注2) が終わると画像が映ります。スタート時、「ランプモード」と「インプットモード」が約 4 秒間表示されます。  
このとき、「セッティング」メニューの「セキュリティ」内の、「暗証番号ロック」(☞ 66 ページ) を「オン」にしているときは、暗証番号を入力します。暗証番号の入力方法は、次ページを参照してください。

(注1)  
セッティングメニューで「オンスタート」(☞ 65 ページ) を「オン」に設定しているときは、電源コードを接続すると同時にプロジェクターの電源が入ります。

(注2)  
セッティングメニューで、  
・「オンスクリーン表示」(☞ 58 ページ) を「オン」、「ロゴ選択」(☞ 59 ページ) を「オフ」に設定しているときは、カウントダウンは表示されますがオープニング画面は表示されません。  
・「オンスクリーン表示」(☞ 58 ページ) を「カウントダウンオフ」または「オフ」に設定しているときは、「ロゴ選択」(☞ 59 ページ) の設定に関係なく、ランプ点灯後すぐに投写されます。

カウントダウンの 30 秒間はリモコンによるズーム、フォーカス、レンズシフト以外の操作は行えません。

### 操作パネル



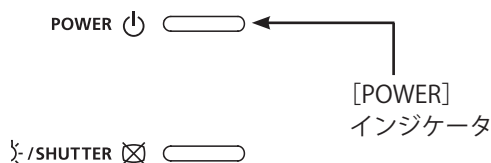
[POWER] ボタン

### リモコン



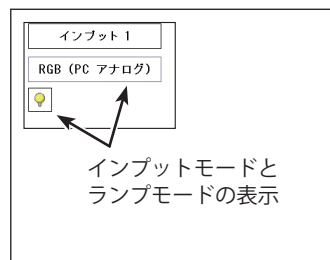
[ON] ボタン

### インジケータ



[POWER] インジケータ

### スタート時の画面表示



インプットモードとランプモードの表示

### ⚡ エアフィルターおよびランプに関するお知らせ表示

フィルター警告とランプ交換の表示

電源を入れた後、プロジェクターの状態により「フィルター警告」および「ランプ交換」のお知らせ表示が出ることがあります。☞ 73、75 ページ  
※ 約 4 秒間表示されます。

⚡ この表示は、エアフィルターカートリッジの交換をお知らせしています。エアフィルターカートリッジを交換せずにプロジェクターを使用し続けると、光学部品の保護のために、電源を入れてから約 3 分後に自動的に電源が切れます。



### ⚡ 電源を切った後、すぐには電源が入りません

電源を切った後しばらくの間は、次の点灯に備えて高温になったランプを冷却しています。この間は [ON] または [POWER] ボタンを押しても電源は入りません。[POWER] インジケータが点灯すれば電源を入れることができます。

## 暗証番号の入力方法

※ 前ページ「電源を入れる」の「1」「2」に続いて、

- 3 「暗証番号ロック」が「オン」のとき、31 ページ「手順2」でカウントダウンが終わったあと、暗証番号を入力する画面が現れます。

### リモコンで入力する

- 4 リモコンの数字ボタンで0～9の数字を選択し、4けた全ての数字を入力します。4けた全てを入力すると、ポインタが自動的に「セット」に移動します。

- 5 4けた全ての数字を入力したら、ポインタを[ポイント] ボタン右で「セット」に移動します。

- 6 [OK] ボタンを押して決定します。

※ 数字の入力をやり直したいときは、[ポイント] ボタンの左右でやり直したい数字を選択し、数字ボタンまたは[ポイント] ボタン上下で数字を選び直します。  
※ 4けた全ての数字を消したいときは、「クリア」にポインタを合わせて [OK] ボタンを押します。

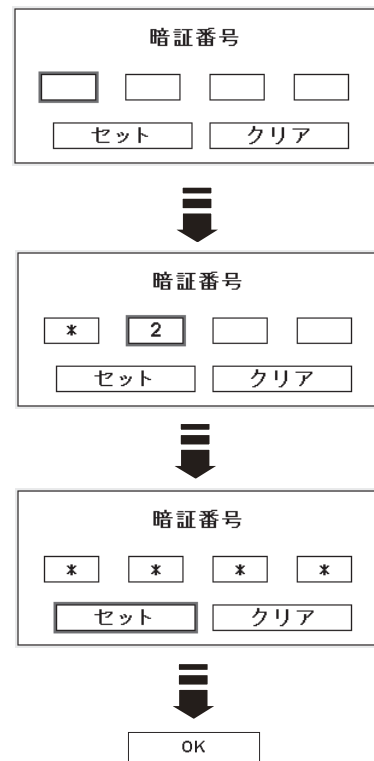
- 7 正しく入力されていると「OK」が画面に表示され、プロジェクターを操作できます。

※ 正しい暗証番号が入力されないと、約3分後に自動的に電源が切れます。

### 暗証番号ロックとは？

管理者以外の暗証番号を知らない第三者によるプロジェクターの操作を防止します。詳しくは「セッティング」メニューの「セキュリティ」内の「暗証番号ロック」を参照してください。(P 66ページ)

### 暗証番号



## 電源を切る

- 1 リモコンの[STAND-BY] ボタン、または操作パネルの[POWER] ボタンを押すと、画面に「もう1度押すと電源が切れます」と表示されます。

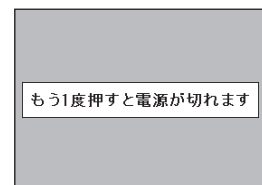
- 2 表示されている間に再度[STAND-BY] ボタン、または[POWER] ボタンを押すと画面が消え、電源が切れます。電源が切れると[POWER] インジケータが消え、ランプの冷却を始めます。

### リモコン



[STAND-BY] ボタン

### 電源切り時の画面表示



※ 約4秒間表示されます。



### ランプを長持ちさせるために

ランプが発光を始めて安定しない状態のまま電源を切ると、ランプの寿命を縮める原因になります。約5分以上点灯させてから電源を切ってください。電源を切るときは、[STAND-BY] ボタンまたは[POWER] ボタンで操作してください。電源が入っている状態からいきなり電源プラグを抜くと、ランプや回路に悪影響を与えます。



### 冷却ファンについて

投写している最中、温度によりファンの回転速度が自動的に切り換わりますが、故障ではありません。



## パワーマネージメント機能とその働き

本機にはパワーマネージメント機能が搭載されています。30秒以上映像が入力されず、また、プロジェクターも操作されなかった場合、画面に「入力信号なし」とタイマー表示が現れ、カウントダウンを始めます。信号が入力されず、また操作されずカウントダウンが完了するとランプが消灯し、電力の節約とランプ寿命を助ける働きをします。

※ 工場出荷時は「待機・5分」に設定されています。☞ 64ページ

### パワーマネージメントの動作について

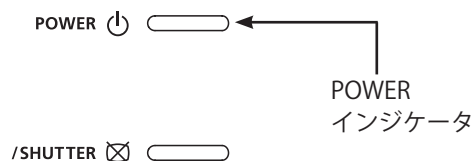
- ・設定が「待機」の場合
  - (1) タイマーのカウントダウンが完了するとランプが消灯し、ランプの冷却を開始します。ランプ冷却中は [POWER] インジケータが消灯し、プロジェクターは操作できません。
  - (2) ランプの冷却が完了すると [POWER] インジケータが点滅を始め、パワーマネージメントモードになっていることを知らせます。この状態のとき、信号が入力されたりプロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が投写されます。
- ・設定が「シャットダウン」の場合
  - (1) タイマーのカウントダウンが完了するとランプが消灯し、ランプの冷却を開始します。ランプ冷却中は [POWER] インジケータが消え、プロジェクターを操作できません。
  - (2) ランプの冷却が完了すると電源が切れます。

### タイマー表示



※ タイマーの表示中に、操作または信号の入力が行われると、タイマーの表示は消えます。

### パワーマネージメント時のインジケータ



パワーマネージメントが働くと、[POWER] インジケータ（緑色）が消灯します。

プロジェクターを24時間以上連続して使用する場合には、24時間に一度電源を切り、1時間休ませてください。休ませることにより、ランプをより長くご使用いただけます。

基本の操作

# 入力信号を選択する

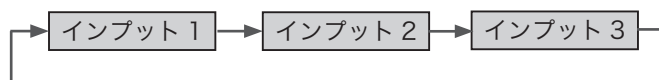
「インプット1」「インプット2」「インプット3」から投写するインプット（入力）を選択します。

- 操作パネルまたはリモコンの [INPUT] ボタンを押して、投写するインプットを選択します。ただし、入力信号を選択することはできません。☞ 42ページ
- リモコンの [INPUT 1/2/3] ボタンでインプットを選択する場合は、ボタンを押すたびに入力信号が切り換わりますので、希望の入力信号になるまで押します。☞ 42ページ

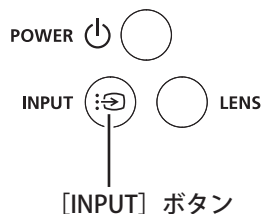
#### <ご注意>

本体の操作パネルとリモコンの [INPUT] ボタンでインプット（入力）を選択する場合には、先に「インプット」メニューで各インプットの入力信号を選択しておく必要があります。入力信号の選択が正しく行われていないと [INPUT] ボタンを押しても正しく投写されません。☞ 42～43ページ

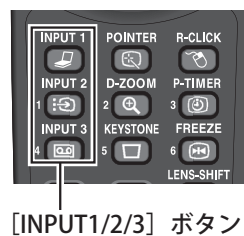
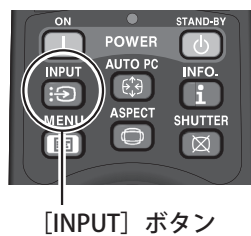
### [INPUT] ボタン



操作パネル



リモコン



# 投写画面を調整する

プロジェクター本体の操作パネルとリモコンのボタン操作は異なります。

- 操作パネルの [LENS] ボタンを押すたびに、「ズーム」→「フォーカス」→「レンズシフト」の各調整モードに切り換わります。
- リモコンではそれぞれのボタンを押すと、その調整モードに切り換わります。

## 画面の大きさを決める

### [LENS]、[ZOOM] ボタン

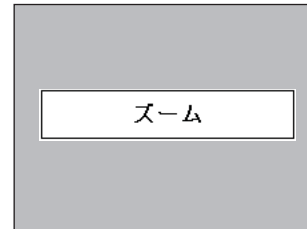
#### リモコンで操作するとき

[ZOOM] ボタン上・・・画面が大きくなります。  
[ZOOM] ボタン下・・・画面が小さくなります。

#### 操作パネルで操作するとき

[LENS] ボタンを押して「ズーム」を選択します。  
表示が出ている間に、  
[ポイント] ボタン上・・・画面が大きくなります。  
[ポイント] ボタン下・・・画面が小さくなります。

### 「ズーム」表示



- ※ 約4秒間表示されます。
- ※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは表示されません。

## フォーカスを合わせる

### [LENS]、[FOCUS] ボタン

#### リモコンで操作するとき

[FOCUS] ボタンの上下で、画像がもっとも鮮明に映るように焦点を合わせます。

#### 操作パネルで操作するとき

[LENS] ボタンを押して「フォーカス」を選択します。表示が出ている間に [ポイント] ボタンの上下で、画像がもっとも鮮明に映るように焦点を合わせます。

### 「フォーカス」表示



- ※ 約4秒間表示されます。
- ※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは表示されません。

## レンズシフト機能で画面の位置を上下左右に動かす

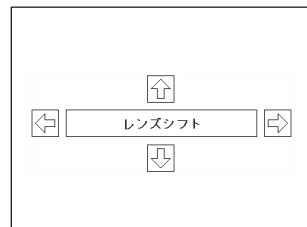
### [LENS]、[LENS SHIFT] ボタン

#### リモコンおよび操作パネルで操作するとき

- 1 リモコンの [LENS SHIFT] ボタン、または操作パネルの [LENS] ボタンを押してレンズシフト調整モードに入ります。画面に「レンズシフト」が表示されます。
- 2 表示されている間に [ポイント] ボタンの上下左右で、画面の位置を上下左右に動かします。

- ※ 移動中に左右方向の矢印が赤色に変わる位置があります。その位置がレンズの左右方向の中央です。
- ※ 最大のシフト位置で矢印の表示が消えます。
- ※ レンズシフト機能で調整した内容は、電源を切っても記憶されています。
- ※ 画面位置を動かすと、多少画面が暗くなる場合があります。

### 「レンズシフト」表示



- ※ 約4秒間表示されます。
- ※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは表示されません。

## 画面サイズを選択

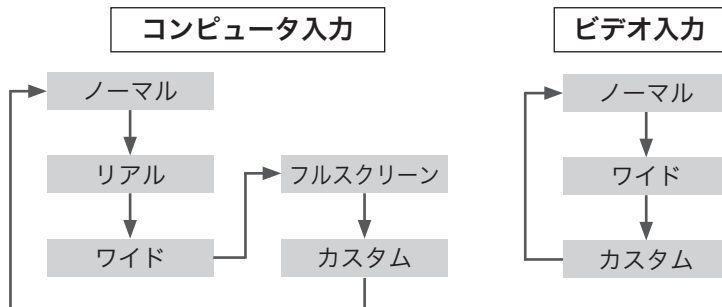
### [ASPECT] ボタン

リモコンの [ASPECT] ボタンで、入力信号に合わせて画面のサイズを、「ノーマル」「リアル」「ワイド」「フルスクリーン」「カスタム」の中から選択することができます。☞ 53～55 ページ

- ※ 「リアル」「フルスクリーン」は、ビデオ入力では選択できません。
- ※ ボタンを5秒間以上長押しすると、「スクリーン」メニュー内で設定したすべての内容が工場出荷時に戻ります。



[ASPECT] ボタン



## キーストーン調整 (台形ひずみの補正)

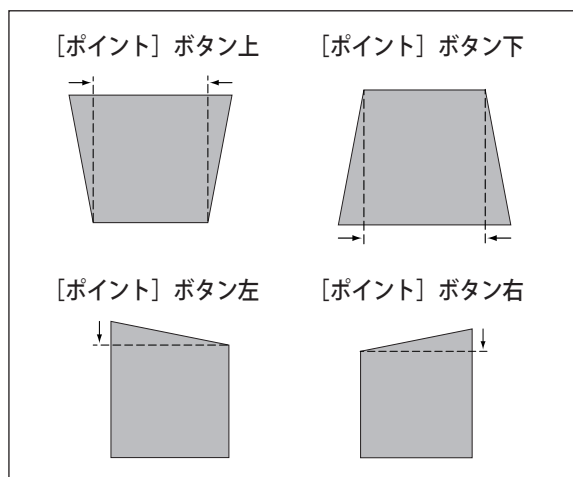
### [KEYSTONE] ボタン

リモコンの [KEYSTONE] ボタンを押します。画面に「キーストーン」が表示されます。表示されている間に [ポイント] ボタンの上下左右で画面の台形ひずみを補正します。

- [ポイント] ボタン上・・・画面上部の幅が縮みます。
- [ポイント] ボタン下・・・画面下部の幅が縮みます。
- [ポイント] ボタン左・・・画面左部の高さが縮みます。
- [ポイント] ボタン右・・・画面右部の高さが縮みます。



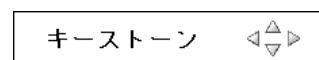
[KEYSTONE] ボタン



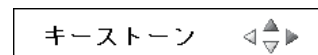
#### <ご注意>

- ※ 「キーストーン」表示が現れているあいだにリモコンの [KEYSTONE] ボタンを押すと、補正前の状態に戻ります。
- ※ キーストーン調整後に「天吊り」を「オン」にすると、補正前の状態に戻ります。
- ※ キーストーン調整で補正した画面は、信号をデジタル圧縮して写しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。
- ※ キーストーンの補正量および補正範囲は入力信号によって異なります。

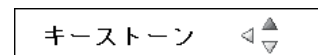
### 「キーストーン」表示



- ※ 約 10 秒間表示されます。
- ※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは、画面に表示されません。
- ※ 補正された方向の矢印は赤色で表示されます。以下の例では、右と上方向が補正されています。(無補正の方向は白色で表示)



- ※ 最大の補正位置で矢印の表示が消えます。以下の例では、右方向の補正が最大になっています。



# その他の機能

## 画面を一時的に静止させる

### [FREEZE] ボタン

リモコンの [FREEZE] ボタンを押すと、再生機器に関係なく投写画面だけが静止します。もう一度 [FREEZE] ボタンを押すと解除されます。また、FREEZE 中にほかのボタンを押すと、FREEZE は自動で解除され、押したボタンが機能します。

※ FREEZE 機能の動作中は、パワーマネージメント (☞ 33 ページ) は動作しません。



#### こんなときに便利です

プレゼンターがコンピュータで次の資料の準備をする間、視聴者には [FREEZE] ボタンで一時静止した画面を見てもらいます。準備中の無用な画像を隠して、スマートなプレゼンテーションが行えます。



[FREEZE] ボタン

## プレゼン時に経過時間を表示する

### [P-TIMER] ボタン

リモコンの [P-TIMER] ボタンを押すと、ボタンを押したときからの経過時間をカウントして画面に表示します。もう一度 [P-TIMER] ボタンを押すと経過時間のカウントを止め、それまでの経過時間を画面に表示します。さらに [P-TIMER] ボタンを押すと解除されます。



#### こんなときに便利です

プレゼンテーションの持ち時間が決められているときなど、プレゼンターは経過時間を考えながら、スムーズなプレゼンテーションを行うことができます。



[P-TIMER] ボタン

#### 経過時間の表示



## ポインタを表示する

### [POINTER] ボタン

リモコンの [POINTER] ボタンを押すと、画面上にポインタを表示させることができます。表示したポインタは [プレゼンテーションポインタ] ボタンで操作します。☞ 19 ページ  
ポインタ表示を解除するには、リモコンの [左・右クリック / OK / ポイント] ボタン (☞ 18、19 ページ) 以外のボタンを押します。また、30 秒間操作しないしていると、自動的に解除されます。

※ ポインタの種類は、「セッティング」メニューの「ポインタ」で変更します。  
☞ 65 ページ



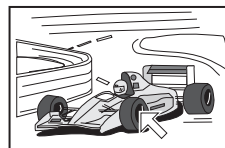
#### こんなときに便利です

プレゼンテーション中の画面で、視聴者に特に見て欲しい部分を強調したいときなどに便利です。



[POINTER] ボタン

#### ポインタ



## 投写中の入力信号の状況やランプの状態を確認する

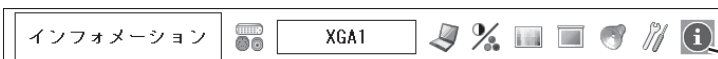
「インフォメーション」で、投写中の入力信号の状況とランプの状態を画面上で確認することができます。

### [INFO.] ボタン

リモコンの [INFO.] ボタンを押します。

### メニューから確認する

[MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右で「インフォメーション」を選択します。



インプット	インプット 1	
	RGB (PC デジタル)	
水平周波数	0.0 KHz	
垂直周波数	0.0 Hz	
アスペクト	ノーマル	
言語	日本語	
ランプ状態	●	
パワーマネージメント	待機 5 分	
シャッターマネージメント	リモートコントロール	オフ
	プロジェクター	オフ
	180 分	
セキュリティ	キーロック	●
	暗証番号ロック	オフ
	リモートコントロール	シンプルモード オフ
	リモコンコード	コード 1
SERIAL NO.	*****	

インフォメーション  
メニューアイコン



[INFO.] ボタン

### 確認できる項目

- ・インプット (投写中の信号の種類)
- ・水平周波数
- ・垂直周波数
- ・アスペクト
- ・言語
- ・ランプ状態
- ・パワーマネージメント
- ・シャッターマネージメント
- ・セキュリティ
- ・リモートコントロール
- ・SERIAL NO. (製品シリアル番号)

### <ご注意>

※ 表示項目中の「水平周波数」「垂直周波数」は、およその目安です。



### こんなときに便利です

プロジェクターの準備・設置などでうまく投写できないときに、問題解決の手助けになります。

## コンピュータ信号の画面調整を自動で行う

リモコンの [AUTO PC] ボタンを押すと、画面に「しばらくお待ちください」のメッセージが表示され、コンピュータ信号の「トラッキング」「総ドット数」「ポジション H」「ポジション V」が自動で調整されます。☞ 46 ページ

※ 自動 PC 調整で、「トラッキング」「総ドット数」「ポジション H」「ポジション V」の全てを完全に調整できないコンピュータもあります。その場合は、マニュアルで調整してカスタムモードに登録してください。

☞ 46 ~ 48 ページ

※ 自動調整した内容を登録しておく、コンピュータのシステムメニューでそのモードを選択することができます。登録のしかたについては、コンピュータシステムの調整の中のマニュアル PC 調整の項 (☞ 46 ページ) をご参照ください。

※ コンピュータからの入力信号によっては、自動 PC 調整を行えない信号があります。☞ 46 ページ

※ 「PC 調整」メニューからも自動 PC 調整を行えます。☞ 46 ページ



[AUTO PC] ボタン

## 画面を拡大する

### [D-ZOOM] ボタン

画面の拡大、縮小を行います。

#### ○デジタルズーム+

リモコンの [D-ZOOM] ボタンを1回押すと、画面に「デジタルズーム+」が表示されます。[OK] ボタンを押すごとに画面が拡大します。[ポイント] ボタンで画面をパンニング（移動）させます。

#### ○デジタルズーム-

リモコンの [D-ZOOM] ボタンを2回押すと、画面に「デジタルズーム-」が表示されます。[OK] ボタンを押すごとに画面が縮小します。

デジタルズームモードから抜けるときは、「D-ZOOM、OK、ポイント」以外のボタンを押します。

※「アスペクト」メニューからもデジタルズームを行えます。

☞ 53 ~ 54 ページ



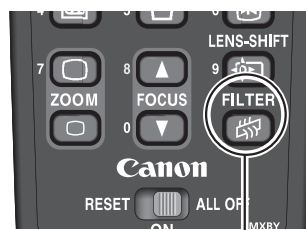
[D-ZOOM] ボタン

## エアフィルターを巻き取る

### [FILTER] ボタン

リモコンの [FILTER] ボタンを5秒以上押し続けると、右図のメッセージが画面に表示され、エアフィルターを1回巻き取ります。

- ※ 汚れていなくてもフィルターを巻き取ります。
- ※ エアフィルターの巻き戻しはできません。
- ※ 巻き取りを行うと、フィルター使用時間 (☞ 69 ページ) が自動的に「0」に戻ります。
- ※ エアフィルターの巻き取り回数の残りが「0」のときは画面に [!] が表示され、巻き取りは行われません。
- ※ エアフィルターが巻き取られている最中に、エアフィルター巻き取りの操作を行うと、画面に [!] が表示されます。
- ※ エアフィルターカートリッジの端の部分に巻き取った残りが見えることがあります。正しく巻き取られていますのでご使用には問題ありません。
- ※ 巻き取り中に電源が切れるなどによって動作が途中で止まったときは、再び電源が入ったときに残った部分の巻き取りを行います。
- ※ 「セッティング」メニューの「フィルター制御」からもフィルターの巻き取りを行えます。☞ 62 ページ



[FILTER] ボタン

### フィルター巻き取り時の画面表示

しばらくお待ち下さい

## シャッターを閉じる

### [SHUTTER] ボタン

本機には、機械的なシャッターが搭載されています。リモコンまたは操作パネルの [SHUTTER] ボタンを押すと、シャッターを閉じて投写光を遮断します。シャッターを閉じている間は [SHUTTER] インジケータが青色に点灯します。再度 [SHUTTER] ボタンを押すとシャッターが開きます。

- ※ シャッターを閉じているときに他のボタンを押すとシャッターが開き、押したボタンの機能が動作します。
- ※ リモコンからのシャッター操作の保護（操作禁止）を設定している場合にリモコンの [SHUTTER] ボタンを押すと、画面に [!] が表示されます。また、本体のボタン操作を保護している場合にも同様に表示されます。
- ※ シャッター操作の保護設定などのシャッターに関する設定は、「セッティング」メニューの「シャッター」で行います。☞ 68 ページ



[SHUTTER] ボタン

# 音声に関する操作・設定

本機は、入力信号に応じた音声を他の外部機器に出力することができます。(インプットがネットワークの場合、音声機能は使用できません)

## 音量を設定する

### ダイレクトボタンで音を調節する

#### 音量 (音声出力)

画面表示が出ていない状態で、リモコンまたは操作パネルの [VOL-] ([ポイント] ボタン左) を押すと音量が小さくなり、リモコンまたは操作パネルの [VOL+] ボタン ([ポイント] ボタン右) を押すと音量が大きくなります。音量は0から63まで調整できます。画面に表示される音量バーを目安に調整してください。

#### 消音 (音声出力)

画面表示が出ていない状態で、リモコンの [MUTE] ボタン ([ポイント] ボタン下) を押すと、一時的に音が消えます。再度リモコンの [MUTE] または [VOL (+/-)] ボタンを押すと解除されます。

### サウンドメニューで音を調節する

- 1 リモコンまたは操作パネルの [MENU] ボタンでメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「サウンド」メニューに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタンの上下で、選択したい項目にポインタを合わせて [OK] ボタンを押します。



#### 音量 (音声出力)

[ポイント] ボタン左で音量が小さくなり、[ポイント] ボタン右で音量が大きくなります。音量バーを目安に調整してください。



#### 消音 (音声出力)

[ポイント] ボタン右または左で「オン」に切り換えると、一時的に音を消すことができます。「オフ」にすると再び音が出ます。

- ※ 消音を「オン」を設定していても、音量を変更すると自動的に消音は「オフ」になり音が出ます。
- ※ [AUDIO OUT] (音声出力端子) は可変出力です。プロジェクターで音量を変化させると、[AUDIO OUT] からの出力が変化します。

## 音声と映像のインプットパターンを設定する



### インプットパターン

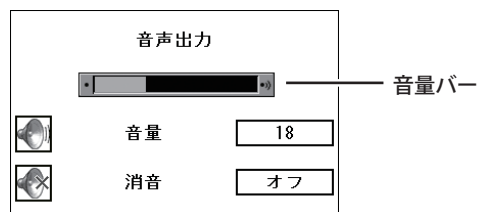
映像のインプットを選択したときに、どの音声入力を [AUDIO OUT] から外部出力するか設定します。映像の INPUT 「インプット1」「インプット2」「インプット3」に対して、音声入力「AUDIO IN I」と「AUDIO IN II」を割り当てた3つのパターンから選択します。

- 1 リモコンまたは操作パネルの [MENU] ボタンでメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「サウンド」メニューに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタンの上下で、「インプットパターン」にポインタを合わせて [OK] ボタンを押します。
- 3 インプットパターンを設定する画面が表示されますので、[ポイント] ボタン上下でパターンを選択し、[OK] ボタンを押して設定します。

### リモコンの音量設定ボタン

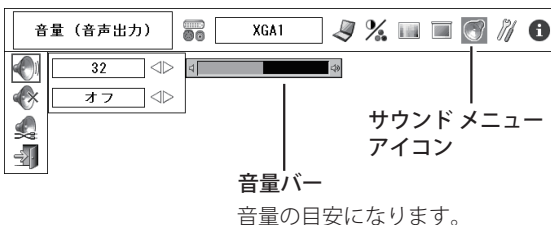


### ダイレクトボタンでの音量調整時の画面表示

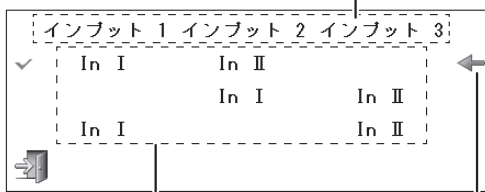


- ※ 約4秒間表示されます。
- ※ 「オンスクリーン表示」(C 58 ページ) を「オフ」に設定しているときは表示されません。
- ※ ネットワークで使用しているときは表示されません。

### サウンドメニュー



### インプットパターン 映像のインプット



映像のインプットの選択時に、音声出力として割り当てる「In I」「In II」のパターンをポインタに合わせて [OK] ボタンで選択します。

### 3種類の音声出力パターン

	インプット 1	インプット 2	インプット 3
①	In I	In II	音声なし
②	音声なし	In I	In II
③	In I	音声なし	In II

# オンスクリーンメニューの操作方法

## メニュー操作の基本を覚えてください

オンスクリーンメニュー（画面上のメニュー）の操作は、

- ① [ポイント] ボタンでポインタを移動させて
  - ② ポインタがある項目を [OK] ボタンで選択する
- が基本です。

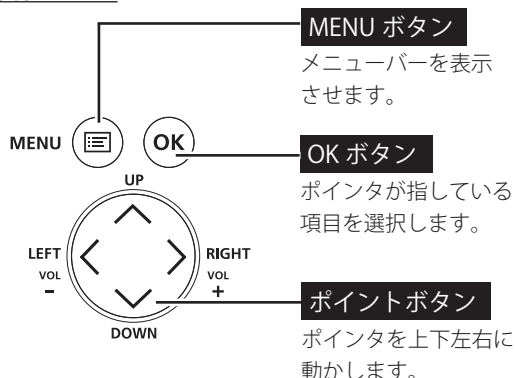
### ① ポインタの動かし方

ポインタは、[ポイント] ボタンで上下左右に動かします。[ポイント] ボタンはリモコンと操作パネルにあります。

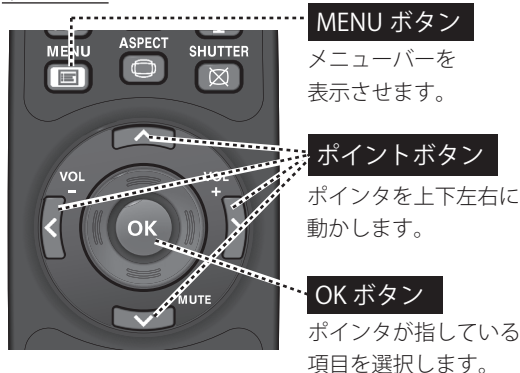
### ② 項目の選択のしかた

ポインタの指す項目やアイコン（操作をイメージした絵）を選択するには、[OK] ボタンを押します。  
[OK] ボタンはリモコンと操作パネルにあります。

### 操作パネル



### リモコン



## 操作の手順

### 画面にメニューバーを表示させる

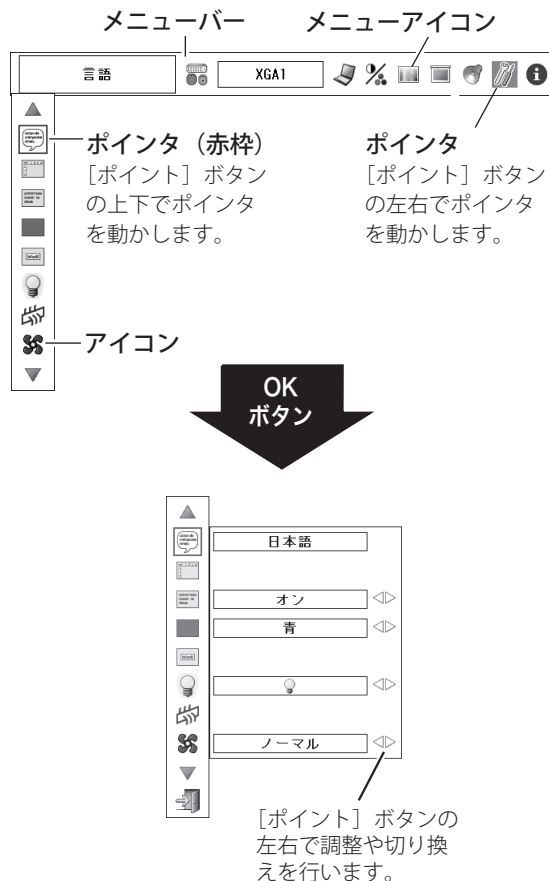
- 1 [MENU] ボタンを押すと、画面にメニューバーが表示されます。メニューバーには選択できるメニューがアイコン（操作をイメージした絵）の形で一覧表示されます。アイコンを囲んでいる赤い枠がポインタです。

### メニューを選択する

- 2 赤い枠のポインタを [ポイント] ボタンの左右で選択したいメニューのアイコンに移動させます。

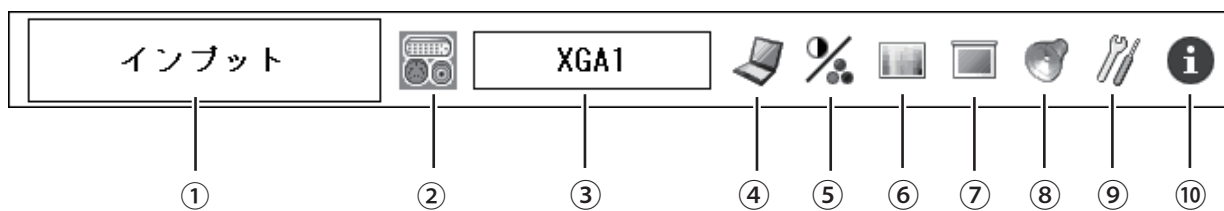
### メニュー画面で調整や切り換えを行う

- 3 [ポイント] ボタンの上下で、ポインタを調整する項目のアイコンに合わせます。
- 4 [OK] ボタンを押して、調整する項目の設定状態をメニュー画面に表示します。
- 5 [ポイント] ボタンの左右で、調整や切り換えを行います。それぞれのメニューの調整については、各メニューの説明項目を参照してください。





メニューバー



①	<b>ガイドボックス</b> オンスクリーンメニューの選択中の項目を表示します。	
②	<b>インプットメニュー</b> 42～43 ページ 「インプット (入力) 1～3」を切り換えます。	
③	<b>システムボックス</b> 44、45 ページ コンピュータ画面のときは、選択されたコンピュータシステムを表示します。 ビデオ画面のときは、選択されたカラーシステムまたは走査方式を表示します。	
④	<b>PC 調整メニュー*</b> 46～48 ページ お使いのコンピュータに合わせてシステムを調整し、カスタムモードに登録します。	自動 PC 調整、トラッキング、総ドット数、ポジション H、ポジション V、コンピュータ情報、クランプ、画面領域 H、画面領域 V、リセット、データ消去、メモリー
⑤	<b>イメージ選択メニュー</b> 49 ページ 画面のイメージモードを選択します。	スタンダード、ハイコントラスト*、シネマ**、カスタム 1～10
⑥	<b>イメージ調整メニュー</b> 49～52 ページ 画面のイメージをマニュアルで調整します。	コントラスト、明るさ、色の濃さ**、色合い**、カラーマネージメント、自動画質補正、アドバンスドカラー、色温度、ホワイトバランス (赤/緑/青)、オフセット、画質、ガンマ補正、ノイズリダクション**、プログレッシブ**、リセット、メモリー
⑦	<b>アスペクトメニュー</b> 53～56 ページ 画面の大きさや投写モードを設定します。	ノーマル、リアル*、ワイド、フルスクリーン*、カスタム、デジタルズーム+ノ-*、キーストーン、天吊り、リア投映、リセット
⑧	<b>サウンドメニュー***</b> 39 ページ 音声の設定を行います。	音量 (音声出力)、消音 (音声出力)、インプットパターン
⑨	<b>セッティングメニュー</b> 57～71 ページ プロジェクターの各種設定を行います。	言語、メニュー、オンスクリーン表示、バックグラウンド、ロゴ、ランプモード、フィルター制御、ファン制御、リモートコントロール、リモコン受光部、パワーマネージメント、オンスタート、ポイント、セキュリティ、シャッター、ランプカウンター、フィルターカウンター、テストパターン、初期設定
⑩	<b>インフォメーションメニュー</b> 37 ページ 投写中の信号状況とセッティングの状況を表示します。	インプット、水平周波数、垂直周波数、アスペクト、言語、ランプ状態、パワーマネージメント、シャッターマネージメント、セキュリティ、リモートコントロール、SERIAL NO.

\* インプットがコンピュータのときのみ表示、選択可。  
\*\* インプットがビデオのときのみ表示、選択可。  
\*\*\* インプットがネットワークのときは選択不可。

基本の操作

# 入力の選択・設定・調整

## 入力を切り換える

プロジェクターに接続されたコンピュータ、ビデオなどの機器からの入力信号を切り換えます。

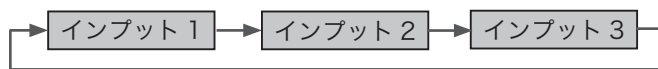
### [INPUT] ボタンでインプット (入力) を切り換える

#### ① 操作パネル、リモコンの [INPUT] ボタン

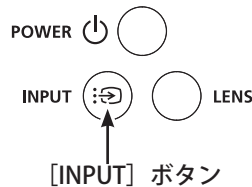
操作パネルまたはリモコンの [INPUT] ボタンを押すとインプットが表示され、押すごとにインプットが切り換わります。(P.33 ページ)

※ [INPUT] ボタンでは、入力信号の切り換えはできません。正しい入力信号でない場合は、リモコンの [INPUT1/2/3] ボタン、または「インプット」メニューで正しい入力信号を選択してください。(下記参照)

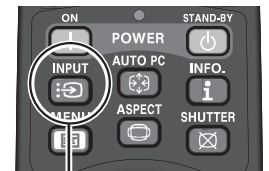
#### [INPUT] ボタン



#### 操作パネル



#### リモコン

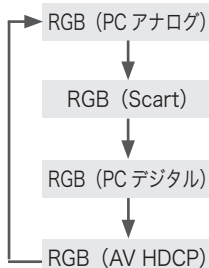


#### ② リモコンの [INPUT1/2/3] ボタン

リモコンの [INPUT 1/2/3] ボタンで、インプットを直接選択することができます。ボタンを押すと画面にインプットが表示され、最後に投写した入力信号が選択されます。さらに、インプットの表示中にボタンを押すと、それぞれのインプットで選択する入力信号が切り換わります。(P.33 ページ)

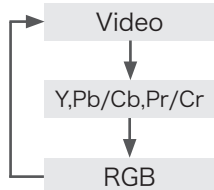
#### [INPUT 1] ボタン

インプット 1



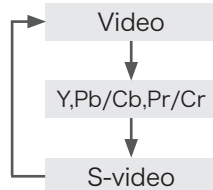
#### [INPUT 2] ボタン

インプット 2

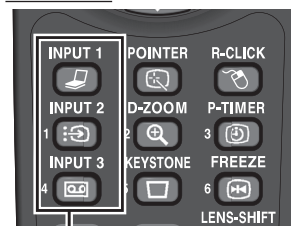


#### [INPUT 3] ボタン

インプット 3



#### リモコン



#### [INPUT1/2/3] ボタン

※ 下記の表示が出ている間にボタンを押すと、左記の順番で入力信号が切り換わります。

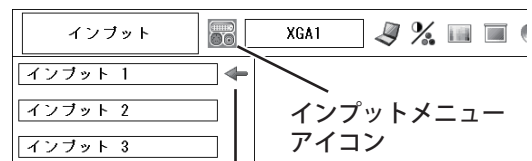
#### インプットの表示



### [INPUT] メニューでインプット (入力) を切り換える

- [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「インプット」メニューに合わせます。
- [ポイント] ボタン上下で、ポインタを写したいインプットに合わせて [OK] ボタンを押します。入力信号選択メニューが表示されます。
- [ポイント] ボタンの上下で、ポインタを写したい入力信号に合わせて [OK] ボタンを押します。

#### インプットメニュー



ポインタを合わせて [OK] ボタンで選択します。

#### インプット 1

##### RGB (PC アナログ)

INPUT 1 の [ANALOG] 端子に、コンピュータのアナログ信号が接続されているときに選択します。

##### RGB (Scart)

INPUT 1 の [ANALOG] 端子に、映像機器の SCART 映像出力\* が SCART-VGA ケーブルで接続されているときに選択します。

##### RGB (PC デジタル)

INPUT 1 の [DIGITAL(DVI-D)] 端子に、コンピュータのデジタル信号が接続されているときに選択します。

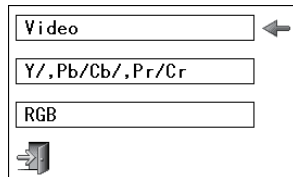
##### RGB (AV HDCP)

INPUT 1 の [DIGITAL(DVI-D)] 端子に、HDCP 対応のデジタル映像信号が接続されているときに選択します。



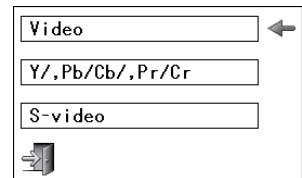
インプット 2

- Video** INPUT 2 の [VIDEO/Y] 端子に、ビデオ信号が接続されているときに選択します。
- Y,Pb/Cb,Pr/Cr** INPUT 2 の [Y,Pb/Cb,Pr/Cr] の BNC 端子に、コンポーネントビデオ信号が接続されているときに選択します。
- RGB** INPUT 2 の [R,G,B,H/V,V] の BNC 端子に、コンピュータのアナログ信号が接続されているときに選択します。



インプット 3

- Video** INPUT 3 の [VIDEO/Y] 端子に、ビデオ信号が接続されているときに選択します。
- Y,Pb/Cb,Pr/Cr** INPUT 3 の [Y,Pb/Cb,Pr/Cr] の BNC 端子に、コンポーネントビデオ信号が接続されているときに選択します。
- S-video** INPUT 3 の [S-VIDEO] 端子に、S 映像信号が接続されているときに選択します。




\* SCART 21 ピン端子は、主にヨーロッパ地域で販売されているビデオ機器に備えられているビデオ出力端子で、この端子の RGB 出力をプロジェクターで見るとは、ビデオ機器の SCART 21 ピン端子とプロジェクターの [INPUT 1 ANALOG IN] を専用のケーブルで接続します。[INPUT 1 ANALOG IN] で再生される RGB SCART 信号は、480i、575i の RGB 信号のみです。コンポジットビデオ信号は再生されません。

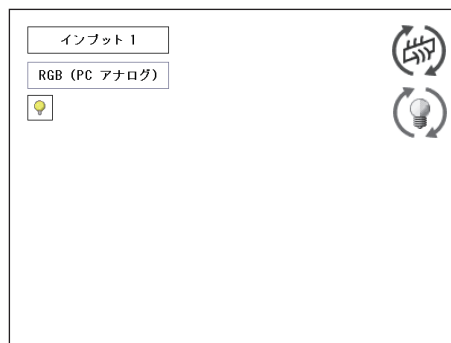
 エアフィルターおよびランプに関するお知らせ表示

インプットを切り換えた際、プロジェクターの状態によっては、「フィルター警告」および「ランプ交換」のお知らせが表示されることがあります。

フィルター警告とランプ交換の表示

 73、75 ページ

※ お知らせは約 4 秒間表示されます。



# コンピュータシステムの選択

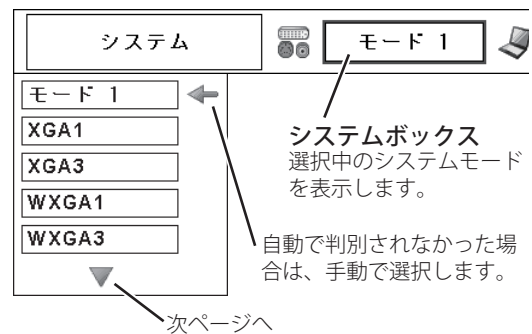
## システムモードが自動選択されます

### (マルチ スキャン システム)

本機は接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するシステムモード (VGA、SVGA、XGA、SXGA...) を自動で選択しますので、ほとんどの場合、特別な操作をせずにコンピュータ画面を投写できます。 (P. 84～85 ページ)

選択されたシステムモードは、メニューバーのシステムボックスに表示されます。システムボックスには、下記のメッセージが表示されることがあります。

### システムメニュー



### システムボックスに表示されるメッセージ

#### Auto

接続されたコンピュータの信号に合ったシステムモードがプロジェクターに用意されていない場合、自動 PC 調整機能が働き、システムボックスに「Auto」の表示が出ます。画像が正しく投写されないときは、お使いのコンピュータに合わせてマニュアルで調整し、「カスタムモード」に登録してください。

(P. 46～48 ページ)

#### ----

コンピュータの入力信号がありません。接続を確認してください。 (P. 16、26 ページ)

#### モード 1

マニュアルで登録された「カスタムモード」が選択されたときに表示されます。

## システムモードをマニュアルで選択するとき

「カスタムモード\*」を選択するときなどは、マニュアルでシステムモードを選択してください。

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタをシステムボックスに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタンの上下でポインタを、いずれかのモードに合わせて [OK] ボタンで選んでください。

\* カスタムモード：お使いのコンピュータに合わせて、お客さまがマニュアルで登録したシステムモードです。 (P. 46～48 ページ)

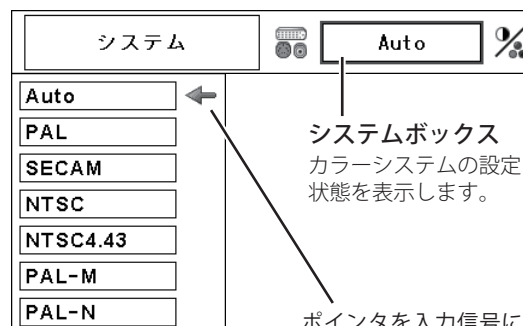
# ビデオシステムの選択

## ビデオシステムを選択します

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右で、ポインタを「システム」メニューに合わせます。
- 2 ポインタを入力信号に合ったカラーシステム、または走査方式に合わせて [OK] ボタンで選んでください。

### システムメニュー

(コンポジット映像またはS映像入力時)



システムボックス  
カラーシステムの設定  
状態を表示します。

ポインタを入力信号に  
合ったカラーシステム  
に合わせて [OK] ボタ  
ンを押します。

## VIDEO または S-VIDEO 入力選択時

### Auto (自動)

入力信号のカラーシステムにプロジェクターが自動で対応します。

※ 「PAL-M」「PAL-N」は自動選択されません。上記「1」「2」の手順で選択してください。

### PAL・SECAM・NTSC4.43・PAL-M・PAL-N

日本のカラーシステムはNTSCです。入力信号の状態が悪く、「Auto」に設定してもシステムが自動で選択されないとき（色ムラがある、色が出ないときなど）は、「NTSC」を選んでください。

## コンポーネント入力選択時

### Auto (自動)

入力信号の走査方式にプロジェクターが自動で対応します。

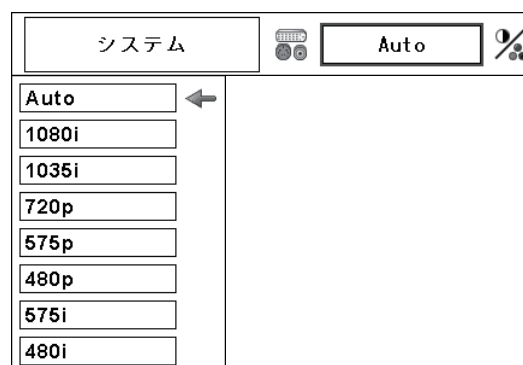
### コンポーネント映像の走査方式

正しい映像が再生されないときは、メニューの中から正しい走査方式を選んでください。

※ 「1080i」「1035i」は自動選択されません。上記「1」「2」の手順で選択してください。

### システムメニュー

(コンポーネント映像入力時)



# コンピュータシステムの調整

## 自動 PC 調整

調整頻度の高い「トラッキング」「総ドット数」「ポジション H」「ポジション V」の 4 項目を自動調整することができます。

### リモコンのダイレクトボタンで調整する

リモコンの [AUTO PC] ボタンを押します。画面に「しばらくお待ちください」のメッセージが表示され、自動調整が行なわれます。



[AUTO PC] ボタン

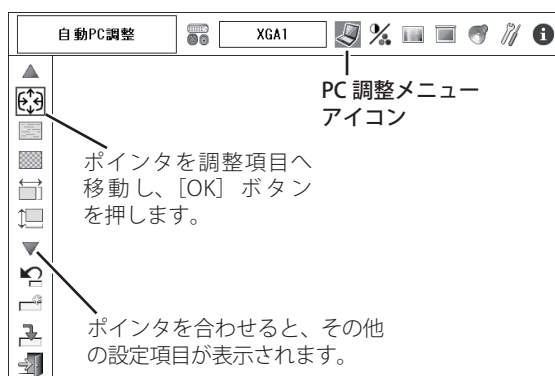
### メニューから調整する



#### 自動 PC 調整

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右で、ポインタを「PC 調整」メニューに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタンの上下でポインタを「自動 PC 調整」に合わせて [OK] ボタンを押すと、PC 調整画面が出ます。[OK] ボタンをもう一度押して、自動調整を実行します。

#### PC 調整メニュー



#### <ご注意>

- ※ 自動 PC 調整機能で「トラッキング」「総ドット数」「ポジション H」「ポジション V」のすべてを完全に調整できないコンピュータもあります。その場合はマニュアルで調整し、「カスタムモード」に登録してください。(P.46~48 ページ)
- ※ 自動調整した内容を一度登録しておく、前述のシステムメニューでそのモードを選択できます。登録のしかたについては、次ページの「メモリー」をご覧ください。
- ※ システムメニューで、480p、575p、720p、480i、575i、1035i、1080i が選択されているときは、「自動 PC 調整」は働きません。
- ※ 入力信号がデジタルの時は「PC 調整」メニューは選択できません。
- ※ ご使用のコンピュータや信号の種類によっては、正しく映らないときがあります。

## マニュアル PC 調整 (カスタムモードを登録する)

本機は、接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するモードを自動選択しますが、コンピュータによっては自動選択できないものもあります。メニューバーの「システムボックス」に「Auto」と表示され、画像が正しく投写されないときは、PC 調整メニューでマニュアル調整し、「カスタムモード」に登録してください。「カスタムモード」は 10 個まで登録することができます。登録した「カスタムモード」は、システムメニューで選択できます。

### 手順

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「PC 調整」メニューに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタンの上下でポインタを調整したい項目に合わせて [OK] ボタンで選択すると、その項目の調整画面が表示されます。調整は画面を見ながら [ポイント] ボタンの左右で行います。
- 3 調整内容を「メモリー」で登録して保存します。また、調整をキャンセルして元の値に戻す場合には「リセット」を行います。「リセット」「データ消去」「メモリー」の操作方法については 47 ページを、各調整項目の説明については 48 ページをご覧ください。

#### <ご注意>

- ※ 入力信号がデジタルのときは「PC 調整」メニューは選択できません。



## リセット

調整した内容をキャンセルして調整前の値に戻します。

- ① ポインタを「リセット」に合わせて [OK] ボタンを押すと、「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。
- ② 「はい」を選択して [OK] ボタンを押すと、調整した内容をキャンセル (リセット) し、調整前の値を表示します。「いいえ」を選択して [OK] ボタンを押すとリセットを中止することができます。



## データ消去

カスタムモードに登録した調整内容を消去します。

- ① ポインタを「データ消去」に合わせて [OK] ボタンを押すと、「PC 調整データ消去」メニューが現れます。
- ② 消去したいモード (「モード1」から「モード10」のいずれか) にポインタを合わせて [OK] ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。
- ③ 「はい」を選択して [OK] ボタンを押すと、「カスタムモード」の登録が解除され、「PC 調整データ消去」メニューへ戻ります。(ポインタは を指しています。) さらに、[OK] ボタンを押すと「データ消去」アイコンに戻ります。

- ※ 「データあり」には、既にカスタムモードが登録されています。
- ※ 次ページに移動するには、一番上の行にポインタがあるときは [ポイント] ボタン上を、一番下の行にポインタがあるときは [ポイント] ボタン下を押します。
- ※ 消去するモードを選び直すときは、「いいえ」を選択して [OK] ボタンを押し、「PC 調整データ消去」メニューに戻ります。



## メモリー

調整した内容を登録します。調整内容を保存する場合は、必ず「メモリー」で登録してください。

- ① ポインタを「メモリー」に合わせて [OK] ボタンを押すと、「PC 調整データ登録」メニューが現れます。
- ② 登録したいモード (「モード1 から 10」のいずれか) にポインタを合わせて [OK] ボタンを押します。「はい、いいえ」の確認メニューが表示されます。
- ③ 「はい」を選択して [OK] ボタンを押すと、「カスタムモード」に登録され、「PC 調整データ登録」メニューに戻ります。(ポインタは を指しています。) さらに、[OK] ボタンを押すと「メモリー」アイコンに戻ります。

- ※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択して [OK] ボタンを押すと「PC 調整データ登録」メニューに戻ります。

### PC 調整データ消去メニュー

どのモードを消去しますか ① ② ③ ④ ⑤

モード 1	データあり	1290	270	40	1024	768	← ⑥
モード 2	データなし	1344	289	35	1024	768	
モード 3	データなし	1344	289	35	1024	768	⑦
モード 4	データなし	1344	289	35	1024	768	
モード 5	データなし	1344	289	35	1024	768	

OK ?

はい ←

いいえ

①	総ドット数
②	ポジションH
③	ポジションV
④	画面領域H
⑤	画面領域V
⑥	ポインタ
⑦	このメニューを閉じます。 [ポイント] ボタン右で選択し、[OK] ボタンを押します。

### PC 調整データ登録メニュー

どこに記憶させますか ?

モード 1	データなし	1344	289	35	1024	768	←
モード 2	データなし	1344	289	35	1024	768	
モード 3	データなし	1344	289	35	1024	768	
モード 4	データなし	1344	289	35	1024	768	
モード 5	データなし	1344	289	35	1024	768	

OK ?

はい ←

いいえ



## 戻る

メニューを終了します。

## 項目

項目の値は、[ポイント] ボタンの左右 (◀▶) で調整します。



## トラッキング

トラッキング (同期) がずれて画面のちらつきがあるときに調整します。(0 から 31 まで)

※ コンピュータによっては、画面のちらつきが完全に消えない場合があります。



## 総ドット数

1 水平期間の総ドット数を調整します。



## ポジション H

画面の水平方向の位置を調整します。



## ポジション V

画面の垂直方向の位置を調整します。



## コンピュータ情報

現在接続しているコンピュータの水平周波数と垂直周波数の値を表示します。



## クランプ

クランプ位置を調整します。  
投写している映像に暗い線が出ているときに調整します。



## 画面領域 H

水平解像度を調整します。  
[ポイント] ボタンの左右でコンピュータの水平解像度に合わせて調整してください。



## 画面領域 V

垂直解像度を調整します。  
[ポイント] ボタンの左右でコンピュータの垂直解像度に合わせて調整してください。

### <ご注意>

システムメニューで 480p、575p、720p、480i、575i、1035i、1080i のシステムモードが選択されているときは、「トラッキング」、「総ドット数」、「クランプ」、「画面領域 H/V」の調整はできません。

## 「PC 調整」メニュー

トラッキング XGA1 - - - -

16 ▶◀

1344 ▶◀

289 ▶◀

35 ▶◀

[ポイント] ボタンの左右で値を調整します。

ポインタを合わせて [OK] ボタンを押すと、前の表示画面に戻ります。

## コンピュータ情報

水平周波数 48.2

垂直周波数 59.8

1 ▶◀

1024 ▶◀

768 ▶◀



# イメージの選択

投写画面の色合いや明るさを、投写する用途に合わせて調整されたイメージを選択することで調整します。

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右で、ポインタを「イメージ選択」メニューに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタンの上下で、ポインタをお好みの「イメージモード」に合わせて [OK] ボタンで決定します。

## 項目



### スタンダード

「コントラスト、明るさ、色温度、ホワイトバランス（赤/緑/青）、画質、ガンマ補正」が、工場出荷時設定の標準値になります。



### ハイコントラスト

中間調が明るめに補正され、明るい場所での見栄えが改善されます。  
※ コンピュータ入力時のみ選択できます。



### シネマ

映画を見るのに適した、階調表現を重視した画質です。  
※ ビデオ入力またはコンポーネント入力時のみ選択できます。

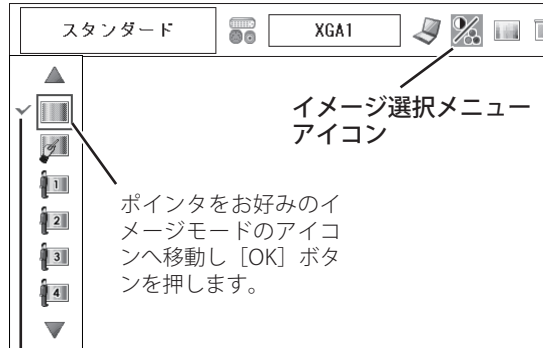


### カスタム1～10

イメージ調整メニューで手動調整した画質を呼び出します。  
※ カスタムイメージは、コンピュータ、ビデオ、コンポーネントの各入力  
で別々に登録されます。

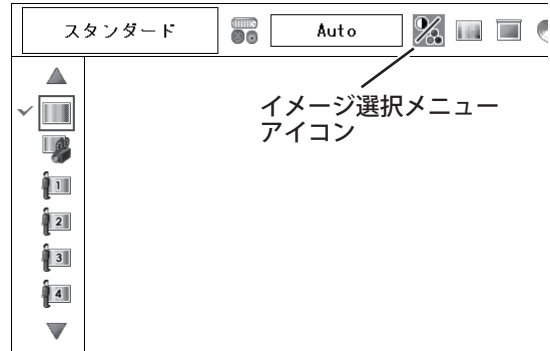
## イメージ選択メニュー

(コンピュータ入力時)



選択中のイメージモード

(ビデオ入力時)



入力の  
設定・  
調整

# イメージの調整

投写画面の色合いや明るさを手動で調整できます。また、調整したイメージを保存して選択することができます。

## 手順

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「イメージ調整」に合わせます。
- 2 [ポイント] ボタンの上下でポインタを調整したい項目に合わせ、[OK] ボタンで選択します。  
選んだ項目の調整画面が表示されます。調整は画面を見ながら [ポイント] ボタンの左右で行います。
- 3 調整内容を、「メモリー」で登録して保存します。また、調整をキャンセルして元の値に戻す場合には「リセット」を行います。

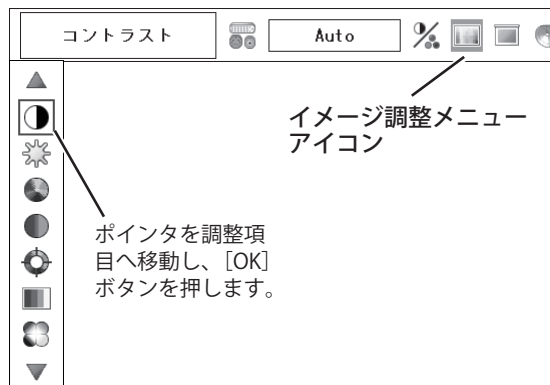


### リセット

調整した内容をキャンセルして調整前の値に戻します。

- ① ポインタを「リセット」に合わせて [OK] ボタンを押すと、「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。
- ② 「はい」を選択して [OK] ボタンを押すと、調整した内容をキャンセルし、調整前の値を表示します。「いいえ」を選択して [OK] ボタンを押すと、リセットを中止します。
- ③ ポインタが「イメージ調整」メニューの [リセット] に移動します。

## イメージ調整メニュー





## メモリー

調整した内容を登録します。調整内容を保存する場合は、必ず「メモリー」で登録してください。

- ① ポインタを「メモリー」に合わせて [OK] ボタンを押すと、「イメージ調整登録」メニューが表示されます。
- ② 登録したいカスタム 1～10 にポインタを合わせ、[OK] ボタンを押します。「OK?」の登録確認メニューが表示されます。
- ③ 「はい」を選択し、[OK] ボタンを押すと登録され、「イメージ調整登録」メニューへ戻ります（ポインタは を指します）。さらに、[OK] ボタンを押すと「メモリー」アイコンに戻ります。

※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択して [OK] ボタンを押すと「イメージ調整登録メニュー」に戻ります。

※ 「メモリー」で登録を行なうと、イメージモード (Cア 49 ページ) は「カスタム」に変更されます。



## 戻る

メニューを終了します。

## 項目

項目の値は、[ポイント] ボタンの左右 (◀▶) で調整します。



## コントラスト

◀ 薄くなる ▶ 濃くなる (0～63)



## 明るさ

◀ 暗くなる ▶ 明るくなる (0～63)



## 色の濃さ

◀ 薄くなる ▶ 濃くなる (0～63)

< ご注意 >

※ ビデオ入力またはコンポーネント入力時のみ調整できます。コンピュータ入力時には選択できません。



## 色合い

◀ 紫がかかる ▶ 緑がかかる (0～63)

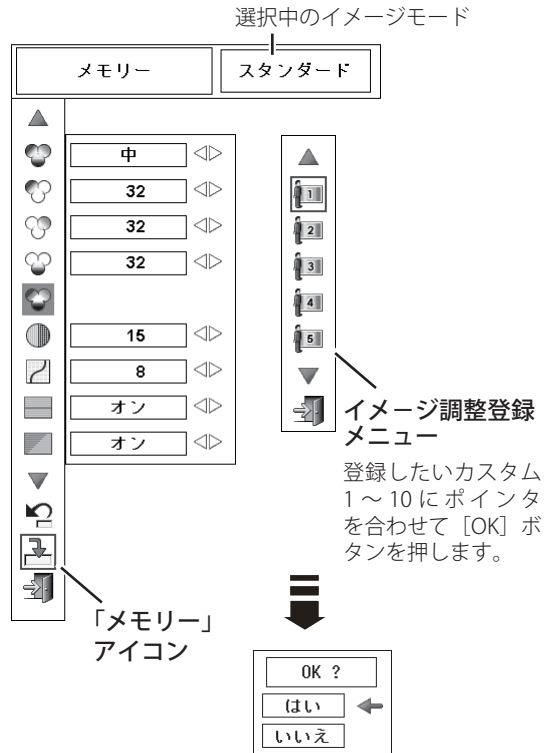
肌色が自然に見えるように調整します。

< ご注意 >

※ ビデオ入力またはコンポーネント入力時のみ調整できます。コンピュータ入力時には選択できません。

※ カラーシステムが PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N のときは、「色合い」は選択できません。

## イメージの登録 (メモリー) 方法



「はい」を選択して [OK] ボタンを押すと登録が完了します。



### カラーマネージメント

投写している画像の色を、お好みの色に調整します。なお、入力信号が無い場合は選択できません。

- ① [OK] ボタンを押すと画像が静止して、無色のカーソルが画面中央に表示されます。
- ② [ポイント] ボタン上下左右でカーソルを調整したい色の上に移動させて [OK] ボタンを押すと、カーソルに色が付き、「COLOR SELECTION」メニューが表示されます。
- ③ [ポイント] ボタンの上下左右でカーソルを「COLOR」の中を移動させ、調整後に表示させたい色を選択して [OK] ボタンを押します。自動的に「GAMMA」調整に移動します。
- ④ [ポイント] ボタンの上下で、調整後に表示させたい色を選択して [OK] ボタンを押します。自動的に「LIST」ボタンに移動します。

**LIST** . . . . . 「COLOR MANAGEMENT LIST」が表示されます。

**COLOR M.** . . . . . 調整を中止し、無色のカーソルの表示まで戻ります。

**MENU** . . . . . カラーマネージメントモードから抜けます。

- ⑤ 「LIST」 ボタンを押すと「COLOR MANAGEMENT LIST」が表示され、調整した色を保存することができます。

**ALL DEL** . . . . . 保存されているすべてのリストが削除されます。

**MENU** . . . . . 「COLOR MANAGEMENT」から抜け、「イメージ調整」メニューまで戻ります。

**COLOR M.** . . . . . 調整を保存し、新たに無色のカーソルが表示され、調整を続けることができます。

※ 調整後は、「メモリー」で「カスタム 1～10」に登録してください。登録しないと、イメージモード (C 49 ページ) を変えた時に調整値が反映されません。



### 自動画質補正

映像の暗い部分のコントラストが強くなるように補正します。

[ポイント] ボタン右で、**オフ** → **L1** → **L2** と切り換わります。また、この順で効果が大きくなります。

※ 工場出荷時は **L1** に設定されています。



### アドバンストカラー

黄色の光量を独立制御するカラーコントロールデバイスの動作を設定します。

- 自動** . . . . . カラーコントロールデバイスで黄色の光量を独立して制御・調整し、輝度と色再現性を両立させた画質にします。通常は「自動」に設定します。  
※ ホワイトバランスが映像によって変化することがあります。

**オフ** . . . . . この機能を使用しないときに選択します。

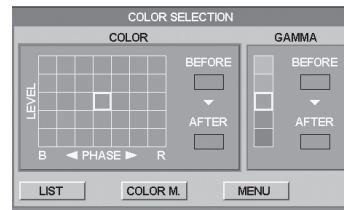
### カーソル

調整したい色を選択します。



### COLOR SELECTION

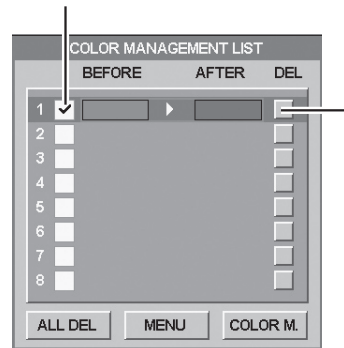
調整後に表示させたい色を選択します。



### COLOR MANAGEMENT LIST

色の調整を PC とビデオで合計 8 件保存できます。

チェックの入っている色調整が、投写画像に反映されます。[ポイント] ボタン左で選択し、[OK] ボタンを押すとチェックが外れます。



[ポイント] ボタン右で選択し、[OK] ボタンを押すと削除できます。



### 色温度

◀ 超低（赤みがかかる） ▶ 高（青みがかかる）（超低 - 低 - 中 - 高）

※ この項目を調整すると「ホワイトバランス」の調整値も変化します。  
※ 「ホワイトバランス」（赤 / 緑 / 青のどれか一つでも）を調整すると、「調整中」と表示されます。



### ホワイトバランス（赤 / 緑 / 青）

◀ 薄くなる ▶ 濃くなる（各色 0 ~ 63）



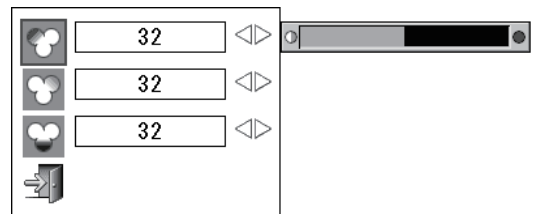
### オフセット（赤 / 緑 / 青）



映像の中の暗い部分の「赤 / 緑 / 青」を調整することができます。  
（各色 0 ~ 63）

[OK] ボタンを押すと、調整バーが表示されます。[ポイント] ボタン上下で「赤 / 緑 / 青」を選択し、[ポイント] ボタン左右で調整します。

### オフセット



### 画質

◀ やわらかい ▶ くっきり（0 ~ 31）



### ガンマ補正

白レベルから黒レベルまでのコントラストバランスを調整します。  
（0 ~ 15）



### ノイズリダクション

古いビデオやノイズが多い映像を見るとき、ザラつき（ノイズ）が軽減されます。

**オフ**・・・ノイズが無い映像を見るときには「オフ」に設定します。

**オン**・・・古いビデオやノイズが多い映像を見るときに「オン」に設定すると、ザラつき（ノイズ）が軽減されます。

< ご注意 >

※ コンピュータ入力では選択できません。



### プログレッシブ

**オフ**・・・動きの多い映像でちらつきや横線が目立つときは、「オフ」に設定します。

**オン**・・・プログレッシブスキャンを「ON」にします。

**フィルム**・・・「2 - 3 プルダウン / 2 - 2 プルダウン」された映画を投写するときに、映画の質感を損なわずに再生できます。

< ご注意 >

※ ビデオ入力と以下のコンポーネント入力のときに設定できます。  
・コンポーネント入力：480i、575i、1035i、1080i 入力時

# 画面サイズを調整する

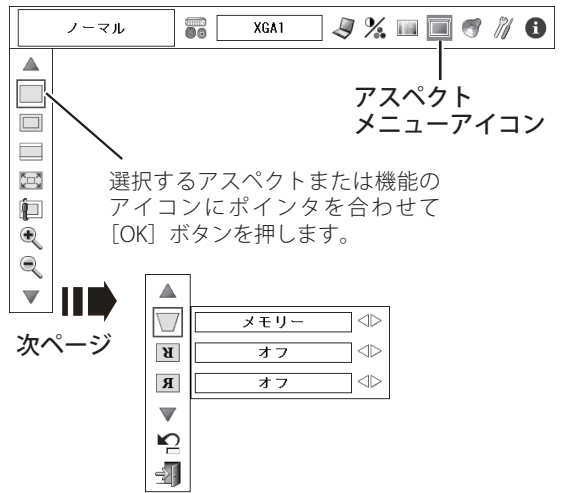
お好みにより画像サイズを変えることができます。

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを出し、[ポイント] ボタンの左右でポインタを「アスペクト」メニューに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタンの上下でポインタを選択したい項目に合わせて [OK] ボタンを押します。

<ご注意>

- ※ 信号の種類によっては選択できないモード（項目）があります。詳しくは各項目の説明を参照してください。
- ※ 本機は WUXGA（1920 × 1200 ドット）を超える解像度には対応していません。プロジェクターに接続する前に低い解像度に設定しておいてください。

## アスペクトメニュー（コンピュータ入力時）



## 画面サイズの選択（コンピュータ入力時）



ノーマル

画像を有効投写画面（注）の高さに合わせて、通常の映像のアスペクト比 4：3 で投写します。



リアル

画像をオリジナルサイズで投写します。

- ① 画像が有効投写画面（注）よりも小さいときは、画面の中央に投写し、画面左上に「リアル」と表示されます。
- ② 画像サイズが有効投写画面（注）と同じときは、画面の左上に「リアル」と表示されますが、その後、「ノーマル」と同じ画面サイズで投写されます。
- ③ 画像が有効投写画面（注）よりも大きいときは、画面の左上に「リアル」と表示され、画面の上下左右に△が表示されます。[ポイント] ボタンの上下左右で画像を移動させます。

<ご注意>

- ※ 「リアル」 選択時には、「デジタルズーム + / -」は選択できません。



ワイド

画像を有効投写画面（注）の幅に合わせて、アスペクト比 16：9 のワイド画面で投写します。

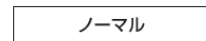


フルスクリーン

アスペクト比 4：3 のフルスクリーンサイズで投写します。

<ご注意>

- ※ 「フルスクリーン」 選択時には、「デジタルズーム + / -」は選択できません。



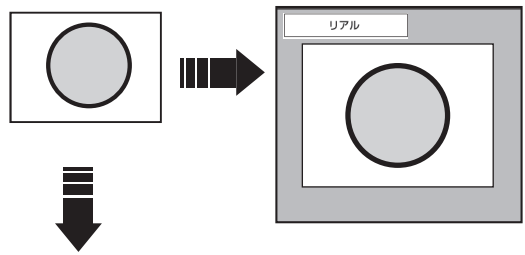
ノーマル

- ※ 約 4 秒間表示されます。

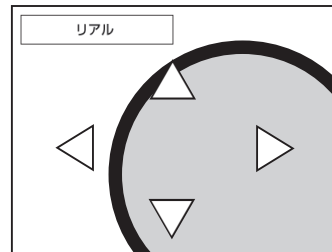
（注）本機の有効投写画面は 1024 × 768 ドットです。

### 「リアル」の投写パターン

#### ① 有効投写画面よりも小さいとき



#### ③ 有効投写画面よりも大きいとき



- ※ 移動した方向の矢印は、赤色で表示されます。

- ※ 最大の移動位置で矢印の表示が消えます。



### デジタルズーム +

「デジタルズーム+」を選択すると、メニューバーが画面から消え、「D.Zoom +」が表示されます。[OK] ボタンを押すごとに画像が拡大します。[ポイント] ボタンの上下左右で画像を移動させます。また、リモコンの [D.ZOOM] ボタンを押しても、「デジタルズーム+」を操作できます。☞ 38 ページ



### デジタルズーム -

「デジタルズーム-」を選択すると、メニューバーが画面から消えて「D.Zoom -」が表示されます。[OK] ボタンを押すごとに画像が縮小します。また、リモコンの [D.ZOOM] ボタンを2回押しても、「デジタルズーム-」を操作できます。☞ 38 ページ

#### < 「デジタルズーム + / -」に関するご注意 >

- ※ 「デジタルズーム」モードから抜けるときは、[D-ZOOM、OK、ポイント] 以外のボタンを押します。
- ※ 「ノーマル」モードへ戻るときは、ポインタを「ノーマル」アイコンに合わせて [OK] ボタンを押します。
- ※ 「カスタム」モードに設定しているときには、「デジタルズーム-」による「ノーマル」サイズ以下への画像の縮小は機能しません。
- ※ PC 調整メニューでマニュアル調整した「カスタムモード」をコンピュータのシステムモードに使用している場合には、「デジタルズーム+」モードでの画像移動機能が正しく働かないことがあります。
- ※ システムモード (☞ 44 ページ) で、「VGA、SVGA、SXGA、WXGA、UXGA」が選択されていて、上部への「キーストーン調整」が最大値の場合、「デジタルズーム-」が正しく働かないことがあります。
- ※ 「デジタルズーム+ / -」は、入力信号によっては補正量が異なることがあります。

## 画面サイズの選択 (ビデオ入力時)



### ノーマル

通常の映像のアスペクト比 4 : 3 で投写します。



### ワイド

DVD プレーヤなどのワイドモードで出力された映像信号を、アスペクト比 16 : 9 のワイド画面で投写します。

#### < ご注意 >

- ※ 「インプット」メニューで「コンポーネント」を選択し、「システム」メニューで 1080i、1035i、720p の信号 (アスペクト比 16 : 9) を選択している場合には、「ワイド」は選択できません。

#### アスペクトメニュー (ビデオ入力時)



アスペクトメニュー  
アイコン

選択したいアスペクトのアイコンに  
ポインタを合わせて [OK] ボタンを  
押します。



#### 信号の種類別の選択できるモードの一覧

	480i/575i/480p/575p	1035i/1080i/720p	左記以外	無信号
ノーマル	○	○	○	○
ワイド	○	×	○	○
カスタム	○	○	○	○

- ※ 無信号時でも「システム」メニューで「1035i/1080i」を選択しているときは「ワイド」は選択できません。

## 画面サイズの選択（コンピュータ・ビデオ共通）



### カスタム

水平と垂直のスケールおよび位置を調整します。「カスタム」を選択し、[OK] ボタンを押すと、「カスタム」の表示が現れてメニューバーが消えますので、もう一度 [MENU] ボタンを押してメニューバーを表示させ、「アスペクト」メニューから「カスタム」を選択して [OK] ボタンを押すと、「アスペクト調整」画面が表示されます。

※「オンスクリーン表示」(P.58 ページ)を「オフ」に設定しているときは、「カスタム」を選択して [OK] ボタンを押すとすぐに「アスペクト調整」画面が表示されます。

### アスペクト調整画面の項目

- スケール H/V**  
 垂直および水平のスケールを調整します。[ポイント] ボタンの左右で調整します。
- H&V**  
 垂直および水平のスケールを調整するときに、垂直と水平のスケールを連動させ、映像のアスペクトを保持したままスケールを調整するときに「オン」を選択します。  
 ※「スケール H」を調整すると、「スケール H」の数値の変化に合わせて「スケール V」の数値も変化します。
- ポジション H/V**  
 垂直および水平の位置を調整します。[ポイント] ボタンの左右で調整します。
- 共通**  
 調整した内容を、全ての入力（インプット 1～3）に反映\*、メモリーします。[OK] ボタンを押すと「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。「はい」を選択して [OK] ボタンを押すと登録されます。  
 \*例えば、コンピュータ入力で「スケール H」を「0」から「2」に変えて登録すると、ビデオ入力で「カスタム」を表示させたときに「スケール H」に「2」が登録されています。
- リセット**  
 調整した内容全てをリセットします。  
 [OK] ボタンを押すと「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。「はい」を選択して [OK] ボタンを押すとリセットされます。

### < ご注意 >

- ※「スケール H/V」と「ポジション H/V」は、入力信号によっては補正量が変化することがあります。
- ※ 無信号時は調整できません。無信号時は「アスペクト調整」の調整値は反映されません。
- ※ 無信号時は、「カスタム」の選択はできますが、「アスペクト調整」の画面は表示されず、調整することはできません。
- ※ 調整中に無信号になると、調整値は保持されますが、「アスペクト調整」画面は消えます。

### カスタムのアスペクト調整画面

		アスペクト	
スケール	H	<input type="text" value="0"/>	◀▶ ←
	V	<input type="text" value="0"/>	◀▶
H&V		<input type="text" value="オフ"/>	◀▶
ポジション	H	<input type="text" value="0"/>	◀▶
	V	<input type="text" value="0"/>	◀▶
		<input type="text" value="共通"/>	
		<input type="text" value="リセット"/>	

[ポイント] ボタンの上下で項目を選択し、  
[ポイント] ボタンの左右で値を調整します。



## キーストーン

画面の台形ひずみを補正する機能です。(P.35 ページ)  
53 ページの手順「1」「2」に続いて、

- 3 [ポイント] ボタンの左右で、「リセット」または「メモリー」を選択して [OK] ボタンを押します。画面からメニューバーが消えて「キーストーン」表示が現れ、キーストーン調整モードに入ります。

**メモリー**・・・電源コードを抜いても調整した状態を記憶します。

**リセット**・・・電源コードを抜くと調整した状態がリセットされます。

- 4 表示が出ている間に [ポイント] ボタンの上下で画面の台形ひずみを補正します。

[ポイント] ボタン上・・・画面上部の幅が縮みます。

[ポイント] ボタン下・・・画面下部の幅が縮みます。

[ポイント] ボタン左・・・画面左部の高さが縮みます。

[ポイント] ボタン右・・・画面右部の高さが縮みます。

### <ご注意>

- ※「キーストーン」表示が現れているあいだにリモコンの [KEYSTONE] ボタンを押すと、補正前の状態に戻ります。
- ※キーストーン調整後、「天吊り」を「オン」にすると、補正前の状態に戻ります。
- ※キーストーン調整で補正した画面は、信号をデジタル圧縮して写しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。
- ※キーストーンの補正量および補正範囲は入力信号によって異なります。



## 天吊り

この機能を「オン」にすると、画像の上下左右を反転して写します。天井から逆さに吊り下げて設置するときを設定します。

- ※吊り下げ型の設置には、専用の天吊り金具を使います。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



## リア投映

この機能を「オン」にすると、画像の左右を反転して写します。透過型スクリーンの後ろから投写するときを設定します。



## リセット

「アスペクト」メニュー内で設定したすべての内容が工場出荷時に戻ります。

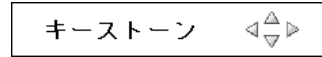
53 ページの手順「1」に続いて、

- 2 ポインタを「リセット」に合わせて [OK] ボタンを押すと、「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

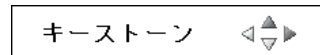
- 3 「はい」を選択して [OK] ボタンを押すと、調整した内容を破棄して調整前の値を表示します。「いいえ」を選択して [OK] ボタンを押すと、リセットを中止することができます。(ポインタは [移動] に移動します。)

- ※リモコンの [ASPECT] ボタンを約 5 秒以上押しても、リセットされません。(P.35 ページ)

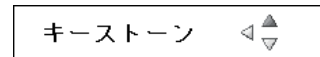
### 「キーストーン」表示



- ※約 10 秒間表示されます。
- ※「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは、画面に表示されません。
- ※補正された方向の矢印は赤色で表示されます。以下の例では、右と上方向が補正されています。(無補正の方向は白色で表示)

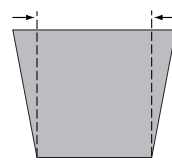


- ※最大の補正位置で矢印の表示が消えます。以下の例では、右方向の補正が最大になっています。

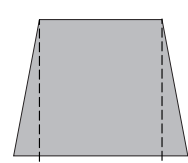


### ポイントボタンで縮む方向

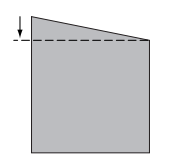
[ポイント] ボタン上



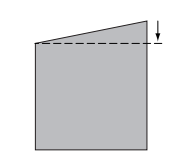
[ポイント] ボタン下



[ポイント] ボタン左

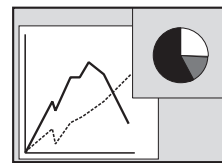


[ポイント] ボタン右

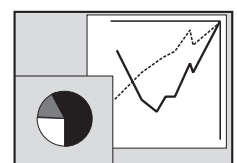


### 天吊り

オフ (通常の画像)

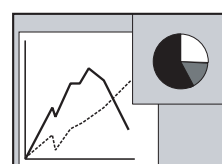


オン (天吊り設定時)

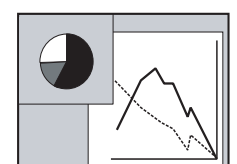


### リア投映

オフ (通常の画像)



オン (リア投映設定時)
























# 各種機能の設定

## 「セッティング」メニューで各種機能を設定する

プロジェクターの各種機能を設定します。

-  言語.....メニューの言語を選択します。
-  メニュー.....オンスクリーンメニューの表示設定を変更します。
-  オンスクリーン表示.....画面表示を出す、出さないを選択します。
-  バックグラウンド.....無信号時の背景を選択します。
-  ロゴ.....ロゴの選択や画面キャプチャー、ロゴの暗証番号を設定します。
-  ランプモード.....ランプの明るさを設定します。
-  フィルター制御.....エアフィルターを巻き取ります。
-  ファン制御.....ファンの回転速度を設定します。
-  リモートコントロール.....シンプルモードおよびリモコンコードを設定します。
-  リモコン受光部.....リモコン受光部を設定します。
-  パワーマネージメント.....省エネの設定を行います。
-  オンスタート.....電源コードを接続するだけで電源が入るように設定します。
-  ポインタ.....ポインタ機能を使うときに表示されるポインタの種類を設定します。
-  セキュリティ.....操作ボタンのロックと暗証番号を設定します。
-  シャッター.....シャッターに関する設定を行います。
-  ランプカウンター.....ランプの使用時間の確認およびリセットを行います。
-  フィルターカウンター.....フィルターの使用時間や残り回数の確認、リセットを行います。
-  テストパターン.....プロジェクター本体に内蔵されたテストパターンを投写します。
-  初期設定.....設定を工場出荷状態に戻します。

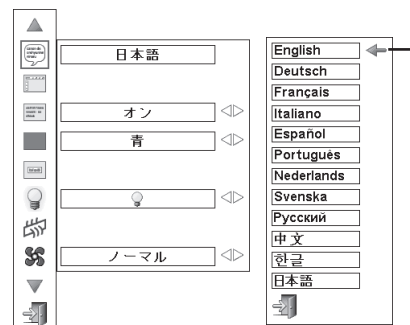
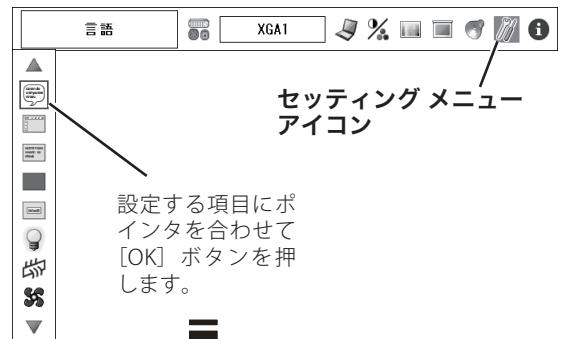
### 手順

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューバーを表示し、[ポイント] ボタン左右で、ポインタを「セッティング」メニューに合わせます。
- 2 [ポイント] ボタン上下で、ポインタを設定する項目に合わせて [OK] ボタンで決定します。選択した項目の設定画面が表示されます。

### 言語

画面表示の言語を切り換える機能です。英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、オランダ語、スウェーデン語、ロシア語、中国語、韓国語、日本語の12か国語の中から選べます。

### セッティングメニュー



[ポイント] ボタンの上下で選択し、[OK] ボタンを押します。



## メニュー

オンスクリーンメニューの表示についての設定を変えることができます。[OK] ボタンを押すと、選択画面が表示されます。[ポイント] ボタンの上下で選択します。



## ポジション

メニューが表示される位置を調整する機能です。[ポイント] ボタン右・下でお好みの位置に表示させることができます。



## シンプルメニュー

この機能を「オン」にすると、「イメージ調整」メニュー内の下記項目の調整メニューで、調整値を示す表示だけが表示されるようになります。

また、調整値が即座に反映されるようになります。投写中の画面を見ながら調整したいときに、メニュー表示で隠れる部分が少なくなるため調整しやすくなります。

- ・コントラスト
- ・明るさ
- ・色の濃さ
- ・色合い
- ・ホワイトバランス（赤 / 緑 / 青）
- ・オフセット（赤 / 緑 / 青）
- ・画質
- ・ガンマ補正



## オンスクリーン表示

画面表示を出す、出さないの設定を行います。

- オン**・・・すべての画面表示が表示されます。  
ある程度画面が明るくなってから、画像を写したいときに選択します。

### カウントダウンオフ

- ・・・電源オン後 30 秒のカウントダウン表示を行わず、ランプが暗いままで、入力された画面を投写します。  
少しでも早く画像を投写したいときに選択します。

- オフ**・・・以下の表示以外は画面表示を行いません。
- ・メニューバー 41 ページ
  - ・電源を切る際の「もう一度押すと電源が切れます」  
 32 ページ
  - ・自動 PC 調整時の「しばらくお待ちください」
  - ・P-TIMER 36 ページ
  - ・パワーマネージメントのカウントダウンタイマー  
 64 ページ
  - ・「リアル」で画面サイズが大きいときに表示される「△」  
 53 ページ
  - ・「インフォメーション」の表示 37 ページ
  - ・「ポインタ」 36 ページ
  - ・「D-Zoom +」の矢印表示 54 ページ
  - ・「カスタム」のアスペクト調整画面 55 ページ
  - ・シンプルモードに設定したリモコンで、非対応のボタンを押した際に表示される 。 63 ページ

## メニュー



### <「ポジション」のご注意>

- ※ 約 10 秒間表示されます。
- ※ 最大まで移動すると矢印の色が赤に変わります。
- ※ 「P-TIMER」「パワーマネージメント」のカウントダウン表示の位置を変えることはできません。



### バックグラウンド

映像の再生前や中断時といった、信号が無いときの背景画面を選択します。

- 青** …… 背景が青色になります。
- ユーザー** …… キャプチャー機能で取り込んだ画像が表示されます。
- 黒** …… 背景が黒色になります。

#### <「バックグラウンド」のご注意>

※ キャプチャー機能で取り込んだ画像が無いときは、「ユーザー」は選択できません。



### ロゴ

ロゴ選択、画面のキャプチャー、ロゴの暗証番号をそれぞれ設定します。

#### <「ロゴ」のご注意>

※ 「ロゴ暗証番号ロック」(P.60 ページ) が「オン」のときは、「ロゴ選択」と「キャプチャー」は設定できません。

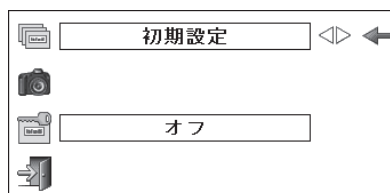


### ロゴ選択

電源を入れたときのロゴ表示を選択することができます。

- ユーザー** …… キャプチャー機能で取り込んだ画像を表示します。
- 初期設定** …… 工場出荷時の設定を表示します。
- オフ** …… ロゴを画面に表示しません。

### ロゴ選択



#### <「ロゴ選択」のご注意>

※ キャプチャー機能で取り込んだ画像が無いときは、「ユーザー」は選択できません。



### キャプチャー

投写している画面を静止画像として取り込むことができます。取り込んだ画像は、「ロゴ選択」でスタートアップロゴに、あるいは、「バックグラウンド」で背景画面に設定できます。

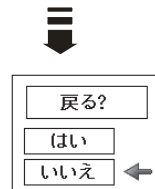
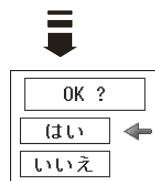
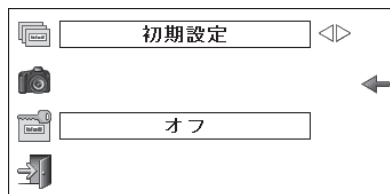
**1** [ポイント] ボタンの上下でポインタを「キャプチャー」に合わせて [OK] ボタンを押すと、「はい」、「いいえ」の表示が現れます。

- はい** …… 画面の取り込みを行います。
- いいえ** …… キャプチャー機能を取り消します。

**2** 「はい」を選択すると取り込みが始まり、取り込みの進行を示すバーが表示されます。取り込みが完了するとメニュー表示が消えます。

取り込みを中止したいときは、バーの上にある「戻る？」で「はい」を選択し、[OK] ボタンを押します。

### キャプチャー



#### <ご注意>

- ※ 「ユーザー」に保存できるのは1画面だけです。
- ※ 適切な画面を取り込むために、イメージモードは「標準」を選択しておいてください。
- ※ 画像を取り込むときには「キーストーン」調整および「カスタム」の設定が一時的に解除されます。
- ※ この機能が使えるのは以下の信号のときだけです。
  - ◎ コンピュータ …… XGA 以下 (ただし、「画面領域 H」を 1025 以上、「画面領域 V」を 769 以上に設定すると不可)
  - ◎ ビデオ …… コンポジット、Sビデオ、480p、575p、480i、575i、720p、1080i



**取り込みを開始すると、保存していた画像は削除されます。**

「1」で「はい」を選択して取り込みを開始すると、「2」の「戻る？」で「はい」を選択して取り込みを中止しても、「ユーザー」に保存していた画像は削除されます。




## ロゴ暗証番号ロック

「ロゴ」の設定・変更を、暗証番号を入力しないと行えないようにします。設定により以下のモードが選択できます。

**オン**・・・暗証番号を入れないと「ロゴ選択」と「キャプチャー」の設定・変更はできません。


**オフ**・・・暗証番号なしで「ロゴ選択」と「キャプチャー」の設定・変更ができます。

### 手順


- 1 [ポイント] ボタンの上下でポインタを [ロゴ暗証番号ロック] のアイコンに合わせて [OK] ボタンを押します。暗証番号を入力する画面が表示されます。  
※「オン」「オフ」どちらを選択していても、暗証番号の入力画面が表示されます。
- 2 暗証番号を入力します。入力が完了したらポインタを [セット] に合わせて [OK] ボタンを押し、暗証番号を承認します。  
※ 暗証番号の入力方法については、下記の「暗証番号の入力方法」をご参照ください。
- 3 暗証番号が承認されると、「ロゴ暗証番号」の「オン・オフ」の設定と、暗証番号を変更する画面が表示されます。「オン・オフ」は、[ポイント] ボタンの左右で切り換えて選択します。
- 4 終了するときには、[ポイント] ボタン下でポインタを  に移動し、[OK] ボタンを押します。

### 暗証番号の入力方法

#### リモコンで入力する

- 1 リモコンの数字ボタンで 0～9 の数字を選択し、4けた全ての数字を入力します。(入力した数字は「\*」で表示されます) 4けた全てが決定すると、ポインタが自動的に「セット」に移動します。  
 下記「手順3」へ

#### 本体で入力する

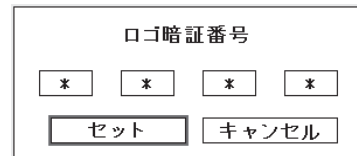
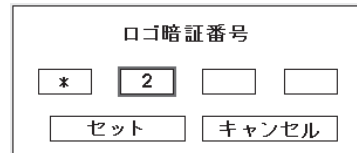
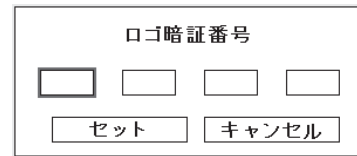
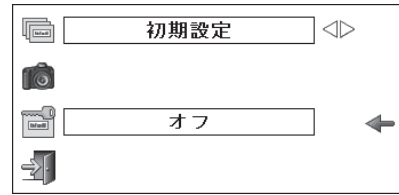
- 1 [ポイント] ボタンの上下で 0～9 の数字を選択し、[ポイント] ボタン右でポインタを 2けた目に移動します。(1けた目の表示が「\*」に変わります。) この操作を繰り返し、4けた全ての数字を入力します。
- 2 4けた全ての数字を入力したらポインタを [ポイント] ボタン右で「セット」に移動します。
- 3 [OK] ボタンを押して決定します。
- 4 正しく入力されていると、「ロゴ暗証番号ロック」の選択メニューが表示されます。 上記「手順3」

※ 工場出荷時の「ロゴ暗証番号」は「4321」です。初めて暗証番号を設定するときには、「4321」と入力してください。

※ 数字の入力をやり直したいときは、[ポイント] ボタンの左右でけたを選び、数字ボタンまたは [ポイント] ボタンの上下で数字を入力し直します。

※ 「キャンセル」にポインタを合わせて [OK] ボタンを押すと、「ロゴ暗証番号ロック」の設定画面 (右図の一番下) に移動します。

## ロゴ暗証番号ロック



設定画面へ

[ポイント] ボタンの左右で「オン」「オフ」を切り換えます。

**ロゴ暗証番号の変更方法**

1 [ポイント] ボタンの上下で「ロゴ暗証番号変更」を選択し、[OK] ボタンを押します。

**リモコンで入力する**

2 リモコンの数字ボタンで0～9の数字を選択し、4けた全ての数字を入力します。4けた全てが決定すると、ポインタが自動的に「セット」に移動します。

☞下記「手順4」へ

**本体で入力する**

2 [ポイント] ボタンの上下で0～9の数字を選択し、[ポイント] ボタン右でポインタを2けた目に移動します。この操作を繰り返し、4けた全ての数字を入力します。

3 4けた全ての数字を入力したらポインタを[ポイント] ボタン右で「セット」に移動します。

※ 入力した数字は「\*」に変わりません。変更後の数字をはっきり確認していただくために、数字が見えるようになっています。

4 [OK] ボタンを押して決定します。

5 さらに「OK?」の表示が現れますので、[ポイント] ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせ、[OK] ボタンを押します。新しい暗証番号が登録されます。

6 「ロゴ暗証番号ロック」メニューの画面に戻ります。

※ 入力を中断して、この機能の操作をやめるときは、[ポイント] ボタンの左右で「キャンセル」を選択して[OK] ボタンを押します。「ロゴ暗証番号変更」メニューの画面に戻ります。

※ 数字の入力をやり直したいときは、[ポイント] ボタンの左右でけたを選び、数字ボタンまたは[ポイント] ボタンの上下で数字を入力し直します。

※ 以下の場合にはエラーが発生しています。入力をやり直してください。

・「新ロゴ暗証番号」の文字と入力した数字が、赤色で表示される。



**ランプモード**

ランプの明るさを、「オートモード」、「ノーマルモード」、「エコ1モード」、「エコ2モード」の4段階で切り換えることができます。ご使用環境に合ったモードを選択してご使用ください。

**🔆** オートモード …… 調光回路が働いて、明るさを自動的に調整します。

**💡** ノーマルモード …… 通常の明るさです。

**💡1** エコ1モード …… 通常より20%ダウンの明るさに抑えます。

**💡2** エコ2モード …… 通常より20%ダウンの明るさに抑えます。また、「エコ1モード」よりもファンの吸排気量が大きくなります。

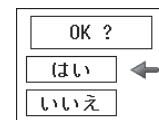
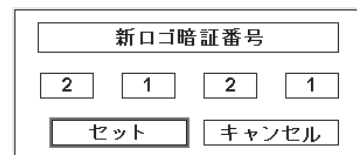
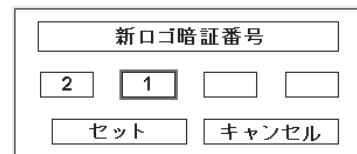
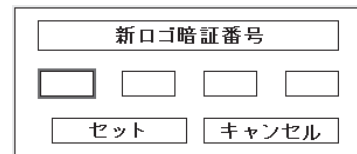
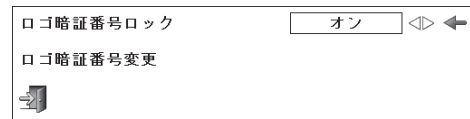
※ [ポイント] ボタン右で 🔆 → 💡 → 💡1 → 💡2 の順に表示が切り換わります。

※ 消費電力を抑えたいときには「エコ1」モードをおすすめします。

※ 長時間にわたって連続使用されるときには「エコ2」モードをおすすめします。

※ 「エコ2」モードは「エコ1」モードよりファンの音が大きくなります。

**ロゴ暗証番号の変更**



設定画面へ







## フィルター制御

エアフィルターを巻き取る機能です。「はい」を選択するとエアフィルターを1回分巻き取ります。

[ポイント] ボタンの上下で、ポインタを「フィルター制御」に合わせて [OK] ボタンを押すと、「はい」、「いいえ」の表示が現れます。

**はい**・・・エアフィルターを1回分巻き取ります。


**いいえ**・・・「メニュー」に戻ります。

- ※ 「はい」を選択すると、汚れていなくてもフィルターを巻き取ります。
- ※ エアフィルターの目詰まりを検知すると、自動的に1回巻き取ります。
- ※ エアフィルターの巻き戻しはできません。
- ※ 巻き取りを行うと、フィルター使用時間 (C/F 69 ページ) が自動的に「0」に戻ります。
- ※ エアフィルターの巻き取り回数の残りが「0」のときは画面に  が表示され、巻き取りは行われません。
- ※ エアフィルターが巻き取られている最中に、エアフィルター巻き取りの操作を行うと、画面に  が表示されます。
- ※ エアフィルターカートリッジの端の部分に巻き取った残りが見えることがあります。正しく巻き取られていますので、ご使用には問題ありません。
- ※ 巻き取り中に、電源が切れるなどで途中で動作が止まったときは、再び電源が入ったときに残りの部分の巻き取りを行います。



### リモコンからでも巻き取ることができます。

リモコンの [FILTER] ボタンを約5秒以上押すと、画面中央に右図が表示され、エアフィルターを1回分巻き取ります。

 38 ページ

### フィルター巻き取り中の表示



しばらくお待ち下さい



## ファン制御

冷却ファンの回転速度を切り換えることができます。

**ノーマル**・・・工場出荷時の設定です。通常はこちらでご使用ください。

**マックス**・・・周辺温度が高いときなど、通常より冷却力を高めたいときに選択します。ファンの音は「ノーマル」より大きくなります。



## リモートコントロール

リモコンの「シンプルモード」と「リモコンコード」の設定を行います。

### シンプルモード

この機能を「オン」にすると、「シンプルモード」対象のリモコンボタンだけが有効になります。「シンプルモード」にポイントを合わせて、[ポイント] ボタンの左右でオン・オフを切り換えます。

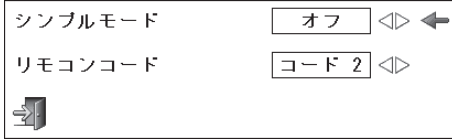
#### ・シンプルモード有効ボタン

ON、STAND-BY、INPUT、AUTO PC、INFO.、MENU、ASPECT、SHUTTER、OK、ポイント (◀▶▲▼)、VOL-、VOL+、MUTE、RESET/ON/ALL OFF

※「シンプルモード」をオンにした後に「シンプルモード」非対応ボタンを押すと、操作不可能を表すアイコン (🚫) と「シンプルモード：オン」のメッセージが画面左下に表示されます。

※ 暗証番号など、番号を入力する場合には、「シンプルモード」が「オン」でもリモコンの数字ボタンで番号を入力できます。

## リモートコントロール



### 「シンプルモード」有効ボタン



「シンプルモード」有効ボタン

※ [マウスポインタ] ボタンは「シンプルモード」では機能しません。

リモコン裏面に、有効なボタンの記載があります。



### リモコンコード

本機は8種類のリモコンコード（「コード1」～「コード8」）の設定が可能です。本機を複数台でご使用の場合には、リモコンコードを別々に設定しておくことで誤動作を防止できます。「リモコンコード」にポイントを合わせて、[ポイント] ボタンの左右でリモコンコードを選択し、[ポイント] にポイントを合わせて [OK] ボタンを押します。リモコンコードが変更され、セッティングメニューに戻ります。

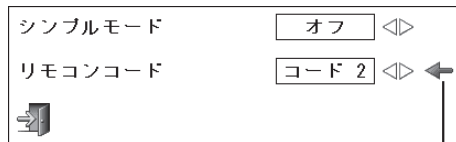
なお、リモコンのリモコンコードは、別途リモコンで設定します。P. 20 ページ

※ リモコンコードの変更後、必ず [戻る] でセッティングメニューに戻ってください。戻らないとリモコンコードの変更が反映されません。

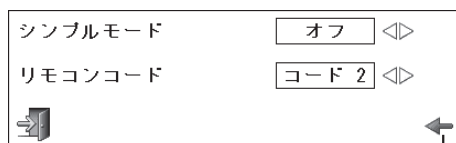
※ 工場出荷時は「コード1」に設定されています。

※ プロジェクター本体のリモコンコードと、リモコンのリモコンコードは、同じコードに合わせる必要があります。

### リモコンコードの変更



[ポイント] ボタンの左右で選択します。



[戻る] にポイントを合わせて [OK] ボタンを押します。



## リモコン受光部

プロジェクター本体のワイヤレスリモコン受光部の、有効・無効を切り換えることができます。

**両方**・・・本体前後にある両方の受光部を有効にします。

**前**・・・本体前にある受光部のみ有効にします。

**後**・・・本体後にある受光部のみ有効にします。

※ 天吊りなどで蛍光灯の近くに設置したときは、蛍光灯から離れている方にあるリモコン受光部を選択することをおすすめします。

☞ 20 ページ



## パワーマネジメント

パワーマネジメント機能の動作設定を行います。  
また、パワーマネジメント機能が作動するまでの時間を設定できます。パワーマネジメント機能の詳細については、33 ページを参照してください。

**オフ**・・・パワーマネジメント機能を解除します。

**待機**・・・タイマーで設定した時間が経過すると、いったんランプが消灯してランプの冷却動作に入ります。この間 [POWER] インジケータは消灯し、操作できないことをお知らせします。ランプの冷却が完了すると [POWER] インジケータは緑色で点滅して、パワーマネジメントモードになっていることをお知らせします。信号が入力されたり操作を行うと、ランプが点灯してすぐに画像が投写されます。

**シャットダウン**・・・タイマーで設定した時間が経過すると、ランプが消灯し、電源が切れます。

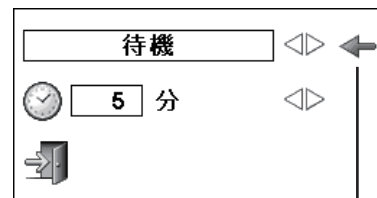


### タイマー設定について

[ポイント] ボタンの左右でパワーマネジメント機能が作動するまでの時間を設定します。設定できる時間は 1 分から 30 分です。無操作・無入力 が 30 秒続くと画面右下にカウントダウンが表示されます。

- ※ 工場出荷時は、「待機・5分」に設定されています。
- ※ 「FREEZE」(☞ 36 ページ) あるいは「SHUTTER」(☞ 38 ページ) が働いているときは、パワーマネジメントは動作しません。
- ※ パワーマネジメントが動作すると、「P-TIMER」(☞ 36 ページ) はリセットされます。

### パワーマネジメント



[ポイント] ボタン右で「オフ」→「待機」→「シャットダウン」の順に表示が切り換わります。

### タイマー表示



※ タイマーの表示中に、プロジェクターの操作または信号の入力が行われると、タイマーの表示は消えます。



**オンスタート**

電源コードをコンセントに接続すると、リモコンの [ON] ボタンや操作パネルの [POWER] ボタンを押さなくても、自動的にプロジェクターの電源が入る機能です。

**オン** …… 電源コードを接続すると同時にプロジェクターの電源が入ります。

**オフ** …… 通常の電源入・切を行う設定です。  
電源コードを接続しても、リモコンの [ON] ボタンや操作パネルの [POWER] ボタンを押さないと、プロジェクターの電源は入りません。

※ 工場出荷時は、「オフ」に設定されています。

**電源オン・オフは正しい操作で行ってください。**

ランプの冷却が終わり、再点灯できる状態になるまで、リモコンの [ON] ボタンや、操作パネルの [POWER] ボタンを押しても電源は入りません。

**ポインタ**

この機能を使うときに表示させるポインタの種類を選択します。

[ポイント] ボタンの左右で種類を選択します。

ポインタの種類 …… 十字・矢印・ドット (赤い点)

**セキュリティ**

操作ボタンのロックと、暗証番号でプロジェクターの操作をロックする設定をします。

- 1 [ポイント] ボタンの上下でポインタを「セキュリティ」に合わせ、[OK] ボタンを押すと、項目を選択する画面が現れます。
- 2 [ポイント] ボタンの上下で項目を選択し、[OK] ボタンを押すと、設定画面が現れます。設定の詳細はそれぞれの項目を参照してください。

**セキュリティ****キーロック**

操作ボタンをロックして、プロジェクターが誤って操作されることを防ぎます。たとえば、リモコンをプロジェクターの鍵として使うこともできます。

- …… キーロックを解除します。
- …… 本体での操作をロックします。
- …… リモコンでの操作をロックします。

※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。  
※ 解除できなくなったときは、お買い上げの販売店へご相談ください。

「キーロック」の設定手順は次ページへ

## 手順

前ページ「セキュリティ」の「1」に続いて、

- 2 ポインタを「キーロック」に合わせて [OK] ボタンを押すと、設定画面が表示されます。
- 3 ポインタをいずれかに合わせて [OK] ボタンを押すと、「OK ?」の確認画面が表示されます。
- 4 [はい] を選択して [OK] ボタンを押すと登録が完了し、設定画面に戻ります。

(※) 設定する項目を選び直すときには、「いいえ」に合わせて [OK] ボタンを押すと選択画面に戻ります。




## 暗証番号ロック

暗証番号により、プロジェクターの管理者以外のプロジェクターの操作を防止します。  
設定により以下のモードを選択できます。

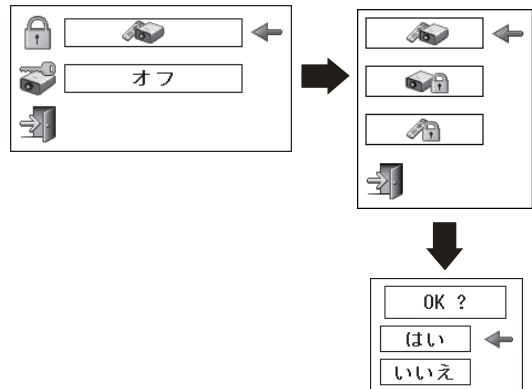
- オフ**・・・「暗証番号ロック」を解除します。
- オン1**・・・電源を入れるときに暗証番号が要求されます。
- オン2**・・・一度入力した暗証番号は、電源コードを抜くまで有効です。一度電源コードを抜くと、次に電源を入れるときに暗証番号が要求されます。リモコンの [ON] ボタンや操作パネルの [POWER] ボタンで電源を入・切するだけで電源コードを抜かない場合には、暗証番号を要求されずに通常の実行を行うことができます。

## 手順

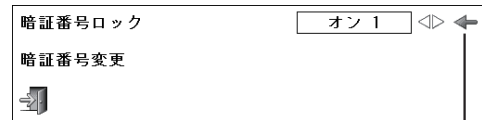
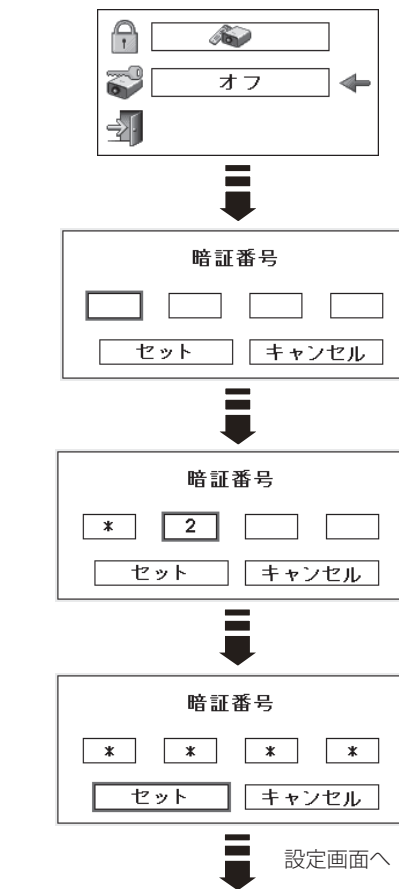
前ページ「セキュリティ」の「1」に続いて、

- 2 ポインタを「暗証番号ロック」に合わせて [OK] ボタンを押すと、暗証番号を入力する画面が表示されます。
- 3 暗証番号を入力します。  
※ 次ページの「暗証番号の入力方法」を参照してください。
- 4 暗証番号が承認されると、「暗証番号」の「オフ・オン1・オン2」の設定と、暗証番号を変更できる画面が表示されます。「オフ・オン1・オン2」は、[ポイント] ボタンの左右で切り換えて設定します。「オン1」「オン2」を設定すると、メニューバーの右端に暗証番号ロックを設定していることを示すアイコンが表示されます。  
※ 暗証番号の変更は次ページをご参照ください。
- 5 終了するときには、[ポイント] ボタン下でポインタを  に移動し、[OK] ボタンを押します。

## キーロック



## 暗証番号ロック



[ポイント] ボタンの左右で「オフ」「オン1」「オン2」を切り換えます。

## 暗証番号ロックの表示



暗証番号ロックの「オン1」「オン2」のいずれかが設定されていることを表しています。



## 暗証番号の入力方法

## リモコンで入力する

- 1 リモコンの数字ボタンで0～9の数字を選択し、4けた全ての数字を入力します。(入力した数字は「\*」で表示されます) 4けた全てが決定すると、ポインタが自動的に「セット」に移動します。  
(☞下記「手順3」へ)

## 本体で入力する

- 1 [ポイント] ボタンの上下で0～9の数字を選択し、[ポイント]ボタン右でポインタを2けた目に移動します。(1けた目の表示が「\*」に変わります。) この操作を繰り返し、4けた全ての数字を入力します。
- 2 4けた全ての数字を入力したらポインタを [ポイント] ボタン右で「セット」に移動します。

- 3 [OK] ボタンを押して決定します。
- 4 正しく入力されていると、「暗証番号ロック」の設定画面が表示されます。

- ※ 工場出荷時の暗証番号は「1 2 3 4」です。初めて暗証番号を設定するときには、「1 2 3 4」と入力してください。
- ※ 数字の入力をやり直したいときは、[ポイント] ボタンの左右でけたを選び、数字ボタンまたは [ポイント] ボタンの上下で数字を入力し直します。
- ※ 「キャンセル」にポインタを合わせて [OK] ボタンを押すと、「暗証番号ロック」の設定画面に移動します。

## 暗証番号の変更方法

- 1 右図一番下の設定画面で、[ポイント] ボタンの上下で「暗証番号変更」を選択して [OK] ボタンを押します。

## リモコンで入力する

- 2 リモコンの数字ボタンで0～9の数字を選択し、4けた全ての数字を入力します。4けた全てが決定すると、ポインタが自動的に「セット」に移動します。  
(☞下記「手順4」へ)

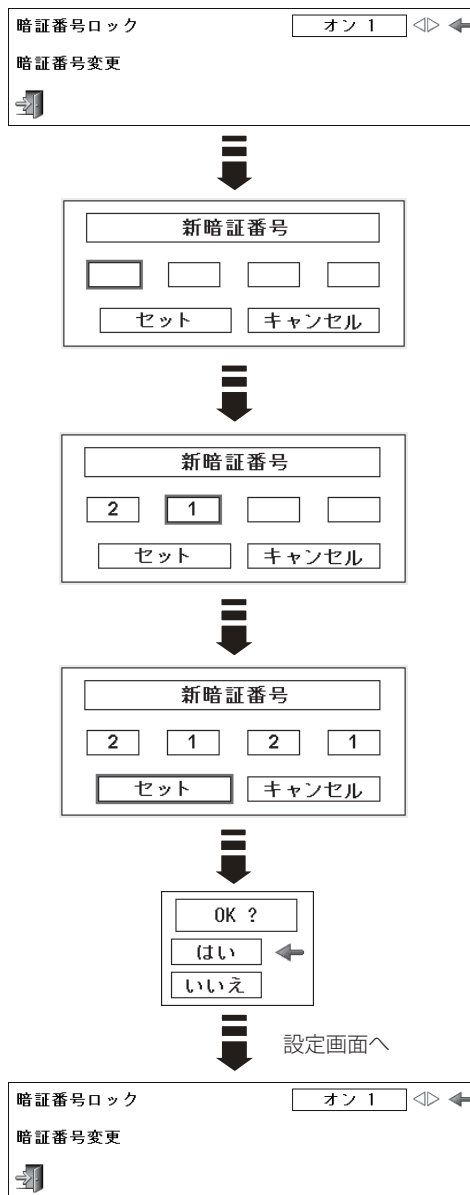
## 本体で入力する

- 2 [ポイント] ボタンの上下で0～9の数字を選択し、[ポイント]ボタン右でポインタを2けた目に移動します。この操作を繰り返し、4けた全ての数字を入力します。
- 3 4けた全ての数字を入力したらポインタを [ポイント] ボタン右で「セット」に移動します。

- ※ 入力した数字は「\*」に変わりません。変更後の数字をはっきり確認していただくために、数字が見えるようになっています。

- 4 [OK] ボタンを押して決定します。
- 5 さらに「OK?」の表示が現れますので、[ポイント] ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせ、[OK] ボタンを押します。新しい暗証番号が登録されます。
- 6 「暗証番号ロック」の設定画面に戻ります。

## 暗証番号の変更



## メモ

- ※ 入力を中断して、この機能の操作をやめるときは、[ポイント] ボタンの左右で「キャンセル」を選択して [OK] ボタンを押します。「暗証番号変更」の画面に戻ります。
- ※ 数字の入力をやり直したいときは、[ポイント] ボタンの左右でけたを選び、数字ボタンまたは [ポイント] ボタンの上下で数字を入力し直します。
- ※ 以下の場合にはエラーが発生しています。入力をやり直してください。
  - ・「新暗証番号」の文字と入力した数字が、赤色で表示される。



## シャッター

シャッターを閉じる操作を禁止できるほか、シャッターを閉じた後、自動的に電源が切れるまでの時間を設定できます。

### 保護

「リモートコントロール」と「プロジェクター」をそれぞれ「オン」に設定すると、リモコンの [SHUTTER] ボタン、プロジェクターの [SHUTTER] ボタンをそれぞれ無効にします。

<ご注意>

※「オン」に設定後、「SHUTTER」ボタンを押すと、操作不可能を表す が画面に表示されます。

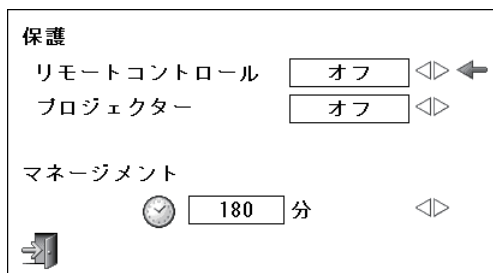
### マネージメント

シャッターを閉じた状態にした後、自動的に電源が切れるまでの時間を設定します。5分から180分までの間で設定できます。

マネージメントが働くとプロジェクターはシャッターを解除して電源を切り、スタンバイ状態になります。また [LAMP/SHUTTER] インジケータが、青と暗赤で交互に点灯し、マネージメントが働いたことをお知らせします。再度電源を入れると [LAMP/SHUTTER] インジケータの点灯が消えます。

80 ページ

## シャッター



<ご注意>

※「シャッター」で投写画面が遮断されているときは、「パワーマネージメント」は動作しません。

※設定できるのは時間だけで、シャッターのマネージメント機能をオフにすることはできません。

※工場出荷時は180分に設定されています。



## ランプカウンター

ランプカウンター（実使用时间）が表示され、リセットを行うことができます。ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると [LAMP REPLACE] インジケータ（橙）の点灯、および「ランプ交換」のお知らせ表示が消えます。

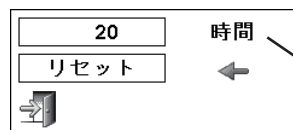
### ランプカウンターのリセット



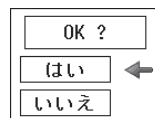
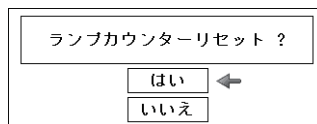
**注意** ランプを交換したとき以外はリセットしないでください。

- 1 [ポイント] ボタンの上下でポインタを「ランプカウンター」に合わせて [OK] ボタンを押します。
- 2 ランプの使用時間と、カウンターをリセットする項目が表示されます。[ポイント] ボタンの上下でポインタを「リセット」に合わせて [OK] ボタンを押します。
- 3 「ランプカウンターリセット？」の確認画面が表示されますので、[ポイント] ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせて [OK] ボタンを押します。
- 4 さらに、「OK？」の確認画面が表示されますので、[ポイント] ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせて [OK] ボタンを押します。カウンターがリセットされます。ポインタはランプカウンターの画面の に戻ります。

## ランプカウンター



ランプカウンター（ランプ実使用时间）が表示されます。ランプ交換推奨時間を超えると、ランプカウンターが赤で表示されます。





### ランプの交換をお知らせする表示について



ランプ点灯中にランプ交換推奨時間になったとき、画面右上に表示されます。(約 10 秒間)。またその後、下記の操作をしたときにも表示されます。

- ・電源を入れたとき (約 4 秒間表示)
- ・インプットを切り換えたとき (約 4 秒間表示)

※「オンスクリーン表示・オフ」(☞ 58 ページ) に設定しているとき、また、「FREEZE」(☞ 36 ページ) が動作中のときは、表示されません。

※ [LAMP REPLACE] インジケータは、ランプ交換推奨時間になったとき点灯します。スタンバイ時も点灯したままです。  
(☞ 73、78 ~ 80 ページ)

※ 「ランプカウンター」をリセットすると、これらの表示が消えます。



### フィルターカウンター

エアフィルターについての設定や使用時間のリセット、エアフィルターの巻き取り回数のリセットを行います。

- 1 [ポイント] ボタンの上下でポインタを「フィルターカウンター」に合わせて [OK] ボタンを押します。
- 2 「使用時間」と「スクロール残回数」の項目が表示されます。[ポイント] ボタンの上下で選択・調整したい項目にポインタを合わせて [OK] ボタンを押します。

#### 使用時間

エアフィルターに関して、以下の表示と設定をすることができます。

- ・実使用時間を表示
- ・巻き取り時期をお知らせする時間の設定
- ・実使用時間のリセット

#### タイマーの設定

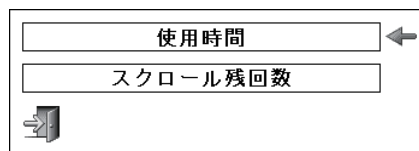
ポインタをタイマーに合わせて [ポイント] ボタンの左右で切り換えます。  
(オフ / 400 時間 / 700 時間 / 1000 時間)

#### リセット

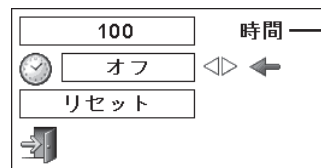
- 1 [ポイント] ボタンの上下でポインタを「リセット」に合わせて [OK] ボタンを押します。
- 2 「フィルターカウンターリセット？」が表示されますので、[ポイント] ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせて [OK] ボタンを押します。
- 3 さらに、「OK？」が表示されますので、[ポイント] ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせて [OK] ボタンを押します。使用時間がリセットされます。

- ※ 工場出荷時、タイマーは「オフ」に設定されています。
- ※ タイマー機能は設定した時間に達したことをお知らせするだけで、巻き取りは行いません。エアフィルターを巻き取りたいときは、リモコンの [FILTER] ボタン (☞ 38 ページ) や「セッティング」メニューの「フィルター制御」(☞ 62 ページ) から手で巻き取ります。
- ※ エアフィルターの巻き取りを行うと、使用時間は自動的にリセットされます。なお、カートリッジを交換した場合には、使用時間は自動でリセットされません。

### フィルターカウンター



#### 使用時間：タイマーの設定

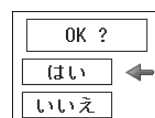
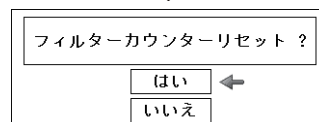
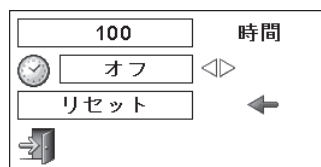


設定時間に達すると数字が赤く表示されます。



設定時間に達したとき、画面に表示されます。ただし、巻き取り回数の残りが「0」のときは (☞) が表示されます。(☞ 75 ページ)

#### 使用時間：リセット



## スクロール残回数

エアフィルターの巻き取りに関して、以下の表示と設定を行うことができます。

- ・巻き取りの残り回数を表示
- ・巻き取りの残り回数のリセット

### スクロール残回数

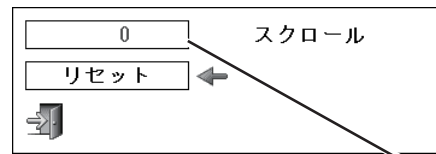
エアフィルターの巻き取りの残り回数を表示します。残り回数が「0」のときは、数字が赤色で表示されます。

### リセット

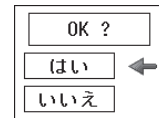
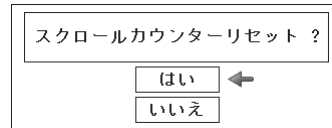
**！ 注意** エアフィルターカートリッジの交換を行なったとき以外はリセットしないでください。

- 1 [ポイント] ボタンの上下でポインタを「リセット」に合わせて [OK] ボタンを押します。
- 2 「スクロールカウンターリセット？」が表示されますので、[ポイント] ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせて [OK] ボタンを押します。
- 3 さらに、「OK？」が表示されますので、[ポイント] ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせて [OK] ボタンを押します。スクロール残回数がリセットされます。

### スクロール残回数：リセット



スクロールの残り回数が「0」のときは、数字が赤く表示されます。



## ！ フィルターカウンターのリセットについて

エアフィルターカートリッジ交換後は、必ず「使用時間」と「スクロール残回数」の両方のカウンターをリセットしてください。リセットすると [WARNING FILTER] インジケータ（橙）の点灯および、「フィルター警告」のお知らせ表示が消えます。☞ 75、78～80 ページ

## 💡 エアフィルターカートリッジ交換をお知らせする画面表示について

エアフィルターの残回数が0のときにエアフィルターが目詰まりしてエアフィルターの交換が必要になった場合に、画面右上に表示されます（約10秒間）。この表示は15分ごとに繰り返し表示されます。また、下記の操作をしたときにも表示されます。

- ・電源を入れたとき（約4秒間表示）
- ・「インプット」を切り換えたとき（約4秒間表示）

また、☞が表示された後も、エアフィルターカートリッジの交換とフィルターカウンターのリセットを行わずにプロジェクターを使用し続けると、光学部品を保護するために電源オン後3分で自動的に電源オフになります。エアフィルターカートリッジを交換し、フィルターカウンターをリセットしてください。

※「オンスクリーン表示」（☞ 58 ページ）を「オフ」に設定しているとき、または「FREEZE」（☞ 36 ページ）が動作中のときは表示されません。

※「フィルターカウンター」をリセットすると表示が消えます。



### テストパターン

外部からの信号源が無くても、プロジェクター本体に内蔵されたテストパターンを投写することができます。プロジェクターを設置するときに便利です。「カラーバー、16階調 1～4、全白、全黒、格子」の 8 種類があります。

- ・テストパターンが全画面表示されているときに、[ポイント] ボタンの上下を押すと、その前後のテストパターンに切り換わります。
- ・[MENU] ボタンまたは [OK] ボタンを押すとテストパターンを終了し、テストパターンのメニュー画面に戻ります。

### テストパターン



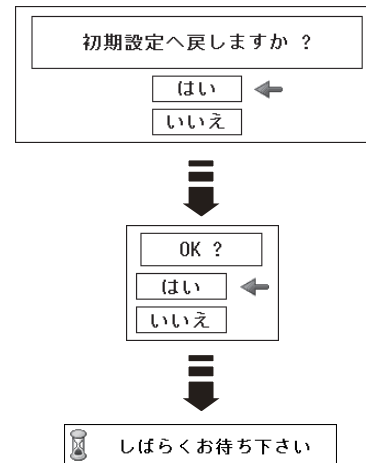
### 初期設定

下記の設定をのぞく全ての設定を工場出荷状態に戻します。

- ・ランプカウンター（点灯時間）
- ・フィルターカウンター（使用時間・タイマー・スクロール回数）
- ・ロゴ暗証番号ロック
- ・暗証番号ロック
- ・ユーザーロゴ
- ・ネットワーク設定

また、上記の設定は、電源コードを抜いても有効です。

### 初期設定



### 注意

「初期設定」を実行すると、お客様が設定した設定内容はすべて失われ、工場出荷状態に戻ります。

- 1 [ポイント] ボタンの上下でポインタを「初期設定」に合わせて [OK] ボタンを押します。
- 2 「初期設定へ戻しますか？」の確認画面が表示されますので、「はい」にポインタを合わせて [OK] ボタンを押します。
- 3 「OK？」の確認画面が表示されますので、「はい」にポインタを合わせて [OK] ボタンを押します。設定が工場出荷時に戻ります。



### キーロックを解除したいときや、「ロゴ暗証番号ロック」「暗証番号ロック」の暗証番号がわからなくなったとき

いったん電源コードを AC コンセントから抜き、[OK] ボタンを押しながら電源プラグを AC コンセントに差し込み、プロジェクターの電源を入れます。このとき、「POWER」インジケーターが点灯するまで、[OK] ボタンを押し続けてください。

- ・「キーロック」は解除されます。
- ・「ロゴ暗証番号ロック」「暗証番号ロック」は、それぞれ工場出荷時の暗証番号に戻ります。工場出荷時の暗証番号は以下のとおりです。

「ロゴ暗証番号ロック」… 4321      「暗証番号ロック」… 1234

# その他の機能

## リモコンでコンピュータを操作する

付属のリモコンは、コンピュータのワイヤレスマウスとしてお使いいただけます。

### 準備をしてください

はじめにコンピュータにUSB端子があることを確認してください。USB以外の端子ではご利用になれません。また、コンピュータにマウスドライバがインストールされている必要があります。

- 1 市販のUSBケーブルで、コンピュータのUSB端子と本体のUSB端子を接続します。
- 2 USBケーブルを接続したら、先にプロジェクターの電源を入れてからコンピュータを立ち上げてください。先にコンピュータを立ち上げると正しく動作しない場合があります。



マウス機能を使うときは、以下を確認してください。

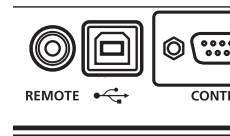
- ① 下記のコンピュータ入力が選択されていて、信号も送られている。
  - ・「コンピュータ1 (アナログ)」
  - ・「コンピュータ1 (デジタル)」の「RGB (PC digital)」
  - ・「コンピュータ1 (デジタル)」の「RGB (AV HDCP)」
  - ・「コンピュータ2」の「RGB」
- ② 電源が「オン」になっていて、ランプが点灯している。

### USBケーブルの接続

コンピュータのUSB端子へ



USBケーブル



本体後面のUSB端子

※ 終了するときは、本体後面のUSB端子からUSBケーブルを抜きます。

### マウスポインタの動かし方

マウスポインタの操作は、[マウスポインタ] ボタン、[左クリック] ボタン、[R-CLICK] (右クリック) ボタンで行います。

#### マウスポインタボタン

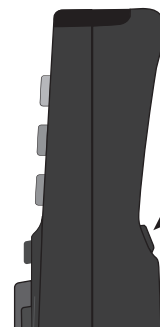
マウスポインタの移動を行います。上下左右方向を押すと、マウスポインタが移動します。

#### 左クリックボタン

コンピュータマウスの左クリックの働きをします。

#### R-CLICK (右クリック) ボタン

コンピュータマウスの右クリックの働きをします。



左クリックボタン  
(マウスの左クリック)



[マウスポインタ]  
ボタン

[R-CLICK] ボタン  
(マウスの右クリック)



# お手入れと保守

## お手入れについて

本機の性能を維持し、安全にご使用いただくために、注意事項をよくお読みの上、正しくお手入れください。

### ● 長い間ご使用にならないとき

レンズや本体にホコリが付着しないようケースなどに納めて保管してください。

### ● キャビネットのお手入れ

キャビネットや操作パネルの部分の汚れはネルなどの柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

### ● キャビネットをいためないために

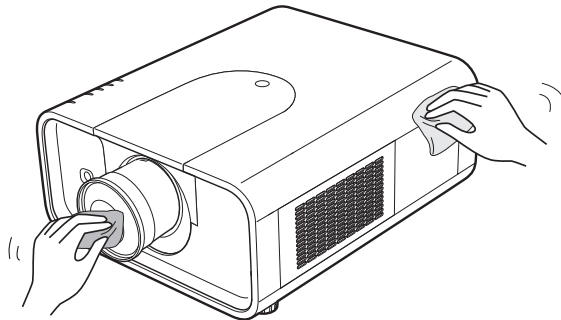
キャビネットにはプラスチックが多く使われています。キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムや粘着テープ、ビニール製品を長期間接触させないでください。変質したり塗料がはげるなどの原因となります。

### ● ベンジン・シンナーは使わないで

ベンジンやシンナーなどで拭くと、変質したり塗料がはげることがあります。また、化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

### ● レンズのお手入れ

レンズ表面の掃除は、カメラ用に市販されているブローブラシやレンズクリーナー（カメラやメガネの掃除用に市販されているクロスやペーパー）で行ってください。レンズの表面は傷がつきやすいので、固いものでこすったり、たたいたりしないでください。



## ランプの交換

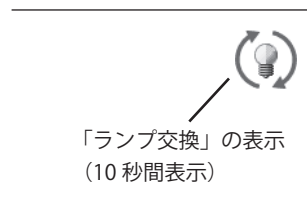
### LAMP REPLACE インジケータと「ランプ交換」表示について

[LAMP REPLACE] インジケータ（橙）の点灯は、ランプ交換時期の目安です。[LAMP REPLACE] インジケータが点灯したときは、ランプをすみやかに交換してください。ランプカウンターをリセットするまで電源「ON（入）」のときに点灯します。なお、点灯する前に寿命が尽きる場合もあります。また、画面右上に現れる「ランプ交換」表示でもランプ交換時期をお知らせします。下図の「ランプ交換」が表示されたら、すみやかにランプを交換してください。☞ 68、69 ページ



ランプ点灯中にランプ交換推奨時間に達した場合、画面右上に 10 秒間に表示されます。またその後、下記の操作をしたときにも表示されます。

- ・電源を入れたとき
- ・「インプットモード」を切り換えたとき



※ 上記のアイコンは、「オンスクリーン表示」を「オフ」（☞ 58 ページ）に設定している場合や「FREEZE」（☞ 36 ページ）の動作中は表示されません。

LAMP ○ / SHUTTER ☒

LAMP REPLACE ☑

WARNING FILTER ☁

LAMP REPLACE  
インジケータ

その他の  
機能

お手入れと  
保守

## ランプの交換方法

ランプの交換はランプハウスごとに行います。必ず指定のランプハウスを取り付けてください。交換ランプはお買い上げの販売店にご相談ください。またご注文の際には、以下のことをお知らせください。

- ・交換ランプの品番：LV-LP33
- ・プロジェクターの品番：LV-7590



### 注意

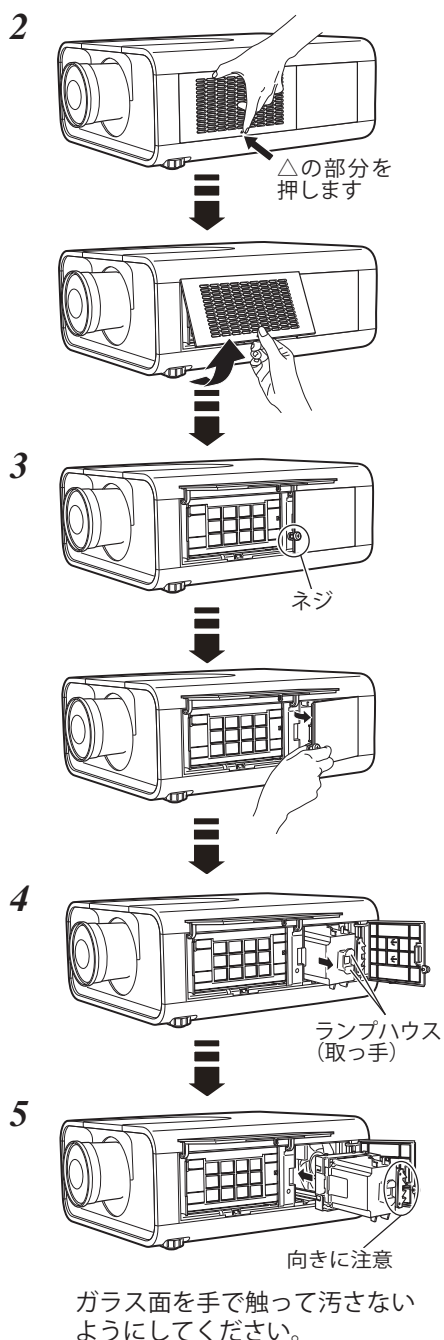
動作中、ランプは大変高温になります。ランプを交換するときは、本機の電源を切り、ファン停止後に電源コードを抜き、1時間以上放置してから行ってください。動作停止後すぐに手で触ると、やけどをするおそれがあります。

### 手順

- 1 プロジェクターの電源を切り、冷却ファンの回転が止まったことを確認し、電源プラグをACコンセントから抜きます。交換は、必ず電源を切ってから行ってください。
- 2 エアフィルターカバーを開けます。カバーの「△」の部分を押すと、「カチッ」と音がしてストッパーが外れます。止まるまで開ききります。  
※ 天吊りでご使用の際には、カバーを開くときに力をかけすぎないようにご注意ください。破損するおそれがあります。
- 3 ランプカバーのネジをゆるめてランプカバーを開きます。
- 4 ランプハウスの取っ手を持って、ランプハウスごと引き出します。
- 5 ランプの向きに注意しながら、交換用のランプハウスを本体の奥までしっかり押し込みます。ランプのガラス面を手で触って汚さないようご注意ください。
- 6 ランプカバーを閉じてネジを締めます。エアフィルターカバーを閉じます。

## ランプカウンターをリセットします

ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると [LAMP REPLACE] インジケータ (橙) の点灯、および「ランプ交換」表示が消えます。ランプカウンターのリセット方法は、「セッティング」メニュー内の「ランプカウンター」を参照ください。☞ 68 ページ



# エアフィルターカートリッジの交換

## WARNIG FILTER インジケータと「フィルター警告」表示について






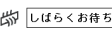
本機には自動交換フィルターが搭載されています。プロジェクターがフィルターの汚れを常に監視し、汚れによる目詰まりを検知すると、自動的に新しいフィルターに交換（巻き取り）します。1個のエアフィルターカートリッジで9回交換できます。（合計10回分）

[WARNING FILTER] インジケータ（橙）の点灯・点滅は、エアフィルターの交換（巻き取り）やエアフィルターカートリッジの交換時期の目安です。また、「フィルター警告」アイコン表示でもエアフィルターの状況や、エアフィルターカートリッジの交換時期をお知らせします。






### 表示の種類

#### アイコン

 または 	「セッティング」メニューの「フィルターカウンター」で設定した時間に達したことをお知らせします。ただし、巻き取り回数の残りが「0」のときは  が表示されます。	・電源を入れたとき ・インプットを切り換えたとき ※ 最初の表示の後、15分ごとに繰り返し表示されます。	「オンスクリーン表示」が「オフ」、または、「FREEZE」中は表示されません。
	エアフィルターカートリッジの交換をお知らせします。巻き取り回数の残りが「0」で、汚れによる目詰まりが発生しています。	・電源を入れたとき ・インプットを切り換えたとき ※ 最初の表示の後、15分ごとに繰り返し表示されます。	「オンスクリーン表示」が「オフ」、または「FREEZE」中は表示されません。
	エアフィルターの巻き取り回数の残りが「0」になったことをお知らせします。	・電源を入れたとき ・インプットを切り換えたとき	「オンスクリーン表示」が「オフ」、または「FREEZE」中は表示されません。
 <small>しばらくお待ち下さい</small>	メニューまたはリモコンから、強制巻き取りを行っていることをお知らせします。	・巻き取り実行中に表示されます。	「オンスクリーン表示」が「オフ」の場合は表示されません。

※ 汚れによる目詰まりを検知して自動的に交換（巻き取り）する際に、エアフィルターの巻き取り回数の残りがあるときは、アイコンは画面に表示されません。

#### インジケータ

 (点灯)	・エアフィルターの巻き取り回数の残りが「0」になりました。 ・エアフィルターカートリッジの交換推奨時間になりました。 ※ スタンバイ時も点灯したままです。
 (点滅・ゆっくり)	・エアフィルターの巻き取り中です。
 (点滅・速い)	・エアフィルターの巻き取り中に異常が発生しました。 ・エアフィルターカートリッジが本体にセットされていません。

### エアフィルターカートリッジの交換方法

エアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターや吸気口にホコリがたまると冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇をまねいて故障の原因になります。エアフィルター周辺の吸気口は、こまめに掃除してください。

交換用フィルターカートリッジは、お買い上げの販売店にご相談ください。

## 手順

- 1 プロジェクターの電源を切り、冷却ファンの回転が止まったことを確認し、電源プラグをACコンセントから抜きます。交換は、必ず電源を切ってから行ってください。
- 2 エアフィルターカバーを開けます。カバーの「△」の部分で指を押し、「カチッ」と音がしてストッパーが外れます。止まるまで開ききります。  
※ 天井りでご使用の場合は、カバーを開くときに力をかけすぎないようにご注意ください。破損するおそれがあります。
- 3 エアフィルターカートリッジのツメに指をかけて押し上げるようにして本体から外します。
- 4 新しいエアフィルターカートリッジのリール部分（白い出っ張り2カ所）を下にして本体にはめ込みます。はめ込む順序は図を参照してください。
- 5 エアフィルターカバーをおろして、閉じます。カバーの「△」の部分で指を押し、「カチッ」と音がすれば完了です。

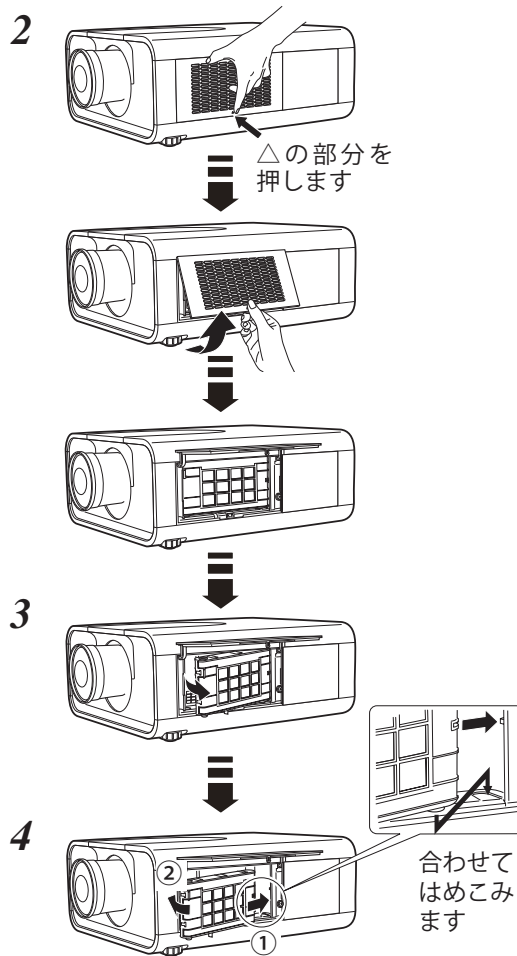
## フィルターカウンターをリセットします

エアフィルターカートリッジ交換後は、必ず「使用時間」および「スクロール残回数」をリセットしてください。リセットすると [WARNING FILTER] インジケータ（橙）の点灯、および「フィルター警告」表示が消えます。リセットのしかたは、「セッティング」メニュー内の「フィルターカウンター」を参照してください。☞ 69～70ページ



### エアフィルターについてのご注意

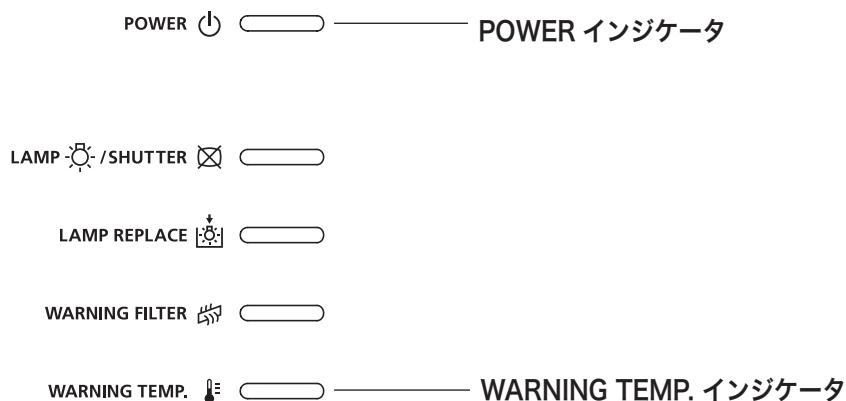
- **エアフィルターカートリッジは再利用できません。**  
エアフィルターを掃除するなどして再利用しないでください。使い終わりましたら、すみやかに新しいものと交換してください。
- **エアフィルターは水洗いできません。**  
エアフィルターカートリッジが水などで濡れないようにご注意ください。故障の原因となります。
- **エアフィルターを使い切ってからカートリッジを交換してください。**  
途中で交換したり、他のプロジェクターとの使い回しなどをすると、エアフィルターの残回数を正しく確認できなくなり、故障の原因となります。
- **エアフィルターカートリッジの交換は、電源を切ってから行ってください。**  
電源が入った状態でカートリッジを外すと、安全のため自動で電源が切れます。
- **エアフィルターカートリッジ交換後は、必ず「使用時間」と「スクロール残回数」の両方をリセットしてください。**  
リセットを行わないと、エアフィルターの残回数や使用時間を正しく認識できなくなり、故障の原因となります。
- **エアフィルターカートリッジは、ていねいに扱ってください。**  
エアフィルター部分に穴があいたり、破れたりするとフィルターの効果が損なわれます。
- **エアフィルターカバーの穴から内部へ、ものを差し込まないでください。**  
内部には高電圧の部分や回転する部分があり、ふれると感電やけがの恐れがあります。また、冷却ファンの故障にもつながります。
- **エアフィルターカートリッジの交換表示にご注意ください。**  
Ⓜが表示された後も、エアフィルターカートリッジの交換とフィルターカウンターのリセットを行わずに使用を続けると、光学部品を保護するために、電源オンから3分経過すると自動的に電源オフになります。



# 内部温度の上昇について

## [WARNING TEMP.] インジケータが点滅しているとき

本機内部の温度が高くなると [WARNING TEMP.] インジケータ (赤) が低速で点滅しはじめます。さらに温度が高くなると、保護のため自動的に電源が切れて [POWER] インジケータ (緑) が消え、[WARNING TEMP.] インジケータは高速の点滅に変わります。([LAMP] インジケータ (赤) は点灯、[WARNING TEMP.] インジケータは高速点滅) 温度が下がると [POWER] インジケータが点灯し、リモコンの [ON] ボタン、または本体の [POWER] ボタンで電源を入れることができます。電源を入れると [WARNING TEMP.] インジケータの点滅が消えます。



**[WARNING TEMP.] インジケータの点滅が消えないときは、以下を確認してください。**

- ・ エアフィルター付近にホコリがたまっていませんか。エアフィルター付近を掃除してください。
- ・ 排気口や吸気口がふさがれていませんか。通気を妨げるような設置をしないでください。
- ・ 使用温度範囲を超えた温度の場所で使用していませんか。(使用温度範囲：5℃～40℃)
- ・ 上記のいずれでもない場合は、冷却ファンまたは内部回路の故障が考えられます。お買い上げの販売店または修理相談窓口にご相談ください。

電源を入れるときは、[POWER] インジケータが点灯していることを確認してください。  
内部の温度が下がっていない場合は、再び [WARNING TEMP.] インジケータが点滅して電源が切れます。

## プロジェクターの電源が切れて全てのインジケータが点灯・点滅しているとき

プロジェクター内部で異常が検出されると、プロジェクターの電源が切れ、[LAMP] インジケータが点灯し、その他のインジケータが点滅を始めます。このとき、リモコンの [ON] ボタンおよび本体の [POWER] ボタンで電源を入れることができなくなります。

このような時は、電源コードを一旦コンセントから抜いて電源を入れなおし、プロジェクターの動作を確認してください。再び電源が切れて [LAMP] インジケータが点灯し、その他のインジケータが点滅する場合は、プロジェクターの点検をお買い上げの販売店、または修理相談窓口にご依頼ください。電源コンセントを接続したまま放置しないでください。火災や事故の原因となります。

※ エアフィルターカートリッジが本体にセットされていないとき、エアフィルターの巻き取り中に異常が起こったときにも全てのインジケータが点灯または点滅します。☞ 79 ページ

# インジケータ表示とプロジェクターの状態

プロジェクターの各インジケータはプロジェクターの動作状態を表示しています。ご使用中うまく動作しないなど、動作が不明なときは下表にしたがい各インジケータでプロジェクターの動作を確認してください。

また、インジケータはメンテナンスをお知らせします。プロジェクターをよりよい性能で長期間ご使用いただくために、これらのインジケータの指示にしたがって、適切なメンテナンスを行ってください。

インジケータの名称と点灯状態					プロジェクターの状態
POWER 緑	LAMP/ SHUTTER 赤/青	WARNING TEMP. 赤	WARNING FILTER 橙	LAMP REPLACE 橙	
					電源コードがコンセントから抜けています。
			-	-	プロジェクターは正常に動作しています。
	 (青点灯)	-	-	-	プロジェクターは正常に動作しています。 (シャッターを閉じている状態)
		-	-	-	ランプの冷却中です。スタンバイ状態になり、[POWER] インジケータが再度点灯するまで、[ON] または [POWER] ボタンを押して始動することはできません。
		-	-	-	プロジェクターはスタンバイ状態です。 [ON] または、[POWER] ボタンを押すと動作します。
		-	-	-	パワーマネジメントが働いて、ランプを冷却しています。 ランプの冷却が完了するまでプロジェクターを始動することはできません。
		-	-	-	パワーマネジメントが働いて、スタンバイ状態になりました。プロジェクターを操作するとランプが点灯し、プロジェクターが動作をはじめます。
			-	-	プロジェクター内部の温度が高くなっています。 [WARNING TEMP.] インジケータがゆっくりとした点滅を始めます。エアフィルターの点検などを行ってください。
			-	-	プロジェクター内部の温度がさらに高くなったため、自動的に電源が切れてランプを冷却しています。 [WARNING TEMP.] インジケータが高速の点滅に変わり、[POWER] インジケータが消えます。[ON] または、[POWER] ボタンを押しても電源は入りません。
			-	-	冷却が完了し、正常の温度に戻りました。[ON] または [POWER] ボタンを押すと、[WARNING TEMP.] インジケータの点滅が消え、プロジェクターが動作します。 エアフィルターの点検などを行ってください。

インジケータの名称と点灯状態					プロジェクターの状態
POWER 緑	LAMP/ SHUTTER 赤/青	WARNING TEMP. 赤	WARNING FILTER 橙	LAMP REPLACE 橙	
					<p>プロジェクターの内部に異常が検出されました。[ON] または [POWER] ボタンを押しても電源は入りません。一度電源コードをコンセントから抜き、電源を入れなおしてください。再び電源が切れ、インジケータが点灯するときは、電源コードをコンセントから抜き、点検と修理をお客さまご相談窓口へご依頼ください。点灯したままで放置しないでください。火災や感電の原因となります。</p> <p>エアフィルターカートリッジが本体にセットされていないか、エアフィルターの巻き取りに異常が発生しました。エアフィルターカートリッジが本体にきちんとセットされているか確認してください。</p>
	-	-		-	<p>画面右上に  の表示があるときは、「セッティング」メニューの「フィルターカウンター」で設定した時間に達したことをお知らせしています。なお  の表示の場合は、設定時間に達したことに加えて、巻き取り回数の残りが「0」であることをお知らせしています。エアフィルターカートリッジを交換してください。</p> <p>画面右上に  の表示があるときは、エアフィルターに目詰まりが発生し、かつ巻き取り回数の残りが「0」であることをお知らせしています。エアフィルターカートリッジを交換してください。</p> <p>※「FREEZE」(P.36 ページ)が動作中のときは、画面表示はありません。</p>
	-	-		-	エアフィルターを巻き取っています。

**インジケータの状態**

・・・点灯   
 ・・・暗点灯   
 ・・・消灯   
 ・・・点滅 (約1秒間隔)  
・・・ゆっくりとした点滅 (約2秒間隔)   
 ・・・速い点滅 (約0.5秒間隔)

<ご注意>

- ・ [LAMP/SHUTTER] インジケータは、ランプに関するお知らせは赤色で、シャッターに関するお知らせは青色で点灯・点滅します。表中、色の指定が無い場合には、赤色の点灯・点滅です。
- ・ 「-」で表されているインジケータは、点灯・点滅・消灯いずれの場合もあります。
- ・ [WARNING FILTER] インジケータと [LAMP REPLACE] インジケータは、点灯または点滅する条件になったときには、他のインジケータの状態に関係なく点灯または点滅します。

インジケータの名称と点灯状態					プロジェクターの状態
POWER 緑	LAMP/ SHUTTER 赤 / 青	WARNING TEMP. 赤	WARNING FILTER 橙	LAMP REPLACE 橙	
●	○	-	-	○ ☼	ランプが点灯しなかったため [LAMP REPLACE] インジケータが点滅し、ランプを冷却しています。ランプの冷却が完了してスタンバイ状態になるまでお待ちください。
○	○	-	-	○ ☼	ランプが点灯しなかったためランプを冷却していましたが、冷却が完了してスタンバイ状態になりました。[ON] または [POWER] ボタンを押すと、[LAMP REPLACE] インジケータの点滅が消え、プロジェクターが動作します。
-	-	-	-	○	ランプ交換推奨時間がすでに経過し、ランプの寿命です。また、画面右上にも (🔧) を表示して交換をお知らせします。速やかにランプを交換した後、ランプカウンターをリセットしてください。ランプカウンターをリセットすると、[LAMP REPLACE] インジケータが消えます。
●	○ ☼ (青と暗赤が交互に点灯)	●	-	-	シャッターマネージメントで設定した時間が経過し、プロジェクターの電源が自動的にオフになりました。ランプを冷却しています。[POWER] インジケータが再度点灯してから、[ON] または [POWER] ボタンを押してください。
○	○ ☼ (青と暗赤が交互に点灯)	●	-	-	シャッターマネージメントによる自動電源オフの後、ランプの冷却が完了しました。[ON] または [POWER] ボタンを押すと、[LAMP/SHUTTER] インジケータの点滅が消え、プロジェクターが動作します。
●	○ ☼ (青と暗赤が交互に点灯)	●	-	-	シャッターに異常が発生し、プロジェクターの保護のために電源が自動的にオフになりました。ランプを冷却しています。[POWER] インジケータが再度点灯してから、[ON] または [POWER] ボタンを押してください。
○	○ ☼ (青と暗赤が交互に点灯)	●	-	-	シャッター異常による自動電源オフの後、ランプの冷却が完了し、スタンバイ状態になりました。[ON] または [POWER] ボタンを押すと、[LAMP/SHUTTER] インジケータの点滅が消え、プロジェクターが動作します。
-	○ ☼ (青と暗赤が交互に点灯)	-	-	-	シャッターに異常が発生し、シャッターを開閉できません。自動的に電源をオフにしてランプを冷却します。ランプの冷却が完了して [POWER] インジケータが再度点灯した後、[ON] または [POWER] ボタンを押してもプロジェクターが動作しない場合には、再度ランプを冷却します。プロジェクターが動作しない場合には、点検と修理をお客さまご相談窓口へご依頼ください。

インジケータの状態	
○ . . . 点灯	● . . . 暗点灯
● . . . 消灯	○☼ . . . 点滅 (約1秒間隔)
○☼ . . . ゆっくりとした点滅 (約2秒間隔)	○☼ . . . 速い点滅 (約0.5秒間隔)




# 故障かなと思ったら

アフターサービスを依頼される前に、次のことをお確かめください。また、「インフォメーション」メニューで、信号の状況やセッティングの状況をお確かめください。

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
電源・初期設定	電源が入らない	<input type="checkbox"/> 電源コードは接続されていますか。	29
		<input type="checkbox"/> 電源は入っていますか。[ON] または [POWER] ボタンを押してみてください。	31
		<input type="checkbox"/> [POWER] インジケータが消えているときは、[ON] または [POWER] ボタンを押しても電源が入りません。	31
		<input type="checkbox"/> [WARNING TEMP.] インジケータが赤く点滅しているときは、内部の温度が過度に高くなっており、[ON] または [POWER] ボタンを押しても保護のため電源は入りません。温度が下がるまでお待ちください。	77
		<input type="checkbox"/> 「キーロック」が働いていませんか。[ON] または [POWER] ボタンを押してみてください。	65 ~ 66
	<input type="checkbox"/> エアフィルターカートリッジが本体にセットされていますか。本体を確認してみてください。	75 ~ 76	
	電源を入れたら、暗証番号を要求された	<input type="checkbox"/> 「暗証番号ロック」が設定されています。登録した（または工場出荷時の）暗証番号を入力してください。解除または設定の変更は「セッティング」の「暗証番号ロック」を確認してください。	66 ~ 67
オープニング	オープニング画面が表示されない	<input type="checkbox"/> 「オンスクリーン表示」が「オフ」または「カウントダウンオフ」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	58
	オープニング画面が初期設定の画像と違う	<input type="checkbox"/> 「ロゴ選択」が「ユーザー」または「オフ」になっていませんか。「セッティング」メニューの「ロゴ」を確認してください。	59
	インプットモードとランプモード以外の表示が現れた	<input type="checkbox"/> ランプまたはエアフィルターの状態をお知らせしています。ランプまたはエアフィルターを確認してください。	73 ~ 74 75 ~ 76
画像・画質	画像が映らない	<input type="checkbox"/> ビデオ機器やコンピュータは正しく接続されていますか。接続を確認してください。	26 ~ 27
		<input type="checkbox"/> 電源を入れたあとの約 30 秒間はオープニング画面が表示され、画像は映せません。（「オンスクリーン表示」が「カウントダウンオフ」または「オフ」のときをのぞく）	58
		<input type="checkbox"/> 入力信号の種類、カラーシステムや走査方式、またはコンピュータのシステムモードは合っていますか。	44 ~ 48
		<input type="checkbox"/> 使用温度範囲（5℃～40℃）から外れていませんか。	10
		<input type="checkbox"/> シャッターが閉じていませんか。[LAMP/SHUTTER] インジケータが青く点灯していないか確認し、操作パネルまたはリモコンの [SHUTTER] ボタンを押してみてください。	17、19、38
		<input type="checkbox"/> コンピュータが外部出力に切り換わっていますか。出力の切り換えはコンピュータの使用説明書を確認してください。	26
		<input type="checkbox"/> コンピュータを再起動してください。	—
	画像が不鮮明	<input type="checkbox"/> フォーカスは合っていますか。フォーカスを合わせてください。	34
		<input type="checkbox"/> スクリーンとの距離がフォーカスの合う範囲から外れていませんか。	—
		<input type="checkbox"/> スクリーンに対して過度に斜めに投写しているときは、画面に台形ひずみ（あおり）ができ、部分的にフォーカスが合わなくなることがあります。	24
<input type="checkbox"/> 温度の低い所から急に暖かい所へ持ち込んだとき、空気中の水分がレンズやミラーに結露し、画像がぼやけることがあります。しばらくすると通常の画像に戻ります。		10	
<input type="checkbox"/> レンズが汚れたり、くもってはいませんか。レンズのお手入れをしてください。		73	

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
画像・画質 (つぎ)	画像が暗い	<input type="checkbox"/> 「コントラスト」や「明るさ」が、正しく調整されていますか。「コントラスト」や「明るさ」を、正しく調整してみてください。	50
		<input type="checkbox"/> 「イメージモード」が、正しく選択されていますか。「イメージ選択」メニューを確認してみてください。	49
		<input type="checkbox"/> ランプモードで「エコ1 (または2) モード」になっていませんか。「エコ1 (または2) モード」は、他のモードよりも暗くなります。	61
		<input type="checkbox"/> ランプの交換時期が来ていませんか。ランプの輝度は寿命が近づくとつれてだんだん暗くなる性質があります。「ランプ交換」のお知らせ表示が出たら、新しいランプに交換してください。	73 ~ 74
		<input type="checkbox"/> レンズシフト機能で画面位置を変えたときは、多少画面が暗くなることがあります。	34
	画像の色がおかしい	<input type="checkbox"/> 入力信号の種類、カラーシステムや走査方式、またはコンピュータのシステムモードは合っていますか。また、「イメージ調整」を確認してください。	44 ~ 52
映像が左右 (上下) 逆さまに映っている	<input type="checkbox"/> 「天吊り」または「リア投射」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	56	
画像がゆがんだり、切れたりしている	<input type="checkbox"/> 「PC 調整」や「アスペクト」メニューを確認・調整してください。	46 ~ 48 53 ~ 55	
画像の端がゆがんで見える	<input type="checkbox"/> 「レンズシフト」を最大まで動かしていませんか。「レンズシフト」を確認してください。	34	
リモコン	リモコンで操作できない	<input type="checkbox"/> 電池は正しく入っていますか。＋を正しく入れてください。	19 ~ 20
		<input type="checkbox"/> 電池がなくなっていないですか。新しい電池と交換してください。	19 ~ 20
		<input type="checkbox"/> 本体のリモコン受光部とリモコンの間に障害物はないですか？リモコンはリモコン受光部に向けて操作してください。また、間に障害物があれば移動させてください。	20
		<input type="checkbox"/> リモコンの [ALL OFF] スイッチが「ON」側になっているか確認してください。	20
		<input type="checkbox"/> リモコンの受信範囲から外れていませんか。受信範囲で操作してください。	20
		<input type="checkbox"/> リモコンコードを切り換えていませんか。リモコンコードを確認してください。	20
		<input type="checkbox"/> リモコンケーブルが本体またはリモコンに接続されていませんか。ケーブルが接続されているとワイヤレスリモコンとしては働きません。	20
		<input type="checkbox"/> 「キーロック」でリモコンからの操作をロックしていませんか。操作パネルから「セッティング」メニューの「セキュリティ」を確認してください。	65 ~ 66
		<input type="checkbox"/> 「リモコン受光部」を前面または後面のいずれか単独にセットしていませんか。	64
	コンピュータのワイヤレスマウスとして動作しない	<input type="checkbox"/> USB ケーブルは正しく接続されていますか。	72
<input type="checkbox"/> 接続するコンピュータにマウスドライバがインストールされていますか。ワイヤレスマウスとして使うにはコンピュータにマウスドライバがインストールされている必要があります。		72	
<input type="checkbox"/> コンピュータ入力を選択されていますか。ワイヤレスマウスとして使えるのは、「インプット 1」の「RGB (PC アナログ)」、「RGB (PC デジタル)」、「RGB (AV HDCP)」あるいは「インプット 2」の「RGB」のいずれかが選択されているときです。		72	
<input type="checkbox"/> 一旦電源を切り、プロジェクターの電源を先に入れてから、コンピュータを立ち上げてみてください。		72	

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
音声	音声出力されない	<input type="checkbox"/> コンピュータやビデオ機器の音声は正しく接続されていますか。接続を確認してください。	28
		<input type="checkbox"/> 音量が最小になっていませんか。[VOLUME +] ボタンを押してみてください。	39
		<input type="checkbox"/> 消音状態になっていませんか。[MUTE] ボタンを押すか、[VOLUME +] ボタンを押してみてください。	39
		<input type="checkbox"/> 「インプット」で選択した信号の映像が投写されていますか。接続していても映像が投写されていなければ音は出ません。接続を確認してください。	26～27 42～43
		<input type="checkbox"/> 「インプットパターン」で設定したインプットと音声入力のリミットに間違いはありませんか。「インプットパターン」の設定を確認してください。	39
設定・操作・調整	「自動 PC 調整」が働かない	<input type="checkbox"/> システムメニューで 480p、575p、720p、480i、575i、1035i、1080i が選択されているときは「自動 PC 調整」は働きません。入力信号を確認してください。	46
		<input type="checkbox"/> 入力信号がデジタルのときは「PC 調整」メニューは選択できません。	46
	表示されない機能がある	<input type="checkbox"/> 「オンスクリーン表示」が「オフ」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	58
	電源を切る前の設定が残っていない	<input type="checkbox"/> 項目の調整後「メモリー」で登録を実行しましたか。調整後の項目は「メモリー」で登録しないと保存されません。	47、50、56
	「パワーマネージメント」が働かない	<input type="checkbox"/> 「FREEZE」が動作中のとき、あるいはシャッターを閉じて投写画面を遮断しているときは「パワーマネージメント」は動作しません。	36、64、68
	「キャプチャー」が働かない	<input type="checkbox"/> 無信号状態ではないですか。接続および信号を確認してください。	59
		<input type="checkbox"/> 「キャプチャー」を使用できる入力信号は限られています。入力信号の種類を確認してください。	59
	自動的に電源が切れる	<input type="checkbox"/> 工場出荷時の初期設定で、「パワーマネージメント」機能が設定されています。「セッティング」を確認してください。	64
<input type="checkbox"/> (脚) が表示された後、エアフィルターカートリッジの交換とフィルターカウンターのリセットを行わずに使用を続けた場合には、光学部品を保護するために電源オンから3分経過すると自動的に電源オフになります。エアフィルターカートリッジの交換とフィルターカウンターのリセットを行ってください。		75～76	
選択できないメニューがある	<input type="checkbox"/> コンピュータ入力画面とビデオ入力画面では、選択できるメニューにそれぞれ制限があります。制限されているメニューは灰色で表示され選択できません。	41	
操作パネルで操作できない	<input type="checkbox"/> 「キーロック」で操作パネルからの操作をロックしていませんか。リモコンから「セッティング」を確認してください。	65	
その他	インジケータが点滅・点灯している	<input type="checkbox"/> 「インジケータ表示とプロジェクターの状態」で、プロジェクターの動作を確認してください。	78～80
	キーロックの解除ができない ロゴ暗証番号、暗証番号を忘れた	<input type="checkbox"/> 解除方法を確認してください。	71
	ボタンを押したのに  が表示された	<input type="checkbox"/> プロジェクターがその操作を受け付けられないことをお知らせする表示です。接続や入力信号を確認してみてください。また、リモコンをシンプルモードに設定している場合に、シンプルモード非対応のボタンを押したときにも表示されます。	63

# 付録

## コンピュータシステムモード一覧

### コンピュータの信号がアナログの場合

プロジェクターにはあらかじめ以下のシステムモードが用意されています。（「カスタムモード1～10」は含みません。）  
接続されたコンピュータの信号を判別して、プロジェクターが以下のシステムモードを自動で選択します。

システムモード	解像度	水平周波数 (Khz)	垂直周波数 (Hz)
VGA 1	640 x 480	31.470	59.880
VGA 2	720 x 400	31.470	70.090
VGA 3	640 x 400	31.470	70.090
VGA 4	640 x 480	37.860	74.380
VGA 5	640 x 480	37.860	72.810
VGA 6	640 x 480	37.500	75.000
VGA 7	640 x 480	43.269	85.000
MAC LC13	640 x 480	34.970	66.600
MAC 13	640 x 480	35.000	66.670
480p	640 x 480	31.470	59.880
575p	768 x 575	31.250	50.000
575i	768 x 575	15.625	50.000
480i	640 x 480	15.734	60.000
SVGA 1	800 x 600	35.156	56.250
SVGA 2	800 x 600	37.880	60.320
SVGA 3	800 x 600	46.875	75.000
SVGA 4	800 x 600	53.674	85.060
SVGA 5	800 x 600	48.080	72.190
SVGA 6	800 x 600	37.900	61.030
SVGA 7	800 x 600	34.500	55.380
SVGA 8	800 x 600	38.000	60.510
SVGA 9	800 x 600	38.600	60.310
SVGA 10	800 x 600	32.700	51.090
SVGA 11	800 x 600	38.000	60.510
MAC 16	832 x 624	49.720	74.550
XGA 1	1024 x 768	48.360	60.000
XGA 2	1024 x 768	68.677	84.997
XGA 3	1024 x 768	60.023	75.030
XGA 4	1024 x 768	56.476	70.070
XGA 5	1024 x 768	60.310	74.920
XGA 6	1024 x 768	48.500	60.020
XGA 7	1024 x 768	44.000	54.580
XGA 8	1024 x 768	63.480	79.350
XGA 9	1024 x 768	36.000	87.170
XGA 10	1024 x 768	62.040	77.070
XGA 11	1024 x 768	61.000	75.700
XGA 12	1024 x 768	35.522	86.960
XGA 13	1024 x 768	46.900	58.200
XGA 14	1024 x 768	47.000	58.300
XGA 15	1024 x 768	58.030	72.000
MAC 19	1024 x 768	60.240	75.080
SXGA 1	1152 x 864	64.200	70.400
SXGA 2	1280 x 1024	62.500	58.600
SXGA 3	1280 x 1024	63.900	60.000
SXGA 4	1280 x 1024	63.340	59.980

システムモード	解像度	水平周波数 (Khz)	垂直周波数 (Hz)
SXGA 5	1280 x 1024	63.740	60.010
SXGA 6	1280 x 1024	71.690	67.190
SXGA 7	1280 x 1024	81.130	76.107
SXGA 8	1280 x 1024	63.980	60.020
SXGA 9	1280 x 1024	79.976	75.025
SXGA 10	1280 x 960	60.000	60.000
SXGA 11	1152 x 900	61.200	65.200
SXGA 12	1152 x 900	71.400	75.600
SXGA 13	1280 x 1024	50.000	86.000
SXGA 14	1280 x 1024	50.000	94.000
SXGA 15	1280 x 1024	63.370	60.010
SXGA 16	1280 x 1024	76.970	72.000
SXGA 17	1152 x 900	61.850	66.000
SXGA 18	1280 x 1024	46.430	86.700
SXGA 19	1280 x 1024	63.790	60.180
SXGA 20	1280 x 1024	91.146	85.024
SXGA+ 1	1400 x 1050	63.970	60.190
SXGA+ 2	1400 x 1050	65.350	60.120
SXGA+ 3	1400 x 1050	65.120	59.900
SXGA+ 4	1400 x 1050	64.030	60.010
SXGA+ 5	1400 x 1050	62.500	58.600
MAC 21	1152 x 870	68.680	75.060
MAC	1280 x 960	75.000	75.080
MAC	1280 x 1024	80.000	75.080
WXGA 1	1366 x 768	48.360	60.000
WXGA 2	1360 x 768	47.700	60.000
WXGA 3	1376 x 768	48.360	60.000
WXGA 4	1360 x 768	56.160	72.000
WXGA 6	1280 x 768	47.776	59.870
WXGA 7	1280 x 768	60.289	74.893
WXGA 8	1280 x 768	68.633	84.837
WXGA 9	1280 x 800	49.600	60.050
WXGA 10	1280 x 800	41.200	50.000
WXGA 11	1280 x 800	49.702	59.810
WUXGA 1	1920 x 1200	74.556	59.885
WSXGA+ 1	1680 x 1050	65.290	59.954
WXGA+ 1	1440 x 900	55.935	59.887
UXGA 1	1600 x 1200	75.000	60.000
UXGA 2	1600 x 1200	81.250	65.000
UXGA 3	1600 x 1200	87.500	70.000
UXGA 4	1600 x 1200	93.750	75.000
720p	1280 x 720	45.000	60.000
720p	1280 x 720	37.500	50.000
1035i	1920 x 1035	33.750	60.000
1080i	1920 x 1080	33.750	60.000
1080i	1920 x 1080	28.125	50.000

## コンピューターの信号がデジタルの場合

DVI 入力端子からデジタル信号を入力する場合、以下のシステムモードに対応しています。

システムモード	解像度	水平周波数 (Khz)	垂直周波数 (Hz)	システムモード	解像度	水平周波数 (Khz)	垂直周波数 (Hz)
D-VGA	640 x 480	31.470	59.940	D-WXGA 10	1280 x 800	41.200	50.000
D-480p	720 x 480	31.470	59.880	D-WXGA 11	1280 x 800	49.702	59.810
D-575p	720 x 575	31.250	50.000	D-SXGA 2	1280 x 1024	60.276	58.069
D-SVGA	800 x 600	37.879	60.320	D-SXGA 3	1280 x 1024	31.650	29.800
D-XGA	1024 x 768	43.363	60.000	D-WXGA+ 1	1440 x 900	55.935	59.887
D-WXGA 1	1366 x 768	48.360	60.000	D-720p	1280 x 720	45.000	60.000
D-WXGA 2	1360 x 768	47.700	60.000	D-720p	1280 x 720	37.500	50.000
D-WXGA 3	1376 x 768	48.360	60.000	D-1035i	1920 x 1035	33.750	60.000
D-WXGA 4	1360 x 768	56.160	72.000	D-1080i	1920 x 1080	33.750	60.000
D-WXGA 5	1366 x 768	46.500	50.000	D-1080i	1920 x 1080	28.125	50.000
D-WXGA 6	1280 x 768	47.776	59.870	D-1080psf/30	1920 x 1080	33.750	60.000
D-WXGA 7	1280 x 768	60.289	74.893	D-1080psf/25	1920 x 1080	28.125	50.000
D-WXGA 9	1280 x 800	49.600	60.050	D-1080psf/24	1920 x 1080	27.000	48.000

\* i

\* i

\* i

※ 仕様は改善のため予告なしに変更する場合があります。

※ ドットクロックが 180MHz 以上のコンピュータの信号には対応しておりません。

※ ご使用のコンピュータによっては、D-WXGA 1 ~ D-WXGA+ 1 の画像は正しく映らない場合があります。

※ SXGA 以上の解像度の信号 (SXGA、WXGA、UXGA、MAC21、MAC、720p、1035i、1080i) を投写するときは、線や文字がオリジナルの画像と異なることがあります。

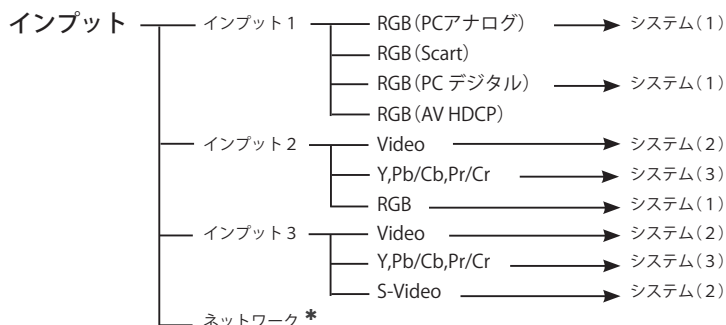
\* i : インターレース信号

\* 1 : 「PC 調整」メニュー内で調整できないメニューが生じる場合があります。

\* 2 : 「画面サイズ：リアル」には対応していません。

# メニュー内容一覧

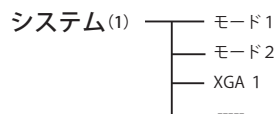
## インプット



\* Network Imager 接続時に表示されます。

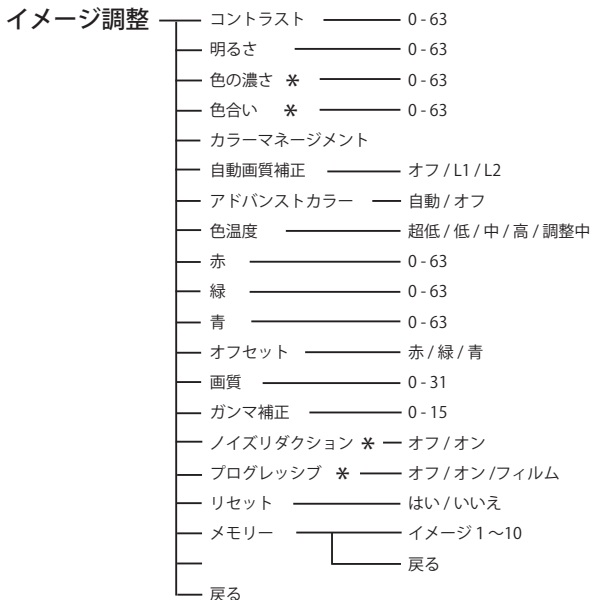
## システム (コンピュータ入力)

### SVGA 1



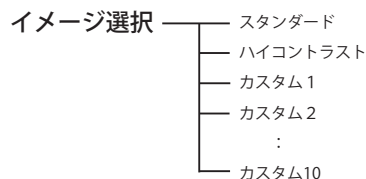
※ 表示される内容は、入力された信号によって異なります。

## イメージ調整

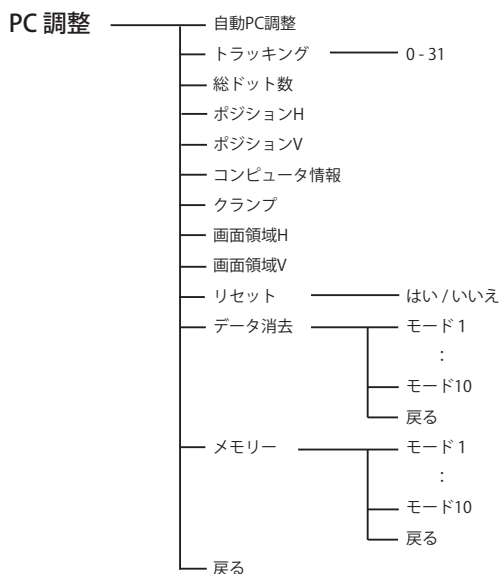


\* ビデオ入力時のみ選択できます。

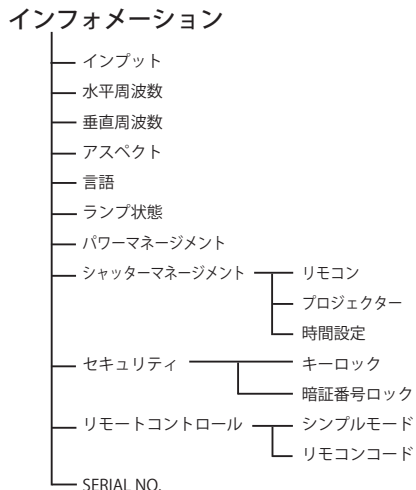
## イメージ選択 (コンピュータ入力)



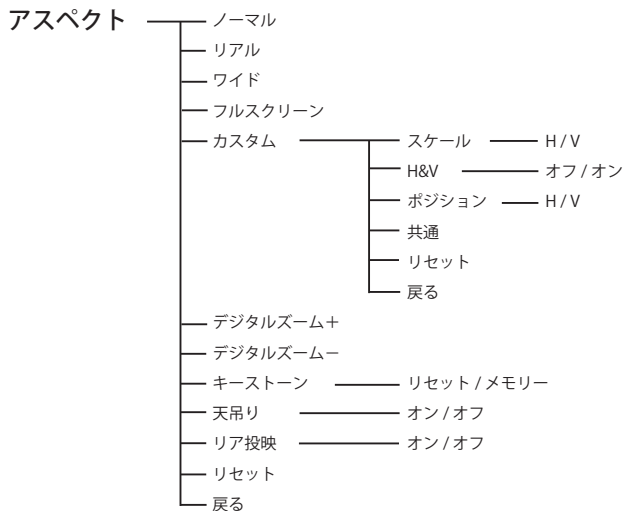
## PC 調整 (コンピュータ入力)



## インフォメーション



## アスペクト (コンピュータ入力)



### システム (ビデオ入力)

#### Auto

- システム (2)
  - Auto
  - PAL
  - SECAM
  - NTSC
  - NTSC 4.43
  - PAL-M
  - PAL-N

#### Auto

- システム (3)
  - Auto
  - 1080i
  - 1035i
  - 720p
  - 575p
  - 480p
  - 575i
  - 480i

### イメージ選択 (ビデオ入力)



- イメージ選択
  - スタンダード
  - シネマ
  - カスタム 1
  - カスタム 2
  - ：
  - カスタム 10

### アスペクト (ビデオ入力)



- アスペクト
  - ノーマル
  - ワイド
  - カスタム
    - スケール — H/V
    - H&V — オフ/オン
    - ポジション — H/V
    - 共通
    - リセット
    - 戻る
  - キーストーン — リセット/メモリー
  - 天吊り — オン/オフ
  - リア投映 — オン/オフ
  - リセット
  - 戻る

### サウンド



- サウンド
  - 音量 — 0～63
  - 消音 — オン/オフ
  - インプットパターン
  - 戻る

※ インプットがネットワークのとき、サウンドは選択できません。

### セッティング



#### セッティング (第1画面)

- 言語
  - 英語 — オランダ語
  - ドイツ語 — スウェーデン語
  - フランス語 — ロシア語
  - イタリア語 — 中国語
  - スペイン語 — 韓国語
  - ポルトガル語 — 日本語
  - 戻る
- メニュー — 位置/シンプルメニュー
- オンスクリーン表示 — オフ/カウントダウンオフ/オン
- バックグラウンド — 青/ユーザー/黒
- ロゴ
  - ロゴ選択 — オフ/初期設定/ユーザー
  - キャプチャー — はい/いいえ
  - ロゴ暗証番号ロック
    - オン/オフ
    - ロゴ暗証番号変更
    - 戻る
  - 戻る
- ランプモード — オート/ノーマル/エコ1/エコ2
- フィルター制御 — はい/いいえ
- ファン制御 — ノーマル/マックス



#### セッティング (第2画面)

- リモートコントロール
  - シンプルモード
  - コード 1～8
  - 戻る
- リモコン受光部 — 両方/前/後
- パワーマネージメント
  - オフ/待機/シャットダウン
  - 1～30(タイマー:分)
  - 戻る
- オンスタート — オン/オフ
- ポインタ — 十字/矢印/丸(赤色)
- セキュリティ
  - キーロック — オフ
  - 暗証番号ロック
    - プロジェクト
    - リモコン
    - オフ/オン1/オン2
    - 暗証番号変更
    - 戻る
  - 戻る



#### セッティング (第3画面)

- シャッター
  - 保護 — リモコン
  - 時間設定 — プロジェクター
  - 5～180(分)
  - 戻る
- ランプカウンター — 時間(使用時間)
- リセット — はい/いいえ
- 戻る
- フィルターカウンター
  - 使用時間 — 時間(使用時間)
  - オフ/400時間/700時間/1000時間
  - リセット — はい/いいえ
  - 戻る
  - スクロール残回数 — スクロール(残回数)
  - リセット — はい/いいえ
  - 戻る
- 戻る
- テストパターン — 8種類のパターン
- 初期設定 — はい/いいえ
- 戻る

# 仕様

## プロジェクター本体

型名	LV-7590
種類	液晶プロジェクター
表示方式	液晶パネル 3枚 3原色光シャッター方式
液晶パネル	サイズ：1.3型（×3枚） アスペクト比：4：3 駆動方式：ポリシリコン TFT アクティブマトリクス方式 画素配列：ストライプ、画素数：786,432画素（1,024×768）×3枚 総画素数：2,359,296画素（786,432×3）
光源	330W NSHA ランプ
ズーム/フォーカス調整	電動（電動式レンズの場合）
画面サイズ（投写距離）	最小31型～最大400型（投写距離はレンズにより異なります）
INPUT 1	DVI 入力（1系統）：DVI-D コネクター（24ピン）、HDCP 対応 デジタル：TMDS（Transition Minimized Differential Signaling） アナログ RGB 入力（2系統）：ミニ D-sub 15ピン、BNC × 5ピン アナログ RGB 信号：0.7Vp-p、正極性、インピーダンス 75Ω 水平・垂直同期：TTL レベル、負または正極性 （G 信号中のコンポジット同期：0.3Vp-p、負極性、インピーダンス 75Ω）
INPUT 2	コンポーネント：セパレート Y/Cb/Pb Cr/Pr 信号、BNC × 5ピン Y：1Vp-p、同期負、インピーダンス 75Ω Cb/Pb：0.7Vp-p、インピーダンス 75Ω Cr/Pr：0.7Vp-p、インピーダンス 75Ω
INPUT 3	映像：ピンジャック、1Vp-p、同期負、インピーダンス 75Ω S 映像：セパレート YC 信号、ミニ DIN 4ピン Y：1Vp-p、同期負、インピーダンス 75Ω C：0.286Vp-p（バースト信号）、インピーダンス 75Ω
MONITOR OUT	アナログ RGB 出力（1系統）：D-sub 15ピン
音声入出力 ・ AUDIO IN ・ AUDIO OUT	音声入力（2系統）：ミニジャック（ステレオ）、400mVrms、インピーダンス 47KΩ以上 音声出力（2系統兼用）：ミニジャック（ステレオ）、可変出力、インピーダンス 1KΩ以下
制御入出力、他	コントロールポート：D-sub 9ピン USB 端子：USB コネクター（1系統：シリーズ B） ワイヤードリモコン端子：ミニジャック Network Imager コネクター
入力対応走査周波数	水平 15kHz～100kHz、垂直 48～100Hz、ドットクロック 180MHz 以下
カラーシステム	6システム（NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N）
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	499W/24.5W（待機中消費電力）
本体寸法	幅 370.0×高さ 187.0×奥行 439.9mm（調整脚を含む）
質量	11.4Kg（レンズを含まず）

※ 高調波電流規格 JIS C 61000-3-2:2005 適合品

※ 液晶パネルの有効画素数は 99.99 %以上です。投写中、0.01%以下の点灯したままの点や、消灯したままの点が見られる場合があります。これは液晶パネルの特性で生じるもので故障ではありません。

※ HDCP とは、High-bandwidth Digital Contents Protection の略称で、DVI を経由して送られるデジタル映像の不正コピーを防止することを目的とした著作権保護システムのことです。HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。本機の DVI-D 入力端子は、HDCP 技術を用いてコピープロテクトされたデジタル映像を再生、投写することができます。HDCP の規格変更等が行われた場合、これら HDCP 技術でコピープロテクトされたデジタル映像の DVI-D 端子での再生はできなくなる場合があります。

### 各プロジェクターによって色味が異なります

各プロジェクターはそれぞれ異なる特性を持っています。複数台のプロジェクターを用いて同じスクリーン上、または隣り合わせで投写される場合、プロジェクターのホワイトバランスや色味の違いが感じられます。これは各プロジェクター固有の特性によるものでプロジェクターの故障ではありません



## リモコン

電 源	DC3.0V 単四形アルカリ乾電池 2本使用
到達距離	約 5 m (受光部正面)
本体寸法	幅 45.0mm × 高さ 25.0mm × 奥行 145.0mm
質 量	99g (電池を含む)

## 付属品

- リモコン (MXBY) ..... 1 個
- リモコン用 アルカリ乾電池 ..... 2 本
- 電源コード ..... 1 本
- 電源プラグアダプタ ..... 1 個
- USB ケーブル ..... 1 本
- コンピューター接続ケーブル (D-sub 用) ..... 1 本
- スペーサー ..... 3 種類、各 4 枚
- 遮光プレート ..... 2 枚
- レンズ取付金具とネジ ..... 金具 1 個、ネジ 8 本
- PIN コードラベル ..... 1 枚
- 使用説明書 ..... 1 冊
- 保証書

## 別売品

- 高天井用天吊金具 ..... 品番：LV-CL14
- 低天井用天吊金具 ..... 品番：LV-CL13
- 標準ズームレンズ ..... 品番：LV-IL05
- 超長焦点ズームレンズ ..... 品番：LV-IL04
- 長焦点ズームレンズ ..... 品番：LV-IL03
- 短焦点ズームレンズ ..... 品番：LV-IL02
- 固定・短焦点ズームレンズ ..... 品番：LV-IL01
- Network Imager ..... 品番：LV-NI03

## ●レンズ交換について

本機はオプションレンズを使用することにより、レンズを交換して使用することができます。レンズの取り付け・交換は、安全のため専門の販売技術員、または、サービス技術員にご相談ください。お客様自身での取り付け交換はしないでください。

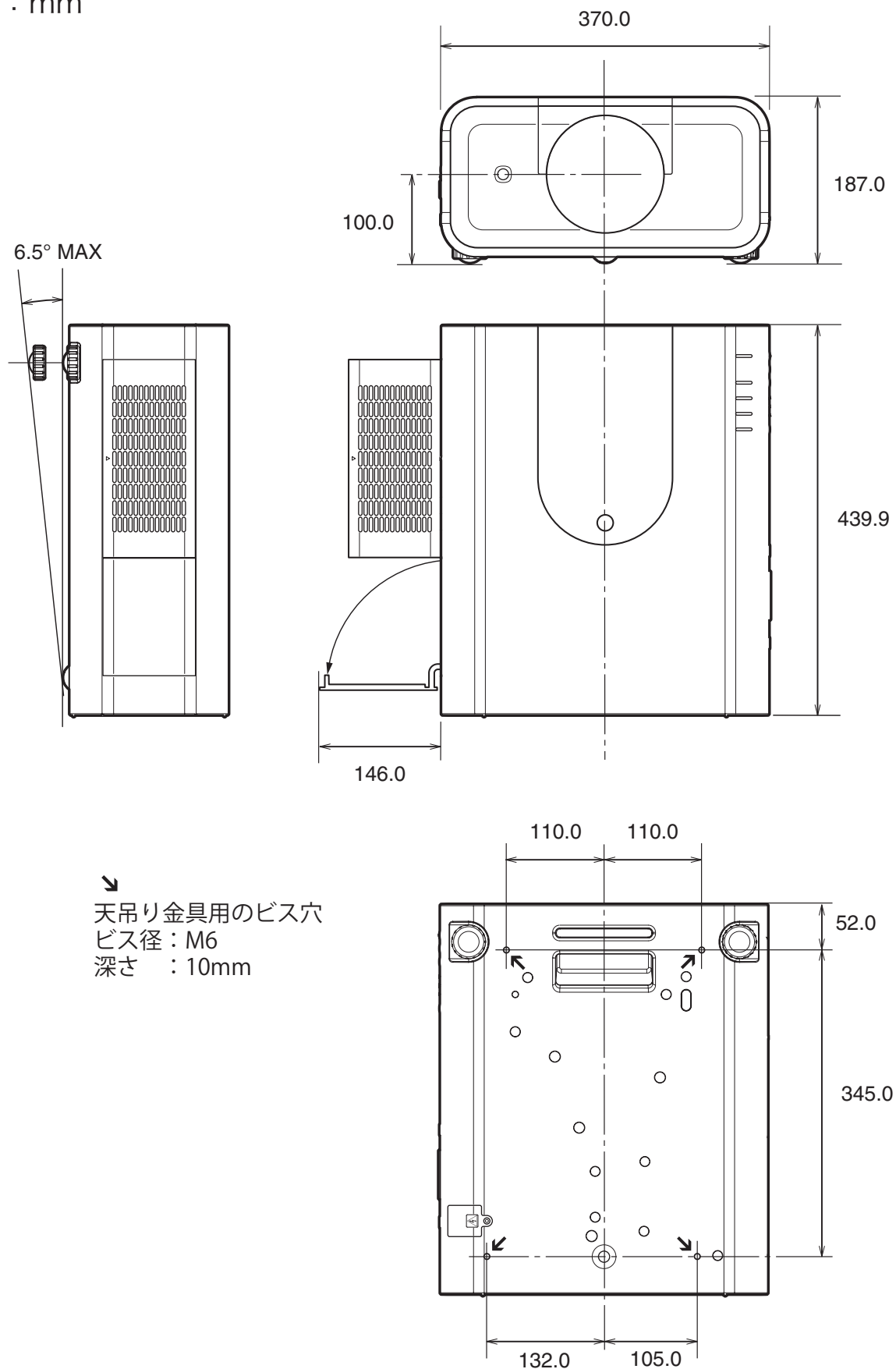
## ●販売技術員・サービス技術員の方へ

レンズの取り付け・交換は別冊のレンズ交換手順書にしたがい行ってください。レンズの取り付け・交換の前にレンズの品番を確認の上、正しいレンズをご使用ください。

- ※ このプロジェクターは日本国内用に設計されております。電源電圧が異なる外国ではお使いいただけません。
- ※ 仕様および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。
- ※ 説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標です。

# 寸法図

単位：mm

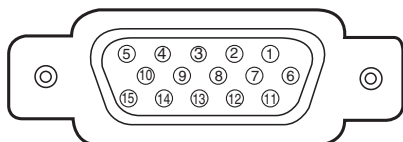


# 端子の仕様

## RGB-IN / MONITOR OUT (コンピュータ アナログ入力 / アナログ出力端子)

コンピュータからのアナログ RGB 出力を接続したり、コンピュータへアナログ RGB を出力する端子です。接続には付属のコンピュータ接続ケーブル (D-sub 用) を使用します。

### D-sub 15 ピン

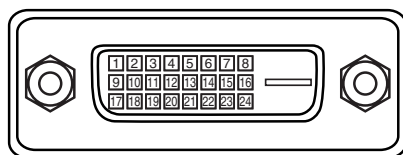


1	R 入出力	9	未接続
2	G 入出力	10	接地 (垂直同期)
3	B 入出力	11	接地 / 未接続
4	未接続	12	未接続
5	接地 (水平同期)	13	水平同期 入出力 (コボジット: 水平垂直同期)
6	接地 (R)	14	垂直同期 入出力
7	接地 (G)	15	未接続
8	接地 (B)		

## DVI-D IN (コンピュータ DVI-D 入力端子)

コンピュータからのデジタル (TMDS) 出力を接続する端子です。接続には別売 (p.89) のコンピュータ接続ケーブル (DVI-D 用) を使用します。

### DVI 24 ピン

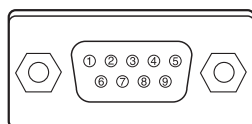


1	T.M.D.S. データ 2 -	13	未接続
2	T.M.D.S. データ 2 +	14	+ 5V パワー
3	T.M.D.S. データ 2 シールド	15	接地 (+ 5V)
4	未接続	16	ホットプラグ検知
5	未接続	17	T.M.D.S. データ 0 -
6	DDC クロック	18	T.M.D.S. データ 0 +
7	DDC データ	19	T.M.D.S. データ 0 シールド
8	未接続	20	未接続
9	T.M.D.S. データ 1 -	21	未接続
10	T.M.D.S. データ 1 +	22	T.M.D.S. クロック シールド
11	T.M.D.S. データ 1 シールド	23	T.M.D.S. クロック +
12	未接続	24	T.M.D.S. クロック -

## CONTROL (コントロールポート端子)

シリアルでコンピュータ機器からプロジェクターを操作するときに、コンピュータ機器との接続に使用する端子です。

### ミニ D-sub 9 ピン

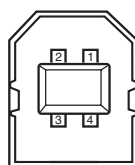


1	未接続	6	未接続
2	RXD	7	RTS
3	TXD	8	CTS
4	未接続	9	未接続
5	SG		

## USB (USB 用端子)

USB 規格対応 (シリーズ B) の端子を持つコンピュータ機器との接続に使用する端子です。

### USB コネクター (シリーズ B)



1	VCC (5V)
2	- DATA
3	+ DATA
4	接地

# シリアルコマンド一覧

RS-232C により、プロジェクターをパソコンから遠隔操作するための制御コマンドです。

## 接続の手順

- 1 RS-232C シリアルコントロールケーブルで、コンピュータのシリアルポートとプロジェクターの [CONTROL PORT] をつなぎます。
- 2 通信仕様を確認してください

項目	仕様
同期方式	調歩同期
通信速度	9600 / 19200
データ長	8 ビット
パリティ	なし
ストップビット	1
フロー制御	なし

※ 通信速度の初期状態は「19200」です。  
※ 通信エラーが発生するときはシリアルポートと通信速度を変更してみてください。

- 3 プロジェクターを制御するためのコマンドを入力し、[return (エンター)] キーを押してください。

<例>入力を「インプット 2」に変えたいとき  
“C” → “0” → “6” → [return]

※ コマンドを入力する英字はすべて大文字 (A ~ Z) です。小文字は使用できません。

## フォーマット (状態取得の場合)

- 1 パソコンなどからプロジェクターへ以下のコマンドを送ります。  
“CR” [コマンド] [CR]  
[コマンド]: 1 文字 (一覧を参照してください)
- 2 プロジェクターは受信コマンドを解析し、解析結果を返します。  
※ 受信したデータが解読不能な場合は、“?” [CR] を返します。

## 状態取得コマンド一覧表

コマンド	情報内容	戻り値	プロジェクターの状態
CR0	動作状況	00	パワーオン状態
		80	スタンバイ状態
		40	カウントダウン中
		20	クーリングダウン中
		10	電源異常状態
		28	温度異常でクーリングダウン中
		24	パワーセーブ・クーリングダウン中
		04	パワーセーブ状態
		21	ランプ不灯で OFF した場合のクーリングダウン中
		81	ランプ不灯でクーリングダウン後のスタンバイ状態
		88	温度異常が発生し、その後回復した状態
		2C	シャッターマネージメントで OFF した場合のクーリングダウン中
8C	シャッターマネージメントでクーリングダウン後のスタンバイ状態		
CR6	温度状況	S1、 S2、 S3	S1 = センサー 1 の温度 (°C)、S2 = センサー 2 の温度 (°C)、S3 = センサー 3 の温度 (°C) (例) S1 = 12.3°C, S2 = 23.4°C, S3 = 34.5°C のとき --> 表示は “ □ 12.3 _ □ 23.4 _ □ 34.5 ” 各センサーの温度が □ XX.X と表示され、各数値間は 1 スペース ( ) 空きます。温度がプラスの時、□ はスペースになり、温度がマイナスの時、□ は ( - ) になります。
-	-	?	受信不能のとき

※ 上記および右ページのテーブルはプロジェクターの制御、状態取得のための一般的なコマンドリストです。  
詳細なリストが必要なおきはお買い上げの販売店にご相談ください。

## フォーマット（機能実行の場合）

1 パソコンなどからプロジェクターへ以下のコマンドを送ります。

“C” [コマンド] [CR]

[コマンド]：2文字（一覧を参照してください）

2 プロジェクターは受信コマンドを解析し、受信できる状態になると以下の結果を返します。

[ACK] [CR]

※ 受信したデータが解読不能な場合は、“?” [CR] を返します。

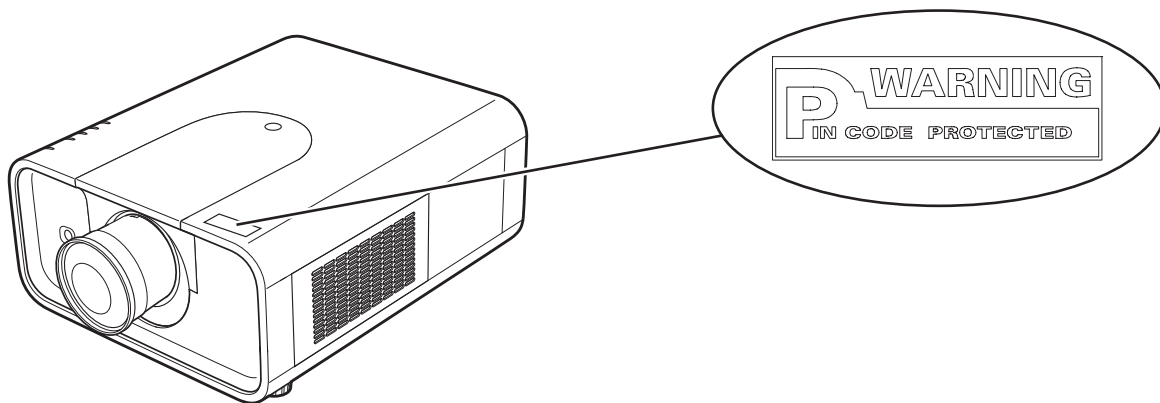
## 機能実行コマンド一覧表

コマンド	制御内容	コマンド	制御内容
C00	POWER ON	C3A	POINTER RIGHT
C01	POWER OFF ( 即 Power OFF )	C3B	POINTER LEFT
C02	POWER OFF	C3C	POINTER UP
C05	INPUT 1	C3D	POINTER DOWN
C06	INPUT 2	C3F	ENTER
C07	INPUT 3	C46	ZOOM -
C08	NETWORK	C47	ZOOM +
C09	VOLUME +	C4A	FOCUS -
C0A	VOLUME -	C4B	FOCUS +
C0B	SOUND MUTE ON	C50	INPUT 1 Analog RGB
C0C	SOUND MUTE OFF	C51	INPUT 1 SCART
C0D	VIDEO MUTE ON	C52	INPUT 1 DVI (PC Digital)
C0E	VIDEO MUTE OFF	C53	INPUT 1 DVI (AV HDCP)
C0F	SCREEN NORMAL SIZE ( 4:3 )	C5D	Lens Shift Up
C10	SCREEN WIDE SIZE ( 16:9 )	C5E	Lens Shift Down
C1C	MENU ON	C5F	Lens Shift Left
C1D	MENU OFF	C60	Lens Shift Right
C20	BRIGHTNESS +	C89	Auto PC ADJ.
C21	BRIGHTNESS -	C8E	KEystone ↑
C23	INPUT 2 Video	C8F	KEystone ↓
C24	INPUT 2 Y, Pb/Cb,Pr/Cr	C90	KEystone →
C25	INPUT 2 RGB	C91	KEystone ←
C28	ON START Enable		
C29	ON START Disable		
C33	INPUT 3 Video		
C34	INPUT 3 S-video		
C35	INPUT 3 Y, Pb/Cb,Pr/Cr		

# 暗証番号について

## 暗証番号が登録されていることをシールでわかるようにしましょう

暗証番号を登録して暗証番号を有効にしているとき、暗証番号が登録されていることが一目でわかるように付属のシールを本体の目立つところに貼り付けます。



# PJ Link について

このプロジェクターは JBMIA (Japan Business Machine and Information System Industries Association：社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会) の PJLink 標準定義の Class1 に準拠しています。このプロジェクターは、PJLink Class1 によって定義されたすべてのコマンドをサポートして、PJLink 標準定義 Class1 との適合を検証しています。

プロジェクターの入力名		PJ Link	
		入力名	パラメータ
INPUT 1	RGB (PC Analog)	RGB 1	11
	RGB (Scart)	RGB 2	12
	RGB (PC Digital)	DIGITAL 1	31
	RGB (AV HDCP)	DIGITAL 2	32
INPUT 2	Video	VIDEO 1	21
	Y,Pb/Cb,Pr/Cr	VIDEO 2	22
	RGB	RGB 3	13
INPUT 3	Video	VIDEO 3	23
	Y,Pb/Cb,Pr/Cr	VIDEO 4	24
	S-video	VIDEO 5	25
INPUT 4	NETWORK	NETWORK 1	51

## PJ Link とは

2003年9月、データプロジェクター部会の中に、PJLink 分科会が設立されました。この PJLink 分科会の第1期の活動において、プロジェクターの新たなインターフェイス仕様として PJLink が規定されました。

PJLink はプロジェクターを操作・管理するための統一規格です。

メーカーを問わずに、プロジェクターの集中管理やコントローラからの操作を実現します。

今後主流となるネットワーク経由のプロジェクター監視・制御において、早期の体系化を JBMIA による推進で実現し、ユーザーの利便性をあげ、プロジェクターの普及促進を図ることを目的としています。

Class 1：プロジェクターの基本機能の制御・監視仕様を標準化

基本的なプロジェクター制御：電源制御、入力切り換えなど

プロジェクターの各種情報・状態を取得：電源状態、入力切り換え状態、エラー状態、ランプ使用時間など

JBMIA：社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会。

1960年に発足した日本事務機械工業会が、2002年4月1日より改称した団体です。

PJLink サイト URL

<http://pjlink.jbmia.or.jp>

**PJLink**<sup>TM</sup>

PJLink は JBMIA の登録商標です。

# 保証とアフターサービス

## ■ この商品には保証書がついています

保証書は、同梱されています。お買い上げ日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。  
なお、保証内容については、保証書に記載しております。

## ■ 修理サービスのご相談

修理サービスのご相談は、下のキヤノンお客様センターにご相談ください。(ランプはキヤノンホームページからもご購入いただけます。)

## ■ 補修用性能部品について

この保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後7年間です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

## ■ 修理を依頼される前に

「故障かなと思ったら」にそって故障かどうか確かめください。それでも直らない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。

## ■ 修理を依頼される際にご連絡いただきたいこと

- お客さまのお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の品番、機番
- 故障の内容 (できるだけ詳しく)

## 【修理方法】

本商品は、引取修理させていただきます。


お客様先に商品を引取にお伺いし、修理完了後にお届けいたします。また、ご要望により代替機の貸出サービスを準備しております。

## 〈修理料金〉

保証期間内	引取修理サービス	無償
	代替機貸出サービス	無償
保証期間終了後	引取修理サービス	有償
	代替機貸出サービス	有償

※ 上記、引取修理サービスおよび代替機の貸出しは、キヤノンお客様相談センターにてサービスをご利用いただいた場合に適用されます。また、代替機については、在庫状況によりご希望にそえない場合があります。あらかじめご了承ください。

※ 引取修理サービスは、国内のみのお取り扱いとなります。

愛情点検	●長年ご使用の液晶プロジェクターの点検をぜひ！	熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。
	<p>このような症状はありませんか</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。</li><li>● 映像が時々消えることがある。</li><li>● 変なにおいがしたり、煙が出たりする。</li><li>● 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。</li><li>● 内部に水や異物が入った。</li><li>● その他異常や故障がある。</li></ul>	<p>ご使用中 止</p> <p>故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを外して、必ず販売店にご相談ください。</p>

お客さまメモ	
品番	LV-7590
お買い上げ年月日	年 月 日
お買い上げ店名	☎

# Canon

お客様相談センター (全国共通番号)

050 - 555 - 90071

[受付時間] 〈平日〉 9:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 17:00

(土日祝日と年末年始弊社休業日は休ませていただきます)

※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9348 をご利用ください。

※上記番号は IP 電話プロバイダーのサービスによりつながらない場合があります。

※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめ御了承ください。